

国立大学法人

# 高知大学 2015 大学案内

人文学部

教育学部

理学部

医学部

農学部

土佐さきがけプログラム

学びも遊びも本気。

# あなたの可能性を広げる、 それが高知大学です。

start

1年生からキャンパスを  
飛び出す授業!

2マス進む

▶ 7ページへ

コラボで  
やる気に火がつく!

続けてもう  
一回振る

▶ 13ページへ

サークルが  
多すぎて迷う  
1マス戻る

▶ 72ページへ

地域活動に参加し、  
人の想いを知る  
人文学部の学生は  
1マス進む

▶ 19ページへ

自分の可能性を  
試すため、  
海外に留学

地域で活動中、  
人生の師匠に  
出会う!

FS実習で大自然の  
中に飛び込む!  
農学部の学生は  
1マス進む

▶ 43ページへ

アドバイザー教員の  
先生と仲良しに!  
ワープ!

▶ 12ページへ

地域の小学校との  
交流授業スタート  
教育学部の学生は  
1マス進む

▶ 25ページへ





その道の“一流”から  
刺し教をもらう  
土佐さきがけプログラムの学生は  
1マス進む

▶ 49ページへ

個性を活かし、  
学生起業家を目指す

よさこい祭りでは  
完全燃焼  
一回休み



イベント企画が  
評価され、  
新聞デビュー!

カルチャーカフェで  
異文化に触れる  
1マス進む

▶ 66ページへ

実験で壁にぶつかり、  
先生からアドバイス!  
理学部の学生は  
1マス進む

▶ 31ページへ



インターンシップに  
参加し、目からウロコ  
2マス戻って  
3マス進む

▶ 11ページへ

本当にやりたいことは  
何か、  
思いっきり悩む

いろんな人と  
関わりながら  
自分探し

医学部附属病院で  
医療の現場に触れる  
医学部の学生は  
1マス進む

▶ 37ページへ





この先は  
予測不可能?!

未来の自分に、  
わくわくしよう。



国際学会で  
発表する  
1マス進む

卒業研究で  
優秀賞受賞!

就職室のセミナーで  
自分を知る  
2マス進む

▶ 84ページへ



## INDEX

学びの構造	05
共通教育	07

### ▶ 新設予定の学部

地域協働学部	15
--------	----

### ▶ 各学部の情報や特徴は？

学部紹介	
人文学部	19
教育学部	25
理学部	31
医学部	37
農学部	43
土佐さきがけプログラム	49
卒業論文テーマ例	53
教員紹介	55

### ▶ もっと学びたい時は？

大学院	61
国際交流	63

### ▶ 学びの設備や環境は？

教育研究施設	67
--------	----

### ▶ 大学生活について詳しく知りたい！

キャンパスライフ	
年間スケジュール	71
サークル活動	72
朝倉キャンパス	75
岡豊キャンパス	77
物部キャンパス	79
学生の暮らし	81
入学科・授業料・奨学金制度	83

### ▶ 就職に関する情報

就職活動支援	84
--------	----

### ▶ 入試に関する情報

入試データ	89
-------	----

### ▶ ようこそ、高知大学へ

理念・組織図	93
オープンキャンパス	94

※学生の学年表記は、平成25年度時点です



## スマートフォン用アプリ 「高知大学AR」ができました！

### 1. 大学案内の中から、マーカーを探そう

スマホで読み込もう  
このマークが添えられている「マーカー」を探してください。

### 2. ARカメラを起動して、マーカーにかざしてみよう

先輩からのメッセージや大学構内、周辺の様子が動画でご覧になれます。

アプリのダウンロードは、  
アプリストアで「高知大学」と検索！



このアプリは、ARカメラ以外にもラジオや広報誌等の情報にもアクセスできます。  
ダウンロードは無料ですので、ぜひご利用ください!!

## 受験生の皆さんへ



高知大学 学長 角 謙 宏

高知大学を目指している受験生の皆さん、  
私たち教職員一同は、皆さんの入学を心から待っております。高知は南に太平洋を臨み、北に四国山地を背負う風光明媚で人情豊かな土地柄です。人生で最も大切で、一番実り多い青春時代に、維新の志士を多数輩出した高知で自律的に学ぶことは、皆さんを新たなステージへと導くことでしょう。今、この国が求めているリーダー像は、時代の先駆者として、社会が求める変革(課題)に、鋭く、いち早く気づき、それを絶好の好機Chanceと捉え、自己改革Changeを継続しながら挑戦Challengeし、その成果Createを世に問う実行力と協働力を兼ね備えた若者です。それが今求められている問題解決能力であり、イノベーション創出力なのです。高知の風土そして坂本龍馬的発想は、そのようなリーダーを育成するのに最も適しております。その高知にある高知大学の教育体制は、21世紀の智を創造する社会で活躍できる次代のリーダーの育成を見据えて常に進化し続けております。この高知大学で私たちと共に学び成長しましょう。



# 学びの構造

1年

2年

3年

4年

※医学部医学科は6年

## 共通教育

### ■初年次教育

大学基礎論  
課題探求実践セミナー  
学問基礎論  
大学英語入門  
英会話  
情報処理

### ■教養科目

人文分野  
生命・医療分野  
外国語分野  
社会分野  
自然分野

### ■共通専門科目

基礎科目  
キャリア形成支援科目

### 学びのポイント

人間と世界についてしっかりと  
した考え方をくり上げ、自律的  
な能力の基盤を形成します。  
講義形式から体験型まで多様  
なテーマが用意されており、実  
践の中で自分の幅を広げなが  
ら、専門教育へのプロセスを踏  
んでいきます。

### どんな力を身につけるのか

論理的思考力を身につけ、他者  
の考えを理解し、自らの考えを  
他者に伝えることができる力  
や、責任感と協調性を持って粘  
り強く考え行動できる力を育み  
ます。

## 専門教育

### 分野のキーワード

- 地域協働による地域産業振興
- 高知のうみ・やま・むら・まちがフィールド
- 大学での学びと地域での実践の往復
- 6次産業化による農山漁村の発展
- コミュニティビジネスによる地域生活の維持
- 官民協働による地域政策

### 学科/課程/コース

地域協働学科

地域協働学部  
(設置認可申請中)

15p

人文学部

- 人文科学
- 社会科学
- 異文化間理解
- グローバル社会
- 現代社会
- 社会制度

人間文化学科

人間基礎論コース  
地域変動論コース  
言語表象論コース

国際社会コミュニケーション学科

19p

教育学部

- 幼児教育と乳幼児保育
- 教育学と心理学、理論と実践
- 各教科の高度な内容理解と指導法
- 芸術・スポーツの高度な実技と指導法
- 科学技術の面白さ・魅力
- 障害のある子どもへの教育支援

学校教育教員

養成課程

総合地域政策コース  
経済企業情報コース

幼児教育コース  
教育科学コース  
教科教育コース  
国語教育・社会科教育・数学教育・理  
科教育・英語教育・技術教育・家庭科  
教育・音楽教育・美術教育・保健体育  
教育の各コース  
科学技術教育コース  
特別支援教育コース

25p

理学部

- 数学的思考力・英語力・情報処理能力
- 科学の基礎法則
- 資源、エネルギー、レアメタル、化石
- 生物の多様性、環境、生命現象
- 防災、南海地震
- コンピュータ、情報理論

理学科

応用理学科

数学コース  
物理科学コース  
化学コース  
生物科学コース  
地球科学コース  
情報科学コース  
応用化学コース  
海洋生命・分子工学コース  
災害科学コース

31p

医学部

- 生命と健康を守る
- 身体、精神の苦しみを和らげる
- 病気、負傷などに対する治療を行う
- 身体機能の改善を助ける
- 健康への悪影響、病気を減らす
- 病気、身体、生命の仕組みを解明する

医学科

看護学科

37p

農学部

- 人と自然が共生する社会へ
- 生命の源、水と森を守る
- 海に資源の可能性を探る
- 食から始まる健全な暮らしと環境
- 化学で生命活動を解き明かす
- 循環型・持続型の地球社会を目指す

農学科

暖地農学コース  
海洋生物生産学コース  
食料科学コース  
生命化学コース  
自然環境学コース  
流域環境工学コース  
森林科学コース  
国際支援学コース

43p

土佐さきがけ  
プログラム

- 化学、環境、資源
- 語学力と異文化理解で国際貢献
- 生命と環境を守る社会のリーダー
- スポーツ科学で地域に貢献する

グリーンサイエンス人材育成コース

国際人材育成コース

生命・環境人材育成コース

スポーツ人材育成コース

49p

卒業

どんな力を身につけるのか

- 複雑で多様な地域の特性を理解する力
  - 地域資源を開発・活用するための企画を立案する力
  - 人や組織の協働を作り出し、その活動を促進する力
- 
- 幅広い教養
  - 人文・社会科学に関する専門的知識
  - 国際化への対応に求められる知識や語学力
  - 現代社会並びに地域社会に対する深い洞察力
  - 教養や知識に裏付けされた主体的判断力
  - 「知」を総動員した問題解決へ向けての姿勢
- 
- 幼児教育および乳幼児保育における高度な専門性と研究・実践力
  - 多様で複雑な教育課題を読み解き、よりよい未来を切り開く力
  - 各教科についての豊かな知識と教育実践力
  - 音楽・美術・体育の高度な実技能力と指導力
  - 知的好奇心と探究心を高め、科学的思考・技術に結実させる力
  - 子どもの教育的ニーズに応じた適切な指導および必要な支援ができる力
- 
- 基礎的専門的数学教育による論理的思考能力
  - 主体的な学びによる課題探求能力・問題解決能力
  - 創造力、行動力、柔軟思考と考え抜く力
  - 自然現象を数理的に記述し、分析する能力
  - 多様な生物の諸現象を正しく理解する力
  - 野外調査能力、自然観察力、多くの情報を総合して判断する力
- 
- 医師・看護師などの基礎知識、基本技能
  - 患者さんや家族に共感し、意思を通じ合う能力
  - 医療スタッフとともに医療を行う協働能力
  - 自ら問題を見出し、解決に向かう意思と能力
  - 生命、個人を尊重する倫理観、使命感
  - 使命を達成するための自己管理能力
- 
- 現場体験に基づいた“ものづくり”の力
  - 生態系をミクロから地球規模まで総合的に理解する力
  - 環境との調和のもと資源の生産・利用を考えていく力
  - 生命のメカニズムを知り、実用技術に結びつける力
  - 自然環境と人をつなぐ技術やシステムを創造する力
  - 食料・人口・資源問題の調和的解決方法を探る力
- 
- 環境・資源問題を解決できる世界レベルの知識や技術力
  - 高い国際コミュニケーション力と相互理解を目指す力
  - 生命科学と環境保全に役立つ研究力と教育力
  - スポーツの科学的諸知識と高い競技力、指導力

進路

進学 61p

大学院（総合人間自然科学研究科）

- 修士課程
- 人文社会科学
  - 教育学
  - 理学
  - 医科学
  - 看護学
  - 農学
- 博士課程
- 応用自然科学
  - 医学
  - 黒潮圏総合科学

学びのポイント

専門分野はもちろん、近接分野や異分野も修得できる領域横断型の学びで、専門性を深めると同時に、幅広い素養や視点を養います。

愛媛大学大学院連合農学研究科

愛媛大学大学院連合農学研究科は、愛媛大学、高知大学、香川大学の農学研究科が連合し、協力して開設した後期3年だけの博士課程です。

就職 84p

主な職業イメージ

グリーンツーリズム起業家、地産外産農家、県・市町村職員、県地域支援企画員、地場産業社員、商工会職員、地場産品デザイナー、金融機関社員、NPO職員、社会福祉協議会職員、地域づくり協力隊、コミュニティデザイナー、マスコミなど

新聞社、テレビ局、中学校教員（国語、英語、社会）、高等学校教員（国語、英語、公民、地歴、商業）、日本語教員、公務員、銀行、保険業、旅行代理店、航空、流通、教育関連、情報通信業、サービス業など

小学校教員、中学校教員、高等学校教員、特別支援学校教員、幼稚園教員、公務員、教育関連の企業、文化施設・スポーツ施設・福祉厚生施設の指導員、デザイン・印刷・衣食住・情報関連の企業など

教育・学習支援業、情報通信業、製造業、学術研究、専門・技術サービス業、金融業、保険業、卸売業、小売業、公務員、教員、運輸業、郵便業など

医学科：病院・診療所などの医師、医学・生命科学の研究者・教育者  
看護学科：看護師、保健師、助産師、看護学の研究者・教育者  
共通：国、地方自治体、団体、企業、国際機関等の専門職など

試験研究機関、公務員、教員、民間企業（食品、バイオ、医薬品、種苗、農薬、農業機械、魚介類養殖、木材、測量、設計、土木、水処理、情報、環境アセスメント）、各種コンサルタント（環境科学・土木建設系など）、各種団体（農・林・水産系）、JICA、青年海外協力隊など

民間企業開発部門、公的研究機関

国際企業、国連、NGO

行政や企業の研究・技術・教育者

スポーツ振興に関わる指導者や審判員

# 目指すのは自律型人材

今、社会は「自律型人材」を求めています。

「自律型人材」とは、「社会や組織の中で自らが考えて判断し、行動できる人」です。具体的には、論理的思考力を身につけ、他者の考えを理解し、自らの考えを他者に伝えることができる人、責任感と協調性を持って粘り強く考え行動できる人、といえるでしょう。

自律性獲得への第一歩は他者との交流や学問との出会いを通じて自分を知ること、つまり「気づき」から始まります。気づきは学びや成長への「意欲」をもたらし、意欲は「行動力」へとつながっていきます。

高知大学では、この自律へのステップをできるだけ早い段階で踏み出せるよう独自の共通教育を導入し、学生の育ちをサポートしています。

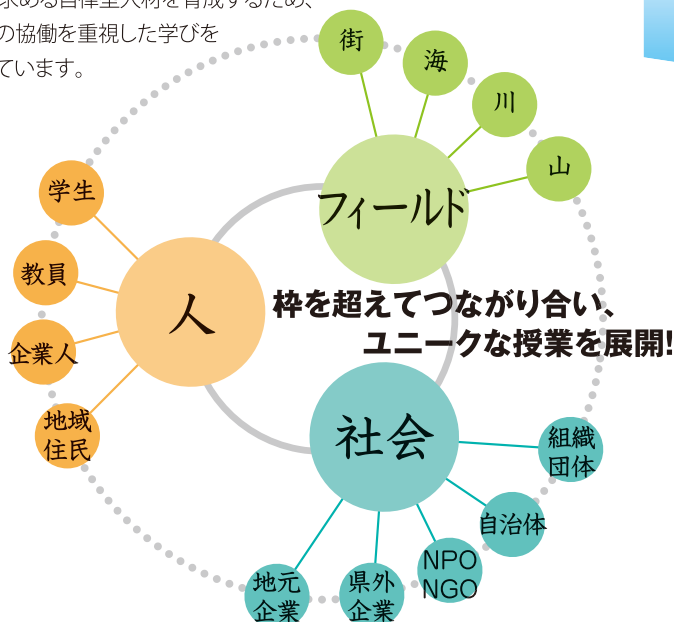
## 教育課程の全体像

共通教育は「初年次科目」「教養科目」「共通専門科目」の3つの科目群で構成されています。共通教育で自律的な力を育みながら、それを基盤に各学部における「専門科目」を学修していきます。

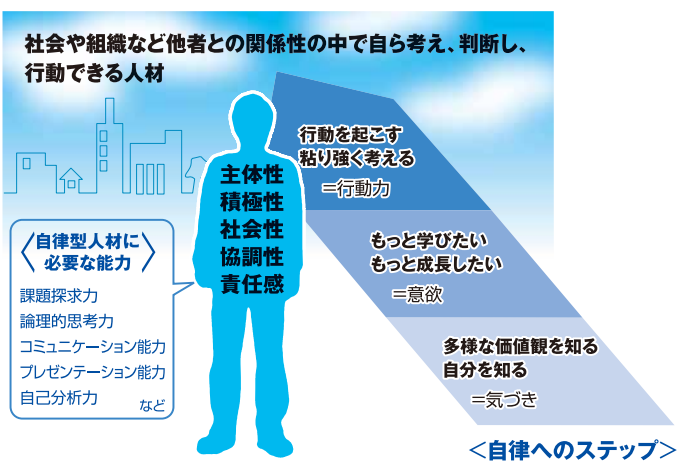
## 自律性を育む、独自のプログラム

キーワードは、“**枠を超える**”

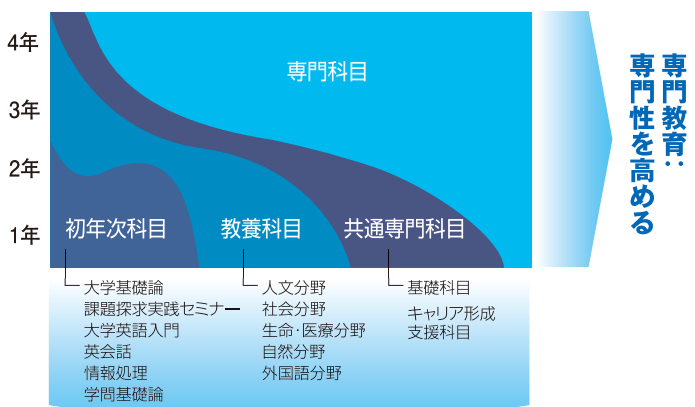
社会が求める自律型人材を育成するため、社会との協働を重視した学びを実践しています。



### 高知大学の考える自律型人材



### 4年間の履修の流れ



### 共通教育: 自律的な力を育む

- 人** 学生や教員は学部という枠を超えて、企業人や地域で生きる人々はその立場を超えて、互いに協働しながら授業や活動に参加します。
- フィールド** 形式にとらわれず、学びの“現場”には積極的に出ていきます。山、川、海、街...それぞれのフィールドの懐に入り込んで学びます。
- 社会** 社会は様々な組織やネットワークのつながり合い。そこで、企業やNPO、自治体などと協働し、社会に貢献しながら学んでいきます。





1 program

## 大学基礎論

# 学びの転換をはかる。

大学基礎論は、入学後すぐの1年生1学期に開講される授業です。その最大の目的は、“学ぶ姿勢を学ぶ”こと。「大学で学ぶ意義は?」「学ぶ目的は?」といった学びの動機を学生自身が再確認し、“教わる”から“掴みとる”へと学びの姿勢を転換します。

与えられる学びから、掴みとる学びへ

## 授業例1. 理学部

- 人
- フィールド
- 社会

授業では、教員や社会人講師の話を聞いて、感じたこと、知り得たことを少人数グループで討論をします。自分の意見を伝え、相手の考えを理解することを通して、学生自身を成長させます。



▶ この授業のねらいは

1. 何事にも“疑問”を持つこと
2. 自分と違う考え方に触れること
3. 自ら学ぶ姿勢に気づくこと

大坪 義夫 理学部教授

近頃の学生は素直であるが、内向的で受動的である傾向が強いといわれています。物事に疑問を抱き、時には批判的な見方をすることは、主体的な学びの姿勢において重要です。この授業では、論理的思考の中で協働実践力とコミュニケーション能力を身につけ、主体的に考え行動できる能力を養います。

## 授業例2. 教育学部

- 人
- フィールド
- 社会

自らの学びをデザインする力を養うこと。これが本授業の目的です。この力が大学における学びの基礎となります。と同時に、自身の学びづくりを体験すること、そして他の仲間たちとの協同作業によって成り立つという原理を経験することが、将来、児童・生徒の学びづくりを支援する学校教員としての第一歩になると考えています。



▶ この授業のねらいは

1. 学びをデザインする体験をする
2. 協同的な学びの創造を経験する
3. 学びづくりを支援することについて考える

北川 晃 教育学部講師

課程別にそれぞれの専門に応じた授業が用意されています。教員養成課程では、10人ずつの班別に担当教員とともに文献検索・発表・討論を重ねながら、30人程度の中規模編成で3回にわたるプレゼンテーションを行います。生涯教育課程では、課程全体の講義・図書館学習・地域教育委員会提携講座の後、専門のコース別に調査・討論・発表活動を試み、主体的学習の基礎を築くことを目指します。

1 program

大学基礎論

# 授業例3. 医学部

- 人
- フィールド
- 社会

最大の目的は、医療人になるとはどういうことかを考え続けていく基盤づくり。外来患者さん付き添い実習での体験や現場の医療スタッフによる講演をもとにグループ討論と全体討論を繰り返します。将来のチーム医療を見据え、授業は医学科・看護学科合同で行います。



▶ この授業のねらいは

1. 何のために学ぶのか、今後どう学んでいくかを考える
2. 自分とは異なる視点に気づく
3. コミュニケーション・スキルを養う

野田 智洋 医学部講師

医学部の「大学基礎論」は、附属病院での外来患者さん付き添い実習※から始まるのが特徴です。自らの体験の共有を端緒として、グループディスカッションと全体討論を繰り返しながら、医学部で学ぶ意義を一人ひとりが考えていきます。この合同授業を通して、様々な立場や考え方の人々と協働する大切さに気づいてもらえることを期待しています。

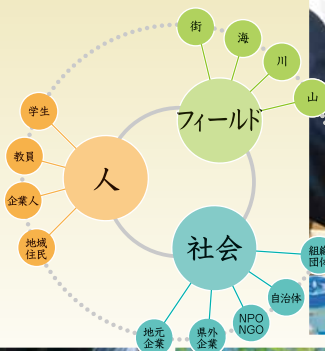
※医学科では、「大学基礎論」と並行する授業「EME初期臨床医学体験」の一環として付き添い実習を行います。「EME」は、医療人となる心構えや態度を身につけることを目的に、入学直後から病院や施設で医療の実際に触れる授業です。

2 program

## 課題探求実践セミナー

# 社会と関わり自律性に目覚める。

人は、自分以外の他者と関わることで変わります。そこで、できるだけ多くの他者と交わる機会を設け、学生に“気づき”のチャンスを提供しようというのがこの授業。様々なかたちで社会と関わり合う「実践」と、振り返りのための「事後学習」を繰り返し、自律的な自分へと近づいていきます。



## 多くの他者と共感し、自分自身と深く向き合う

# 自律協働入門

人  
フィールド  
社会

授業の目玉は、すでに社会とつながりを持って活動している先輩たちとともに活動する「出稽古」。チームで動き、考えることで、自らの考えや想いを深めていきます。活動を立ち上げた先輩や社会人として活躍している先輩たちから様々な話を聞き、そこから自分の人生観について考えていきます。本質にたどりつくまで議論を掘り下げ、4年間を変えるきっかけとします。



▶ この授業のねらいは

1. 何のために学ぶのか、今後どう学んでいくのかを考える
2. 自分と違う視点に気づく
3. チームワークを体験する

塩崎 俊彦 総合教育センター大学教育創造部門教授

社会においては他者と共感し合って人を集団化し、コラボレート(協働)していくことが重要となります。高知大学では「他者と共感する」機会、「なぜ?」と考える機会を1、2年生の早い段階で取り入れ、学びの“文化”とすることで学生の自律性を育てていますが、自律協働入門もそのプログラムの一つ。社会人の持っている人生観や幸福感に触れることで学生自身が自分の想いに気づき、成長への意欲につなげることを目指しています。

## フィールドに出て、自分の目でものごとを見る

# 地域協働入門

人  
フィールド  
社会

フィールドは、「山」「街」「海」の3つに分かれています。それぞれの現場でスタディツアーを行いながら、「本当の課題は何か」「それはなぜなのか」をチームで考えていきます。



▶ この授業のねらいは

1. 地域でがんばる人と出会う
2. 知らない世界を肌で感じる
3. 人とのつながりから想像力を広げる

中澤 純治 人文学部准教授

この授業で大切にしているのは、現場に出て地域の人や地域の暮らしに出会うこと。自分の目でものごとを見て、知らなかった世界を肌で感じることです。そこで得た実感や人とのつながりは、学生の想像力を広げてくれます。想像力があれば、例えば「不便でかわいそうだ」などと自分の感覚だけでものを語るのではなく、相手の立場に立って考えたり、本当の問題に気づいたりすることができます。そういう経験が、学びを大きく変えていくのです。

## 多様性に気づきながら、答えの一つを考えていく

# 国際協力入門

人  
フィールド  
社会

まずは社会人講師による講義とワークショップで“固定観念”を取り払った後、夏休みの「宿題」として個々が様々な角度から国際協力を実践。報告会で振り返りを行い、理解を深めます。



▶ この授業のねらいは

1. 固定観念を取り去る
2. 様々な価値観を理解する
3. 想いを行動に移す力を養う

石筒 覚 人文学部准教授

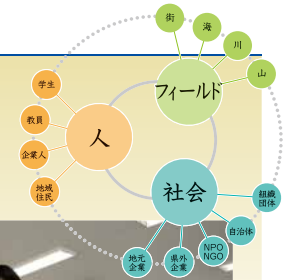
国際協力は国境を越えていることに目が向けられがちですが、いざ現地に入ればそれは私たちの身近にあるのと同じくローカルな問題になります。そういう気づきを得た学生たちは、夏休みの活動でも地域の花壇に花を植えたり、要らなくなった服をリメイクしたりと、かなり幅広く課題を見つけて取り組んでいました。ここでの講義は基本的に情報提供。それをどう活かすかは自分次第です。そこに気づけば大学はもっとおもしろくなる。その転換の機会になればと思っています。

3 program

## 学問基礎論

# 自律的な学びの土台を築く

1年生2学期に開講される学問基礎論は、各学部で展開される専門教育の基礎をイントロデュースし、自律的な学びへの土台を築く役割を担います。学問基礎論のプログラムは各学科や各コースによって異なりますが、共通しているのは学生たちの「自発的な思考プロセス」を尊重するという点。教員側から教えたり誘導したりという介入は行わず、学問の本質やその楽しさを体感することに重点を置いています。



## 自発的な思考プロセスを育む 授業例 農学部

### プログラムの流れ

- 人
  - 共通講義(5回) 農学科8コースからそれぞれの分野に関する話題提供
- フィールド
  - その中から受講したい希望テーマを2つ選択
- 社会
  - 課題解決型グループ学習1(5回)・課題解決型グループ学習2(5回)  
1チーム5~6名に分かれて自分たちで課題を設定。その課題解決のための方法を情報収集やディスカッションなどグループワークを通じて導き出し、プレゼンテーションする

村松 久司 農学部准教授

彼らはまだ1年生。グループワークでいきなり正しい答えにたどりつくことはありません。しかし最終的な答えに結びつかなくても、考える過程で疑問に思ったこと、感じたことを大事にしてほしい。それを持った上で専門科目に入っていければ、いずれ答えを見つけ出してくれるのではないかと思います。今の豊かな感受性を大切にしながら、専門科目で学術的な知識を学ぶ。そうすれば、困難な課題に対しても自由な発想で乗り越えて行けると思いますね。

4 program

## キャリア形成支援科目

# 首都圏で行う社会協働インターンシップ(CBI<sup>※1</sup>)で自律性と現実感覚を体得する

「本気」と「覚悟」。自律性<sup>※2</sup>醸成には不可欠の気質です。

本学が全国に先駆け開発し、いまだ他大学には類を見ないCBI授業<sup>※3</sup>。『実習期間は半年間、実習先は首都圏の企業等』という設定も、「本気」と「覚悟」を持ってインターンシップを行うための装置です。CBIは決して職業体験ではありません。大学での学びの質を高め、社会で活躍するために必須の自律性と現実感覚を体得するためのものなのです。



- ※1 Collaboration Based Internship
- ※2 社会や組織が目指す方向を理解した上で自ら考え行動する資質能力
- ※3 CBI授業は、1年生2学期～2年生9月の期間に実施するもので、CBI企画立案(2単位)、CBI実習(8単位)、CBI自己分析(2単位)、キャリア開発講座(2単位)の授業群(計14単位)から成る。受入企業は、社会の幸福実現のために活動している企業を選定

## “共感の場”に出て自分の基盤づくりー長期インターンシップ

## CBI授業

社会

### Voice

森田 あずさ 人文学部社会経済学科3年(高知県立高知西高校出身)  
横浜いせぶらカフェ(合名会社川本屋商店、神奈川県横浜市)にて6ヶ月間のインターンシップを経験

私がCBI実習に行こうと思ったきっかけは、大学生活に行き詰まりを感じていたからです。授業の中でインターンを受け入れている会社を訪問する機会があり、「仕事は仕方ないと思ってするものではない」という言葉に衝撃を受け、働くことをもっと実感したい、行き詰まった環境から離れたらいいという思いが強くなり、行くことにしました。インターン先は横浜にある健康茶の小売・卸店でした。私の主な業務はインターネット店舗で受けた注文の発送作業でした。発送作業をなぜこんなに毎日やらないといけないのかと思ったこともありましたが、日常業務が会社を支えている、その柱の仕事を任せてもらっていると実感した時、真剣に取り組むことができました。そうやって積み上げた仕事は信頼につながり、やりたかった商品企画の仕事も任せてもらうようになりました。社会に出て働く時、「信頼」を念頭に置くことは常に意識し、仕事を任せて良かったと思ってもらえる人間になりたいと思います。





# 学びを支える様々な制度や取り組み

高知大学では、個々の学生の学びをしっかりとサポートし、高い意欲と能力を備えた人材として社会に送り出すため、様々な支援や取り組みを行っています。

## アドバイザー教員制度

入学から卒業まで学生全員にアドバイザー教員がつきます。アドバイザー教員は本学の専任教員が担当し、在学中の学習計画や履修指導はもちろん、進学、就職、生活、健康といった大学生生活全般における相談役として助言や指導を行います。

## オフィスアワー

学生からの質問や相談に教員が応じるための時間がオフィスアワーです。アドバイザー教員や授業担当教員のオフィスアワーをシラバスなどで確認し、予約を入れて質問や相談に行きます。授業での質問や疑問に思うことがあれば、アドバイザー教員以外の教員のもとにも気軽に行けるシステムです。



オフィスアワー

## リメディアル教育

リメディアル教育とは、大学教育を受けるために必要な基礎学力を補うことを目的に行われる「補習教育」のことです。

### 入学前教育

人文学部社会経済学科では、推薦・AO入試による入学生を対象に、大学の授業にスムーズに移行できるよう、考える力や問題発見する力を養うための入学前教育を実施しています。

### 大学生として必要な基礎学力を補うための教育

初年次科目の「大学英語入門」と「英会話」では最初の授業にプレースメントテストを実施し、習熟度に応じたクラス編成・授業を実施しています。さらに高校までの学習時間が十分でなかった学生のために、通年開講の補習クラスにより、大学生として必要な英語基礎力の修得を図っています。また共通専門科目では理数系分野の「微分・積分学」「物理学」「化学」「生物学」「地球科学」などにおいて、その分野を高校で十分に学習できなかった学生を対象とする通年開講の基礎授業を実施しています。



リメディアル教育(入学前教育)

## ティーチング・アシスタント

共通教育・専門教育の実験や演習の科目では、きめ細かい指導により学生の理解をサポートするため、優秀な大学院生が授業の補助業務を行っています。

## 他大学との単位互換

協定が結ばれている他の大学であらかじめ定められている科目を履修し単位を修得した場合は、本学の単位として認定を受けることができます。

## 早期卒業

本学に3年以上在学し、卒業の要件として所属する学部ので定める単位を優秀な成績をもって修得したと認められる場合は、本人の申請により早期卒業が認められます。(医学部を除きます)



ティーチング・アシスタント講習会



# もうひとつの学びの場

## 学生の課外活動

自律的な力が育まれるのは授業だけではありません。学生が自主的に行っている活動も、成長につながる貴重な機会。そこで高知大学では、学生の課外活動についてもサポート体制を充実させ、活動を推奨しています。

### リエゾンオフィス

## コラボレーション・サポート・パーク

リエゾンオフィス「コラボレーション・サポート・パーク」(略称コラパ〜)は、高知大学総合教育センターが運営する、学生と社会の協働実践を組織的に支援するためのしくみです。地域社会と大学をつなぐ窓口として、様々な活動に取り組んでいます。オフィスには教務支援員3名が常駐し、コラボ考房プロジェクトや長期インターンシップなど社会と協働した取り組みに関する学生からの相談受付や活動の支援、地域からの相談受付などを行っています。

スマホで読み込もう

コラパ〜が支援する活動は動画でも確認できます。高知大学アプリでチェック!



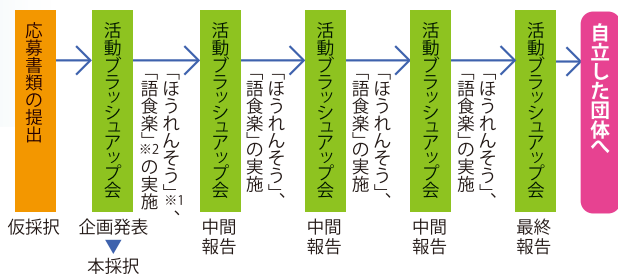
### やる気とアイデアをかたちにする

## コラボ考房プロジェクト

平成25年度 活動チーム

学生の心に芽生えた「もっと何かしたい」という気持ちをかたちにするしくみとして始まったのが「コラボ考房プロジェクト」です。主に1、2年生を対象とし、3人以上のグループで企画をまとめ応募し、1年間かけて実現に向け取り組みます。その後は、支援教員とのミーティング、活動報告の場であるブラッシュアップ会などが定期的に行われ、学生同士が互いに刺激し合いながら活動をより有意義なものにしています。

### ▶コラボ考房プロジェクト 採択および活動のスケジュール



### 龍馬イケメンアイドル育成計画 — さかもとっ! — りょうまと見守る会。

サブカルチャーを活かした地域活性化を目指し、高知を舞台にした恋愛シミュレーションゲームとコミックを制作。



### 大豊萌えキャラプロジェクト 虹野菜ファーム

環境にやさしい農法で作られた野菜「クルベジ」の販売や、農業体験ツアーを実施し、高知県長岡郡大豊町の活性化を目指す!



### 東日本大震災復興支援 世界の厨房

農学部で学ぶ留学生との交流および東日本大震災復興支援を目指す。フィジーからの留学生や、福島から高知へ避難してきた方との交流イベントなどを企画・実施。



### みなぎるみながわ みながワイワイ隊

黒潮町蜷川を盛り上げるために、看板を制作。さらに地域のキャラクター「みなこちゃん」を考案。



### おしゃれ文房具の会 chouchou

おしゃれな就活手帳を作ること为目标に活動を開始。



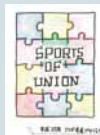
### 残飯再生プロジェクト with 生協 クリーンラボラトリー

学食の残飯量の削減を目指し活動中。世界の食糧事情を知らせるポスターを掲示し、高知大生の関心を促す。



### スポーツ化現象計画 スポーツ化組合

普段はボランティア感覚でしていることをスポーツ感覚で楽しんでもらうことを目指し、「スポーツゴミ拾い」イベントを実施。



### Workshop of culture (わくかる)ピアーズ

児童保育に通う子供たちを対象に、知的好奇心を刺激するようなワークショップを企画・実施。



### ホテルで地域と大学をつなぐ ほたる飛ばし隊!!

高知大学構内にある池にホテルを飛ばし学生と地域住民の憩いの場にする事を目指す。



### スポーツ鬼ごっこ 鬼ごっこうち

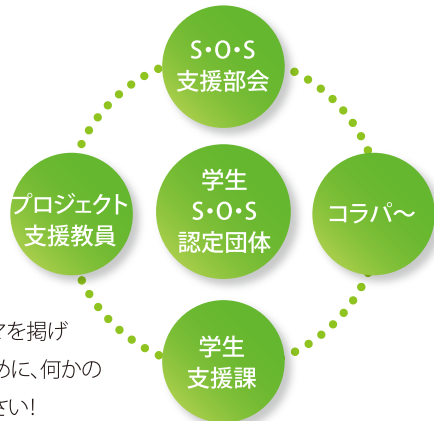
2010年に一般社団法人「鬼ごっこ協会」が開発した競技「スポーツ鬼ごっこ」。高知で実施し、新たな人と人とのつながりを生み出す場を作りたい。



## 学生による学生や地域へのサポート活動

# S・O・S認定活動

平成25年度認定活動



S・O・Sとは、Students' Organization for Self-help and Official Support の略で、高知大学の学生相互支援(ピア・サポート)活動組織のことです。学生や地域へ貢献する取組を行う団体は、大学から支援金をはじめ各種の支援を得ることができます。平成25年度は9つの団体が様々なテーマを掲げ活動しました。地道な活動を続け、地域との信頼関係を築くことができた団体もあります。誰かのために、何かのために活動した経験は、大きな財産になるはず。興味のある方は、ぜひチャレンジしてみてください!

### 献血促進プロジェクト いのちのリボン

学生の献血者数を増やすための広報活動を行うとともに、乳児院でのだっこボランティアなど、活動の幅を広げている。

### わっ花~花を通じて繋がる~ あぐりい~ず

朝倉キャンパスの花壇に花を植える美化活動や物部キャンパスでの七夕まつり、いの町是友地区で「花街道」づくりなどを実施。地域と大学をつなぐ懸け橋となることを目指す。

### フェアトレードで国際交流 国際協力団体すきっぷ

フェアトレードの認知度向上を目指し活動。学内、県内でフェアトレードのコーヒー販売や、講演会の開催などを行っている。

### 高知大生が行く ウラ学のスヌメ ウラ学同好会

高知ケーブルテレビと共同で「高知大生が行く ウラ学のスヌメ」という番組を生制作。企業ウラ側を取材し発信中。

### インブット高知 はちきんチェルシー

高知大に在学する県外生に対し、高知の良さを伝え「高知を説明できる高知大生」になってもらうことを目的にフリーペーパーを作成。

### 高知大フリーペーパー発行 Boshipan

フリーペーパー「jam」を発刊し、高知大生に向けて有益な情報、必要な情報を発信することで学生生活への貢献を目指す。

### +Bousaiプロジェクト 高知大学学生ボランティアセンター

学生ボランティアセンターは、様々な「つながり」を作ることで災害時に地域の避難所の拠点となることを目的に活動しています。平成25年度は、学内の学生同士のつながりはもちろん、高知県内や全国の他大学の学生と防災やボランティアについて考える機会を持ちました。また、朝倉キャンパス周辺の地域の方と一緒にHUG(避難所運営ゲーム)を行うなど、いざという時に情報や物資の流通が滞ってしまうことのないよう、普段から横のつながりを大切にしています。

生協と合同で、オリジナル防災袋をプロデュース

HUG(避難所運営ゲーム)の様子

代表からのメッセージ 代表 平田 瞭平 理学部2年

学生ボランティアセンターは、「地域と学生」「学生と学生」の間に「つながり」を作るため日々活動する団体です。地域に目を向けると、多くの発見と出会いがあり、充実した学生生活を送ることができています。

### 高知長寿いきいきプロジェクト 百遊会

高齢者のQOL向上に貢献するとともに、生き生きと長生きする秘訣を探り、かつそれによって団体メンバーのコミュニケーション能力・グループ運営能力を鍛えることを目指す。

### 就活生活プロジェクト ジョブハン

就活に貢献するため、情報をシェアし、話し合える場作りを目指して活動。「リクルートカフェ」を3回開催し、講師を招いてのセミナーや、履歴書の書き方講座などを企画・実施。

## 独自の活動を始めたS・O・S認定OB団体

S・O・S認定団体を修了した後も、発展的な活動を行い、社会に貢献している団体もあります。

### 小学校区でパトロール、地域のコミュニティ活動に参加 高知子ども守り隊「守るんジャー」

2005年、下校中の児童が狙われる事件が多発したことを受け、子どもの命を事件・事故から守ろうと発足。大学近くの小学校の通学路をパトロールし、下校中の児童の安全を見守っている。2014年S・O・S認定団体修了。



2011年にSYDボランティア奨励賞  
文部科学大臣賞受賞

#### 主な活動

##### ▶ パトロールと見守り活動

大学近くの朝倉小学校と朝倉第二小学校の通学路を月替わりでパトロールしています。学生は自分が行ける曜日を事前に選んでシフトを組み、平日に活動を行っています。子どもたちの笑顔が見られるだけでなく、注意の仕方など関わり方の勉強にもなっています。

##### ▶ 地域のコミュニティに参加

見守り活動をしなが見えてきたのは、地域とつながる大切さ。子どもは家庭、学校、そして地域の中で育まれます。私たち大学生も地域の一員として清掃活動や地域の行事やお祭りに参加し、コミュニティを元気にする一端を担えたらと思っています。



#### 代表からのメッセージ

代表 上野 憩 教育学部3年

教育学部を中心に、将来教員を目指す学生が多く活動しています。子どもたちの普段の姿が見られるし、地域の方とも仲良くなれて楽しいですよ。

# 地域協働学部

Faculty of Regional Collaboration

(設置認可申請中※)

平成27年4月、新学部設置予定

地域と真剣に  
向き合う、全国初の  
学部です!



スマホで  
読み込もう



地域協働学部

## 地域で学び、地域の未来をひらくリーダーになる。

### なぜ、いま地域協働なのか

高知県は、豊かな自然と文化を持つ一方で、少子高齢化、若者の県外流出、産業基盤の脆弱さ、災害対策といった様々な課題を抱えています。これらの課題は、約15年後には日本中の地域が直面するとも言われている中、その課題解決に向けた人材育成は、地域はもとより政府、産業界からも強い要請があります。

高知大学では、平成21年度より、学生と地域と一緒に課題を解決する社会協働教育プログラムを実施してきました。その成果と実績をもって、より地域のニーズに合致した専門的な人材を輩出するべく、平成27年4月に全国初となる地域協働学部を開設する予定です。

※高知大学は平成27年4月に地域協働学部開設に向けて、文部科学省に設置認可申請中です。  
(平成26年6月現在)

平成26年11月学生募集を開始する予定ですが、15ページ～18ページの内容は、予定であり変更する場合があります。

### 地域協働学部の成長サイクル

様々な地域との本気の協働を通じて、4年間を通じた「大学での学び」「地域での学び」のサイクルを実践。

地域の未来をひらくリーダーに欠かせない「生きた技能・知識・考え方」を育むための「知識と実践の統合」「こころざしの育成」「学びの意欲向上」を図ります。





## うみ・やま・むら・まちをフィールドに地域とともに課題を解決する力を養う

### 教育理念

高知県各地の農山漁村やまちをフィールドに、その地域との継続的な交流を通じて地域の課題を共感的に理解し、改善に取り組みます。豊富な活動実習に加えて、活動の振り返りと活動に必要な専門知識の獲得を重視し、地域の課題を解決するための「知識」と「経験」の統合を図ります。



### 目指す人材像

幅広い専門知識と共感力で複雑な地域特性を理解し、地域の産業振興を推進する地域協働型産業人材(6次産業化人、地域のヒト・モノ・企業をつなぐコーディネーター、地域をつなぐ行政リーダー、地域の暮らしと文化を支えるリーダー)を養成します。地域住民や産官学、非営利組織などの協働を組織化し、持続的にマネジメントできる地域の未来をひらくリーダーを育てます。

## 「地域協働型産業人材」になる4年間のカリキュラムマップ

まちづくり、市街地活性化、地域防災、商品開発、社会的起業など地域協働を専門とする20名の専任教員による少人数教育をベースに、4年間継続的に地域に関わります。卒業に必要な単位の約40%にもなる実習科目・演習科目に加えて、「地域協働マネジメント分野」「地域産業分野」「地域生活分野」の3分野に分けた専門科目を設置。個人の関心に合わせて、地域で活躍するための体系的な技能・知識・考え方を学びます。



### ▶ 卒業後の具体的な進路

<div style="background-color: #c0392b; color: white; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;">6次産業化人</div> <p>農・林・漁業を活かした 新ビジネスの起業家</p> <p>グリーンツーリズム起業家、地産 外商農家など</p>	<div style="background-color: #8e44ad; color: white; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;">地域のヒト・モノ・企業を つなぐコーディネーター</div> <p>地域のヒトやモノを活かした 新ビジネスを創る企業人材</p> <p>地場産業社員、商工会職員、地場産 品デザイナー、金融機関社員など</p>	<div style="background-color: #27ae60; color: white; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;">地域をつなぐ 行政リーダー</div> <p>住民・企業と協働して 地域再生に取り組む行政マン</p> <p>県・市町村職員、国家公務員。具体的には、地 域支援企画員など地域をつなぐ仕事をする</p>	<div style="background-color: #3498db; color: white; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;">地域の暮らしと文化を 支えるリーダー</div> <p>住民と一緒に地域の 暮らしと文化を支える担い手</p> <p>NPO職員、社会福祉協議会職員、地域づくり協 力隊、コミュニティデザイナー、マスコミなど</p>
---	--	--	---

## 高知から「地域」を考える

地方の過疎化と少子高齢化は21世紀の日本とアジアの大きな課題です。全国に先駆けて、問題に直面してきた課題先進県・高知には、新しい取組に積極的に取り組む地域がたくさんあります。また、中心市街地の活性化も重要な課題。高知県はその両方のフィールドが近接しています。高知で「地域」について考えることは、日本や世界の将来を考えることでもあります。

### 地域に新しい風を！ 尾崎 正直 高知県知事

今、地方では新たなことに果敢に挑戦しようとする志と、そのための知識や技術を持った人材が求められています。柔軟な発想をもつ学生の皆さんが地域に入り、そこで暮らす人々とともに考え、研究が行われることは、山積する地域課題の解決に向けた大きな一歩となることでしょう。産学官が協働して取り組んでいきましょう。



### ▶ 実習科目授業例

#### 高知市 日曜市 (地域理解実習)

日本最大の街路市・日曜市で出店を手伝いながら、市の魅力と課題、高齢化と後継者不足による出店者の悩みなどの現状を理解する。



#### 高知市 土佐セレクトショップ「てんこす」 (地域協働マネジメント実習)

「商品開発プロジェクト実習」で開発した、地域資源を用いる「地産外商」商品を実際に製造・販売した上で、事業評価を行う。



#### 仁淀川町「だんだんの里」 (商品開発プロジェクト実習)

伝統の七夕祭りや棚田に二千個を超えるキャンドルを灯すイベントを活かして、農産物を使った商品開発やコミュニティリズムによる観光プランの開発を行う。



高知県

#### 香南市

#### 西川地区集落活動センター (教えるプロジェクト実習)

集落活動センターを核とした村おこし事業について、目標達成度・課題を評価して住民と共有した上で、改善の取組について地域での合意形成を支援する。



#### 黒潮町 MAPROK (地域協働企画立案実習)

花の「ハネモノ」の加工品で障害者雇用を進める社会的ベンチャー企業と協働し、地域資源を発掘して活用する方法を企画立案する。



## グローバルな視点から「地域」を考える

地域での活動に成果を挙げた学生を対象に、海外で地域との協働を体験するプログラムを予定しています。高知県と同じく、中山間地域の過疎化や災害対策が課題となっているイタリア・サルディーニャ島、農村のコミュニティ振興が注目されているタイ・ラヨーン県など海外のフィールドに、1~2ヶ月間滞在し、現地の大学生と共に地域との協働を実践します。



### 21世紀は「地域の時代」 Paola Rizzi イタリア・サッサリ大学教授

急速なグローバル化で世界中から多様性が失われています。社会を人間の手に取り戻すには、地域の誇りや文化を大切に、グローバル社会に組み込んでいく挑戦が必要です。地域協働学部の学生が高知とイタリアで「地域」との関わりの中で学び育つことを楽しみにしています。





# 人文学部

Faculty of Humanities and Economics

## 世界最大の謎である「人間」に挑戦する

### 学科・コース

人間文化学科

人間基礎論コース

地域変動論コース

言語表象論コース

国際社会コミュニケーション学科

社会経済学科

総合地域政策コース

経済企業情報コース

スマホで  
読み込もう



海外実習で「外国人に日本語を教える」技術を習得

考古学ゼミでは実際に発掘作業を行う

田舎から帰国まで自分たちで組み立てるスタディ・ツアー

▶ 人文学部ホームページ <http://jinbun.cc.kochi-u.ac.jp/>



## 先輩にきく

### 楽しいことを創ってきた4年間

小松 怜央 社会経済学科4年(高知県立高知西高校出身)

社会経済学科は、入学したての1年生から演習形式の少人数授業を中心に学ぶのが大きな特徴です。1年生の時から半年ずつ、希望するいろんな先生のゼミ(研究室)を回りながら学べるので、とても勉強になるだけでなく、経済や法律、社会学など幅広い分野から自分のやりたいことを絞っていくことができます。僕も卒業論文のテーマを選ぶにあたって、1年生の時に入っていた経営学の先生のゼミを選びました。

卒論で取り組んだのは「テレワークの成立条件と今後の在り方」です。4年生では県内外をとわず様々な業界の企業を10社近く訪問し、現場を見させていただきましたが、その中で僕は徳島県上山町サテライトオフィスにとっても興味を持ちました。そこで、一人で再訪問させていただき、上山町内の5社について詳しく調査研究を行いました。



大学生活を締めくくったのは、ホノルルマラソンへの挑戦でした!

今、振り返って思うのは、4年間で得た自分の変化。1年生の頃は課題を与えられる受け身の姿勢でしたが、4年生では自分たちの学びたい内容やフィールドを先生に提案し、授業が組み立てられていきました。先生の緻密な計算にうまく乗せられて(笑)、いつの間にか積極的、自立的に行動できる自分に成長していました。大学は、楽しいことや新しいことを自ら創りだす場です。やる気さえあれば仲間や先生が協力し、一緒に楽しんでくれます。みなさんもぜひ、高知大学で今までにない経験を創ってみてください!

部活のフットサルでも、遠征や大会で実行力や段取り力の重要性を実感!すべてが社会に出る勉強になりました



## 教員にきく

### 人文科学と社会科学を総合的に学び、自分の世界を大きく広げて欲しい

中川 香代 社会経済学科 教授

学生には、自分の学びたいことに向かって、のびのびと活動して欲しいと思っています。

人文学部の教育は、人文科学と社会科学の多彩な講義メニューはもちろんのこと、5~10人で学生と教員が、あるいは学生同士が話し合いをしながら勉強していく少人数クラスも充実しています。また、ヨーロッパ・アメリカ・カナダ・アジアなどへの海外スタディツアーや、国内外の企業や公的機関への訪問など、フィールドワークや実社会との連携授業など、多様な活動機会も多くそろえています。そのなかで学生は、人間・文化・社会について、国際的に視野を広げ、歴史的に考えを深めることができます。ぜひ、人文学部で専門性を身につけ、「本質を見る」「深く考える」「コミュニケーションする」「行動する」経験を積み、自分の世界を大きく広げてほしいと思います。



#### カリキュラム例

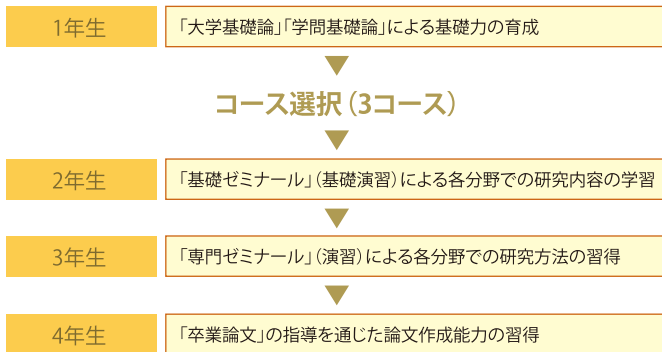
人間文化学科	国際社会コミュニケーション学科	社会経済学科
合わせて150以上もの多彩な科目の中から興味の方 向に添った履修が可能です。	6つのプログラムの中から関心領域を体系的に学び ます。	経済・経営・会計・法律・政治を中心に、以下の科目な どから幅広く総合的に学ぶことができます。
<b>■人間基礎論コース</b> 西洋近現代哲学、倫理学、東洋思想、西洋思想史、 宗教学、言語学、意味論、文法論、社会心理学、認 知心理学、発達心理学、感情心理学 <b>■地域変動論コース</b> 日本中世史、日本近世史、日本近代史、考古学、中 国古代史、中国近世史、西洋近現代史、人文地理 学、自然地理学、方言学 <b>■言語表象論コース</b> 平安朝文学、日本中世文学、日本近代文学、日本 語学、中国文学・文化、イギリス文学、アメリカ文 学、フランス文学	異文化間コミュニケーション論、比較文化論(日 英米独仏中)、英米文化史、環境文化論、オーラ ルコミュニケーション、テキスト構成研究、第二言 語習得論、日本語教育法、英語音声学、読解研究 (英独仏中)、社会言語学、メディア文化論、社会 文化交流論、国際関係論、社会思想史、比較日本 社会文化論、現代アメリカ社会文化論、ヨーロッ パ社会文化論、中国経済社会論、大衆文化論、 日本文化表現法、世界経済論、西欧経済史、外国 語としての日本語、マルチメディア論、アジア経 済社会論、応用倫理学、言語コミュニケーション 研究	<b>[経済系科目]</b> ミクロ経済学、マクロ経済学、地方財政論、金融論、 国際金融論、福祉経済論、環境経済学、地域経済論 <b>[経営・会計系科目]</b> 経営管理論、競争戦略論、企業システム論、国際 経営論、マーケティング論、人事管理論、会計学、 財務諸表分析、簿記原理、ビジネス・シミュレー ション <b>[法律・政治系科目]</b> 憲法、民法、刑法、行政法、商法、経済法、労働法、社 会保険法、政治学、政治過程論

# 人間文化学科 Department of Human Culture

## 変革の時代に道を切り拓くアクティブな「人間の学」

### 教育理念

情報化・国際化の進展に伴い、21世紀の日本は、あらゆる場面で大きな変革を迫られています。混迷と激動の時代にあって求められるのは、問題に対して既成の枠にとらわれることなく、柔軟かつ迅速に的確な判断を下しうる能力です。本学科は、言語・文学・思想・行動や、環境・歴史など、人間に関わる事象万般にわたる複眼的アプローチによって、人間についての総合的な理解を深める教育を推し進め、そのことを通じて、現代社会の中で生じてくる様々な課題に対処し、よりよい将来を自らの手で築きうる、活きた知恵と知性とを備えた「人」を育てます。



### コース紹介

#### ▶ 人間基礎論コース 人間の根っこを考える

社会が複雑になるほど、人間の本質への省察が必要となります。哲学・倫理学・宗教学・心理学・言語学の各分野を学びながら、人間の思想・言語・認知への理解を深め、文化を創ると同時に文化によって創られる人間存在をとらえる洞察力を育成します。



#### ▶ 地域変動論コース

##### 時空間のなかで 人間の生き方を考える

世界各地の社会・文化を歴史的な視点から理解し、人間が生活する地域固有の産業・方言・自然などの環境を学ぶことで、地域の重層的な把握を目指します。日本史学・考古学・東洋史学・西洋史学・地理学・方言学の各分野を学べます。



#### ▶ 言語表象論コース

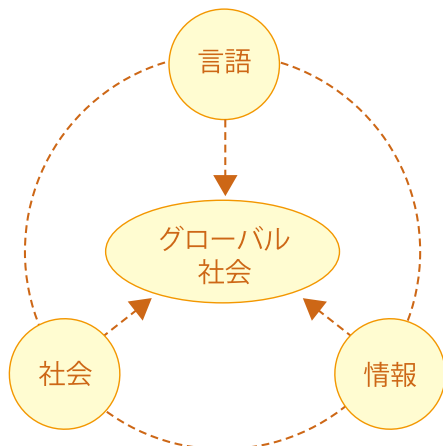
##### 「ことば」を通して、 深く「人間」について考える

日本文学・日本語学・中国文学・イギリス文学・アメリカ文学・フランス文学など、世界の言語文化を学びます。また、それらを比較対照することで、多様な文化現象を総合的に把握できる、創造的な知性と豊かな感性の育成を目指します。



# 国際社会コミュニケーション学科 Department of International Studies

## 「異文化」と「グローバル社会」にアプローチする



### 教育理念

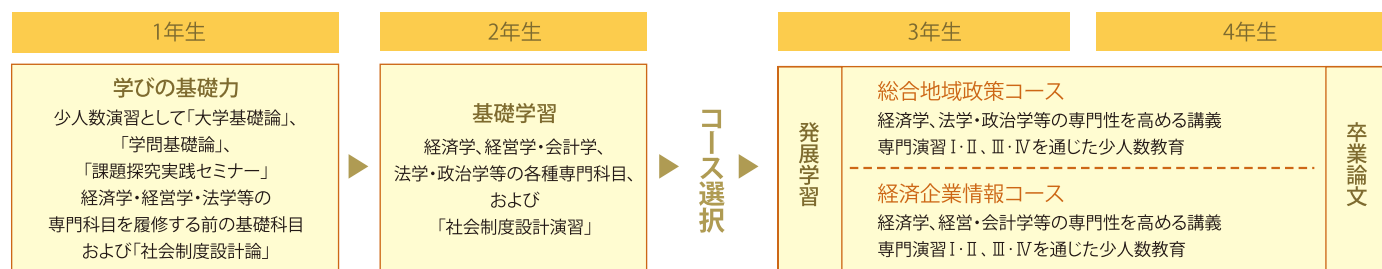
本学科は、従来の学問・教育の枠組みを超え、多角的な観点から「グローバル社会」にアプローチし、外国語の会得、異文化への深い理解、グローバル社会に対する批判的考察を通じて、幅広い問題意識を持った人間の育成を目指しています。



## 経済・経営・法律など多様な社会科学を自由に学ぶ

### 教育理念

社会経済学科は、社会の現場の理解と社会科学全般の学習を通じて得られる知識・能力をもとに、自ら社会的・組織的な課題を発見し、解決するための諸制度を設計・実現できる専門的職業人を養成する学科です。現代社会人に求められる幅広い知識や素養を養うために、社会科学全般にわたる科目群をそろえ、総合地域政策コース・経済企業情報コースという2つのコースを設置しています。また、少人数教育を重視し、演習授業を入学から卒業まで4年間継続して受けられる体制を取っています。



### コース紹介

#### ▶ 総合地域政策コース

地域社会を動かすしくみを学び、  
政策を立案する人になる

経済学、法学、政治学、社会学等を総合的に学び、フィールドワーク等を通じて直接「現場」と関わることで、地域における各種問題を解決するための政策立案能力を育成します。生活者重視の新しい社会制度の設計に貢献できる専門的職業人を養成することを目標としています。



#### ▶ 経済企業情報コース

経済・企業経営・情報化を学び、  
革新を考える人になる

経済学、経営学、会計学等を総合的に学び、企業分析や経済分析を行う能力を育成します。技術革新や国際化等により日々変化する経済環境とその影響を適切に把握し、人事等の企業内制度や経営戦略の設計を通じて企業活動の未来を切り開く専門的職業人を養成することを目標としています。



### 学科紹介

「多角的な観点」からグローバル社会にアプローチし、「批判的考察」を行うには、単に様々なものに関心を持つだけでは十分ではありません。自身の位置・対象の位置を座標軸の上で客観的に捉えることが重要です。そうした大学での学びのための一つのヒントとなるのが「プログラム制」という履修モデルです。本学科には、〈言語・コミュニケーション〉〈総合文化〉〈グローバル社会〉という3つの分野プログラムと〈ヨーロッパ〉〈南北アメリカ〉〈アジア・オセアニア〉という3つの地域プログラムがあり、本学科の専門科目は、それぞれ一つの分野・地域ないしそれ以上のプログラムに属しています。また、学科教員もすべて2つ以上のプログラムに配置されています。6つのプログラムのいずれかで所定の単位を修得し、関連プログラムの教員の「ゼミナール」で学び、卒業論文を作成すれば、修了証が授与されます。（※プログラム制は履修モデルであり、卒業のための必須条件ではありません。）

2年生から始まる「ゼミナール」では、一学年平均5～6名程度の少人数制で、卒業論文の作成へ向け、長期的かつ綿密な指導が行われます。







■卒業後の進路 学部卒・大学院修了者の過去3年間の主な就職先・進学先です。(企業名は五十音順です)

人間文化学科

アールビバン(東京)、あおき(静岡)、アグレックス、アルピオン、淡路信用金庫、石川病院(愛媛)、伊予銀行、内山病院(鹿児島)、NTTマーケティングアクト、エフピコ、えほんの店ココソサン、エレクトリックパーツ高知、大分県信用組合、大地農園(兵庫)、沖縄県立埋蔵文化財センター、香川銀行、鹿児島ヤクルト販売、クイック情報サービス、倉敷中央病院、グラフィック(京都)、くろしお通信サービス(高知)、恵愛福祉事業団(香川)、KDDI、廣榮堂(岡山)、高知銀行、高知電子計算センター、高知トヨペット、コベルコ建機、三翠園、サンベルクス、JAいずも(島根)、JA岡山、JA共済(島根)、JA高知中央会、JA土佐あき、JAまにわ、四国情報管理センター、四国進学会、島根銀行、島根東亜建物管理、スタジオアリス、積水ハウス、大進本店、高松信用金庫、高松帝酸、千葉ロッテマリーンズ、チュチュアンナ、テイクアンドグヴ・ニース、東海医療福祉専門学校、トキハ(大分)、トキハインダストリー(大分)、靳スコレ・コーポレーション(広島)、日亜化学工業、日本食研、日本生命保険、日本赤十字社広島県支部、日本フォームサービス、NOSAI高知、パイオン(大阪)、幡多信用金庫、ハローズ、百十四銀行、備後信用組合、福山通運、富士ゼロックス三重、二葉屋、ペイクルーズ、マックスパリオ西日本、マルウ接着(愛媛)、マルシン広告社、三菱電機住環境システムズ、宮崎太陽銀行、メガネトップ、メガネの田中チェーン(広島)、森松水産冷凍(愛媛)、モリソールホールディングス(香川)、山内宝物資料館(高知)、ヤマダヤ(愛知)、山地緑化センター(香川)、四電工、ラヴィータ(高知)、リーガロイヤルホテル、松山少年鑑別所(法務教官)、高知県庁、和歌山県庁、高知市役所、安芸市役所、南国市役所、丹波市役所、黒潮町役場、南部町役場(鳥取)、奈義町役場(岡山)、玖珠町役場(大分)、北谷町役場(沖縄)、高知県警、愛媛県警、高知県私立学校教員、千葉県公立学校教員、神奈川県公立学校教員、広島県公立学校教員、香川県私立学校教員

▶大学院進学先 高知大学大学院、京都教育大学大学院、大阪大学大学院、神戸大学大学院、広島大学大学院、鳴門教育大学大学院

国際社会コミュニケーション学科

旭食品、アスコム(石川)、イオンモール倉敷、一畑トラベルサービス(島根)、伊藤ハム、梅の花(福岡)、梅乃宿酒造(奈良)、ANA福岡空港、エーピーシー・マート、エスピジョングループ(和歌山)、エム・アイ・ディー(大阪)、大分県信用組合、兼松エンジニアリング、キャセイパシフィック、コイズミ照明、康正産業(鹿児島)、高知銀行、高知食糧、高知信用金庫、沢の鶴、山陰合同銀行、山九、三協テック、三景、三幸グループ、シーケンス、シークス、JA香川県、JA高知電算センター、JTB中国四国、JTB中部、滋賀富士通ソフトウェア、四国銀行、四国スバル販売、四国労働金庫、城西館、スパイア(東京)、西濃運輸、積水ハウス、全労済、第一ホンダ販売、太陽(高知)、ディーアンドエムホールディングス、徳島日産自動車、図書館結の会(高知)、鳥取銀行、トマト銀行、トヨタ工機、トリニティアーツ、長崎大学付属病院、ナビオコンピュータ、南城市観光協会(沖縄)、日亜化学工業、野村証券、平林物産(千葉)、富士通四国システムズ、フジトラベル・サービス、フジファミリーフーズ、PLUS、別大興産(大分)、マイナビ、名鉄観光サービス、吉花(石川)、ワークスアプリケーションズ、国家公務員Ⅱ種(内閣官房)、熊本県庁、高知市役所、土佐清水市役所、尼崎市役所、延岡市役所、仁淀川町役場、須知安町役場、糸田町役場(福岡)、高知県警、長門市消防本部、高知県公立学校教員、高知県私立学校教員、徳島県公立学校教員、香川県公立学校教員

▶大学院進学先 高知大学大学院、千葉大学大学院、神戸大学大学院、広島大学大学院

社会経済学科

明石機械工業、浅野産業(岡山)、旭食品、アドバンスサポートグループ(香川)、穴吹興産、淡路信用金庫、イオンリテール、伊予銀行、エー・ピーカンパニー、NTT西日本、愛媛銀行、大川印刷(神奈川)、大分銀行、大分県信用組合、香川銀行、香川証券、カネヒラ鉄鋼、鎌長製衡(香川)、技研製作所、キシヤ(福岡)、九州通信ネットワーク、近畿産業信用組合、くらコーポレーション、高知銀行、高知県信用保証協会、高知システムズ、高知信用金庫、高知青果市場、光洋電機、山陰合同銀行、三五(愛知)、サンテレビジョン、ジーユー、ジェイアール西日本ホテル開発、JA板野郡、JAおおいた、JA高知県本部、JA島根中央会、JA土佐くろしお、四国がんセンター、四国銀行、四国情報管理センター、島根中央信用金庫、下電造園土木、Sky(大阪)、スズキ自販高知、生和不動産保証、損害保険ジャパン、たかせんテレコム(香川)、高田工業所(福岡)、谷口金属熱処理工業所、中国銀行、中国労働金庫、津山商工会議所、D.T.コレクション(徳島)、帝国データバンク、デサント、東京青果、東洋電化工業、トヨタL&F西四国、トヨタカローラ広島、錦(京都)、日軽形材、日本銀行、日本放送協会、野村証券、パナソニック岡山、浜幸、日立造船ハンドリングシステム、ビッグ・エス、ピプラ・テレビジョン、フードプラン(高知)、富国生命保険、ブンセン(兵庫)、ホシザキ四国、北海道電力、マキタ(香川)、三重銀行、宮崎太陽銀行、明星産商、メディカ出版、山本屋本店(愛知)、有機のがつこう土佐自然塾、ユーコム(東京)、勇心酒造、四電工、和歌山県信用保証協会、国立大学法人高知大学、高知県庁、兵庫県庁、愛媛県庁、高知市役所、牧之原市役所、宇治市役所、川西市役所、鳥取市役所、三原市役所、下関市役所、島原市役所、美咲町役場(岡山)、高知県警、岡山県警、徳島県警、高知市消防局、千葉県公立学校教員、京都府公立学校教員、香川県私立学校教員

▶大学院進学先 高知大学大学院、東京工業大学大学院、一橋大学大学院、岡山大学大学院

[一般入試 備考]

- [大学入試センター試験の利用教科・科目名欄について(利用教科・科目の選択方法の詳細に関しては「入学者選抜に関する要項」で確認すること。)  
利用教科・科目の中で、指定された教科・科目数を超えて受験している場合には、選択となる各教科・科目において、高得点の科目の成績を用いる。ただし、「地理歴史」、「公民」及び「理科(基礎を付していない科目)」については、本学の指定する利用科目数が1科目又は選択の結果、1科目のみの利用となった場合、2科目受験者については、第1解答科目の成績を用いることとし、第1解答科目が本学の指定する利用教科・科目でない場合は合格者とならない。(個別学力検査等を受験することもできない。)[英語]についてはリスニングを含む。「数学」の教科については『工業数理基礎』、『簿記・会計』、『情報関係基礎』を選択できる者は、高等学校もしくは中等教育学校において、これらの科目(ただし、『情報関係基礎』については、普通教科及び学校設定科目以外の『情報に関する科目』)を履修した者及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限る。
- [個別学力検査等欄について:出題範囲等については「入学者選抜に関する要項」で確認すること。

推薦入試

学科名等	学力検査等の区分・日程(募集人員)	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等	
		科目名等		教科等	科目名等
人間文化学科	推薦入試Ⅰ(30)	大学入試センター試験は課さない		その他	面接 [必須]
国際社会コミュニケーション学科	推薦入試Ⅰ(A選抜)(B選抜)(20)(15)	大学入試センター試験は課さない		その他	面接 [必須]
社会経済学科	推薦入試Ⅰ(25)	大学入試センター試験は課さない		その他	面接 [必須]

# 教育学部

Faculty of Education

「人が人らしく生きる」場面に深く関わり合う

## 学科・コース

学校教育教員養成課程

幼児教育コース

教育科学コース

教科教育コース

国語教育コース

社会科教育コース

数学教育コース

理科教育コース

英語教育コース

技術教育コース

家庭科教育コース

音楽教育コース

美術教育コース

保健体育教育コース

科学技術教育コース

特別支援教育コース

スマホで  
読み込もう



教材づくりも、まずは楽しむことから



支援実習では中山間地域の学校を訪れることも

それぞれの分野の専門家から“本物”を学ぶ!



▶ 教育学部ホームページ <http://akebono.ei.kochi-u.ac.jp/>



高知大学は入学後、  
 いろんな分野を見た上で  
 教員としての専門を決められます。  
 それがとても  
 よかったですね

# 先輩にきく 子どもたちと関わりながら成長できる!

池田 啓彰 学校教育教員養成課程1年(宮崎県立延岡星雲高校出身)

高校時代は野球一筋で、部活中心の3年間でした。だから大学に入ったら好きな野球を続けつつも、もっといろいろな経験をしてみようかと心に決めていました。それは将来、教師として教壇に立った時、子どもたちにたくさん話を聞かせてあげたいと思ったからです。自分の経験値を高め、人間として魅力的になりたいと考えました。

その点で、高知大学は非常に恵まれた環境だと思います。4年間を通して授業の中で多様なプログラムが組まれていて、いろいろなかたちで地域の学校や先生、子どもたちと関わる機会があります。1年生で最も大きな経験になったのは、11月に行われた「地域・学校ボランティア活動」。これは、青少年育成協議会などと一緒に近隣9校から小学生約300名を招き、キャンパス内で様々な遊びの企画やレクリエーションを行うイベントです。僕はその学生代表として運営管理や調整に関わりました。当日は予期せぬハプニングもありましたが、子どもたちのいい笑顔を見ることができて本当に達成感と喜びを感じることができました。



ボランティアサークルのメンバーと

また、課外活動でも「室戸ボランティアサークル」で、月1〜2回のペースで国立室戸青少年自然の家に小中学生の野外活動のお手伝いに行かせていただくなど、学内外とわず幅広く学ぶことができます。目標としている人間性豊かな教員になれるよう、今後いろいろなチャレンジをしていきたいと思います。



# 教員にきく 実践しては振り返る、「省察」が鍵

内田 純一 学校教育教員養成課程 教授

私たちが大事にしているのは、大学で学んだ知識と社会の現実とを出会わせて、学びを振り返る「省察」のサイクルです。今、社会に求められているのは「省察的実践家」といわれる教育者。実践しては考え、また実践する、臨機応変力を持った教員です。そのため4年間を通しての様々な実習系授業と専門授業との往還を重視し、省察的実践力を高めています。

大学に入学すると、皆さんの世界は“おぼえる”から“わかる”へと一変します。“わかる”というのは、“わからないことがわかる”ということでもあり、「なぜ?」「どうして?」という疑問が思いもよらない発見や新たな興味へとつながったりします。そういう学びの経験をたくさんすることが、教育者としての土台です。4年間でぜひ有意義な「学びづくり」をしてください。



## カリキュラム例

教育の原理や子どもの発達、教育の社会的・経営的側面に関する学習	教職の実践的側面に関する学習	特別支援教育に関する学習	教科指導・教科内容的側面に関する学習	教育に関する専門的な学習
<b>■必修授業</b> 教育制度論、教職入門、教育学概論、心理学概論、特別活動指導法、教育の方法・技術、教育相談、同和教育論、道徳教育、生徒指導	<b>■選択必修授業</b> 人権教育、障害児者問題入門、児童英語、教育哲学、日本教育史、西洋教育史、教育行政学、教育社会学、教育評価、パーソナリティ論、学校カウンセリング、認知心理学、生涯学習論、社会教育計画、教育情報演習、高知県の教育	<b>■1年次</b> 課題探求実践セミナー <b>■2年次</b> 観察実習(附属校園)、支援実習(中山間地域学校行事支援)、保育実習I <b>■3年次</b> 附属小学校実習、附属中学校実習、附属幼稚園実習、保育実習II <b>■4年次</b> 特別支援学校実習、応用実習、教職実践演習	<b>■教材開発演習</b> <b>■小学校教科に関する科目</b> 各教科の指導法(初等教科) 国語、社会科、数学、理科、生活、音楽、図工、家庭科、体育の各初等教科 <b>■中学校教科に関する科目</b> 各教科の指導法(中等教科)、国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術・家庭、外国語(英語)の各教科に関する科目 <b>■幼児教育・保育に関する科目</b> 各教科の指導法(幼稚園)、幼児教育課程論、保育指導論、幼児理解、ペアレントング、保幼小接続カリキュラム、高知の保育、保育士に関する科目	基礎演習、専門演習I、専門演習II、専門演習III、専門演習IV、卒業論文、スポーツ地域ボランティア論、芸術文化ボランティア論

# 学校教育教員養成課程 Teacher Training Division

## こどもたちに豊かな人間教育を

### 教育理念

本学部は、質の高い教員の育成を目的としています。特に、高知県の教育課題である道徳教育や特別支援教育など心の教育や、グローバル化に対応した英語教育、理数技術系の向上に質する科学技術教育など学力向上に寄与する教員プログラムに力を入れています。併せて、運動、音楽、絵画等を基盤とした就学前教育にかかわる教育者・保育者の育成も重視しています。



### 学びの特色

小学校および中学校(あるいは特別支援学校)の教員養成を一体的に行うことを特色としています。4年間一貫した実習系授業を履修する中で子どもたちや教職員・地域の方々と関わりながら、教育に必要なコミュニケーション能力や実践的指導力を身につけることができます。そして、幅広い教養科目と教育学や心理学などの教職の基本に関する科目、各教科に関連する科目を学習することで、それらの力を高めることができます。本課程では、教員免許の取得が必要です。

### コース紹介

#### ▶ 幼児教育コース

##### 幼児教育および乳幼児保育における高度な専門性と研究・実践力

就学前は人間としての基礎を形成する大事な時期であり、この時期の子どもたちに接する教育者・保育者には、より深い人間理解と高度な専門性が重要です。近年は、認定子ども園法の改正により、幼保連携型認定子ども園では幼稚園教諭免許と保育士資格※の両方を持つ保育教諭が配置され、教育と保育の両面に視野を持つことが求められています。

本コースでは、保育士資格と幼稚園教諭一種免許の取得を必修としながら小学校・特別支援科目群の学習を行うことで就学後の教育を見通して、その土台となる乳幼児保育・教育を充実させる力を養います。さらに、高知の保育や親子関係の支援(ペアレンティング)等の授業を通して、地域の子どもをとりまく現状について学びます。充実したカリキュラムのもと、理論と実践を往還させながら高い保育・教育研究能力を身につけることを学生に期待しています。

※厚生労働省に認可申請中



#### ▶ 教育科学コース

##### 多様で複雑な教育課題を読み解きよりよい未来を切り開く力

本コースでは、小学校や中学校教員となるために必要な教員免許取得の他に、教育学や心理学に関する専門的な学習と研究を深め、理論と実践の両面を視野に入れた教員養成を目指します。コースの学習は、教育を教室や学校に限定せず広い視野で考えていくことが特徴です。グローバル化や情報化、少子高齢化など社会の急激な変化に伴い、現代の教育課題は多様で複雑になってきています。社会全体として見たとき、学校・学級を集団やシステムとして捉えたとき、子どもや教師といった個人に焦点を当てたとき、あるいは「教育」そのものをじっくり考えたときに何が見えてくるでしょうか。

様々な専門性を有する教育学・心理学の教員の指導のもとで、教育を科学することを通して、教育課題を深く読み解き粘り強く思考・試行する力を身につけることを学生に期待しています。



#### ▶ 教科教育コース

##### 教科内容の専門性と教科指導の実践力を培い、「確かな学力」を育む

学習指導要領の中で「生きる力」として上げられたのは知・徳・体の3つの要素です。その中でも知に当たる「確かな学力」とは「基礎的な知識・技能を習得し、それらを活用して、自ら考え、判断し、表現することにより、様々な問題に積極的に対応し、解決する力」と定義されています。確かに学校で長時間過ごす児童生徒にとって、わからない授業ほど苦痛なものはないでしょう。また、様々な問題を抱える社会の中で、力強く成長していくことのできる力を子どもたちにはぐくむことも重要となっています。学校で辛い時間を過ごす子どもが一人もいないように、子どもたちが豊かに成長して次世代の社会を創っていくための力を獲得できるように、教科内容の専門性と教科指導の実践力の両方を備えたすぐれた教員が求められています。

教科の各コースでは、教科の内容・方法を深く掘り下げ、各教科の目標、新しい教材づくり、授業設計・構築および学習指導法などについての



▶ 教育学部で身につける教員としての力量形成のステップ



国語教育／社会科教育／数学教育／理科教育／英語教育／技術教育／家庭科教育／音楽教育／美術教育／保健体育教育の各コース

専門的な理論と実践を学び、高度な能力と豊かな知識を身につけ、教科指導にすぐれた実践力を持った学校教員の育成を目指します。さらに、発達段階に応じた教科の指導法や教育内容、あるいは、カリキュラムについて明確な課題意識を持って探求し、現代の子どもたちの課題に応じた新しい教科学習の指導を創造していくことのできる、学び続ける教員の養成を目指しています。



▶ 科学技術教育コース

知的的好奇心と探求心を高め  
科学的思考・技術に結実させる力を育む

生活の中で気づく「なぜ?」に対して答えを見つけること、また、自分の手で何かを作り上げることが人間の知的的好奇心を満足させる楽しい活動です。幼い頃、遊びの中で小さな発見や発明などを楽しんだ経験はありませんか。未来を担う子どもたちの科学技術力を育成するためには、科学技術の面白さや魅力を引き出し探求心を高め、それらを科学的な思考や技術へ発展させていくことができる専門性を有した教員が必要です。

本コースでは、理科と技術科の両教科を融合した教科内容を充実・強化することにより、理科および技術科を担当できる高い専門性と知識を有する教員を育てます。また、学校教育にとどまらず、知識と専門性を活かして地域の中で理科および技術科教育を積極的に推進できるリーダー的な役割を担える人材を育てます。



▶ 特別支援教育コース

子どもの教育的ニーズに応じた適切な指導および必要な支援ができる力を育む

近年、盲・聾・養護学校が特別支援学校に移行し、また通常学級においても個別の支援を行うしくみが整えられています。幅広い教育の現場で、心身の障害や学習困難から生じる特別な教育的ニーズのある児童生徒に対して、その障害特性に応じた適切な教育を行える教員が求められています。

本コースでは、これまでの特殊教育といわれる分野、主に知的障害の子ども、肢体不自由の子ども、病弱の子どもを教育する方法や視覚障害や聴覚障害、情緒障害、言語障害、発達障害について学びます。また、児童生徒の学習上又は生活上の困難を分析するための理論や児童生徒に応じた適切な指導法も学びます。こうした知識や専門性は、通常学級を受け持つ教員にも必要とされています。コースでの学習・研究を通して、子ども一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な指導および必要な支援ができる力を身につけることを学生に期待します。







# 理学部

Faculty of Science

## 壮大なスケールの世界を基礎から応用まで解き明かす

### 学科・コース

#### 理学科

数学コース

物理科学コース

化学コース

生物科学コース

地球科学コース

#### 応用理学科

情報科学コース

応用化学コース

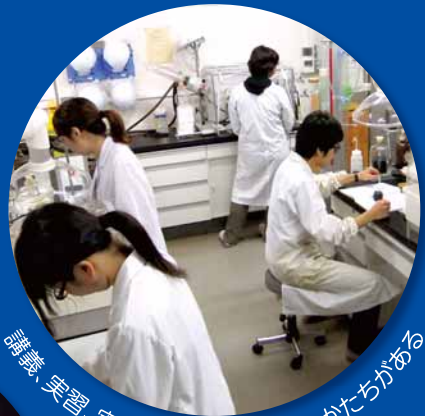
海洋生命・分子工学コース

災害科学コース

スマホで  
読み込もう



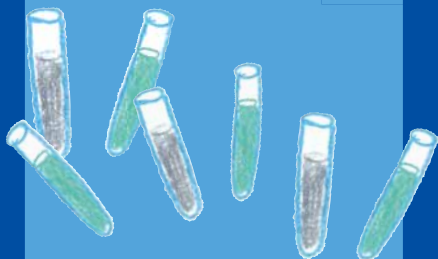
海洋実習などに対応できる施設・設備も充実



講義、実習、実験など様々な授業のかたちがある



フィールド観察など体験型の授業も多い



▶ 理学部ホームページ <http://science.cc.kochi-u.ac.jp/>





## 先輩にきく 研究に終わりはなし!

片山 優美 理学科4年(広島県立安古市高校出身)

高知は  
川も空も本当にきれい!  
特に夜空が最高で、  
大学の屋上で見た流れ星は  
一生忘れません!

配属を決める研究室訪問で、コケをテーマにしている現在の研究室に出会いました。高知は湿潤な気候のうえ、山や川などの自然がすぐ近くにあり、実はコケの研究には最適な環境です。1、2年生の頃は知識も少なくわからなかったけれど、日本の大学の中では2番目の規模だというコケ類の標本室のすばさも、今は十分に実感しています。

私の卒業研究のテーマは「蘚類の造精器の分類形質の再評価」。簡単に言うと、コケ植物の生殖器官の形態的特徴について、まだ学術的な裏付けのない通説の証明に挑戦しました。コケの生殖器官はすごく小さく、100~500マイクロメートルくらいのサイズ。それをひたすら顕微鏡で見て、観察スケッチや様々な計測を行います。そういう作業に入ると本当に没頭してしまって、時間の経つのを忘れます(笑)。一つのことがわかると、また次から次へと新たな疑問がわいてきて、まさに研究には終わりがなし! 学ぶ楽しさを感じていますね。



コケのコレクションは約10万点。学生は自由に閲覧できます。

卒業研究は、学問の追究以上に本当にたくさんのことが学べます。分析力、表現力、プレゼン力...これらは、今この時だけでなく、将来社会に出た時にきっと役に立つはずです。また、高知大学の先生方は、私たち学生が行き詰まった時、指示ではなくヒントと考える時間を与えてくれます。問題を解決するために、学生が自分の中から答えや行動を見つけ出すことをいつも大事にしてくれました。こういう環境で学ぶことができ、心から感謝しています!



## 教員にきく ともに、未知の世界を探求しよう!

鈴木 知彦 理学部長

理学という分野は、医学や農学、工学と違って“何かのために”という実学の要素がなくても許される唯一の分野です。「なぜなんだろう?」「どうしてそうなるのだろう?」という疑問がまず先にあり、知的好奇心に従って真理を追求する。それこそが理学の精神であり醍醐味といえます。

大学での学びは、いわば“ものを考える”という訓練です。例えば卒業研究で1年間苦労して取り組んだテーマが将来直接役立つかどうかは、さほど意識する必要はありません。大切なのは社会に出た時、様々な場面で疑問を感じたり、ものを考える癖がついているかどうかです。インターネットで何でも検索できるけれどもその真偽は非常に怪しげな今の情報社会において、理系の言葉できちんと考え正しい判断ができることは非常に大きな力となるでしょう。本学部で基礎的な数学力、英語力、情報処理能力の上に専門力、理学の精神を身につけ、社会に羽ばたいてほしいと願っています。

### カリキュラム例

1年生では様々な分野を幅広く学び、2年生で主専攻を、3年生で副専攻を選択します。希望のコースに進むことができるのが理学部の特徴。4年生で研究室に配属されます。

理学科	応用理学科
<ul style="list-style-type: none"> <li>■数学コース 微分積分学概論、線形代数学概論、解析学、幾何学、代数学、統計数学</li> <li>■物理学コース 力学、電磁気学、熱力学、物理化学、統計力学、量子力学</li> <li>■化学コース 有機化学、無機化学、分析化学、物理化学</li> <li>■生物科学コース 動物生理学、細胞生物学、植物分類学、動物分類学、生態学</li> <li>■地球科学コース 地球史環境科学、造岩鉱物学、資源地学、海洋地質学、古生物学</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■情報科学コース 計算機システム学、プログラム言語論、オペレーティングシステム論、情報ネットワーク論、人工知能工学</li> <li>■応用化学コース 有機化学、無機化学、分析化学、機能材料化学、有機材料化学</li> <li>■海洋生命・分子工学コース 生化学、発生生物学、有機化学、分子生物学、進化生物学</li> <li>■災害科学コース 地球惑星科学、災害科学、大気科学、地球観測学、連続体力学、地震物質学</li> </ul>



# 理学部

## 学びの特色

**1年生の終わりに9コースの中から所属コースを決めるプライマリ宣言を行います。コースに定員はないため、希望する分野へ確実に進めます。**

新入生はまず理学部共通授業を履修します。1年生の終わりには9コースの中から所属コース(主専攻)を決めるプライマリ宣言を行い、さらに2年生の終わりに副専攻を決めるセカンダリ宣言を行います。副専攻には主専攻の専門性をさらに高めるアドバンスプログラムと、主専攻以外の授業も履修し幅広い知識を育むジェネラルプログラムが準備されています。

## 求める人材像

理学部は数学や理科が好きで、自然に対する好奇心と探究心を持つ学生を待っています。

理学科には数学、物理科学、化学、生物科学、地球科学の5コースがあり、各教科に興味を持ち、正しい自然観や倫理観を学び、教員などの基礎的知識を活かせる職種、応用分野への就職を展望するような意欲ある学生を求めます。

応用理学科には情報科学、応用化学、海洋生命・分子工学、災害科学の4コースがあり、各教科に興味を持ち、社会や資源、自然現象に広く関心を持ち、実際に手や体を動かして応用的課題に取り組むことができる意欲ある学生を求めます。

# 理学科 Department of Natural Science

## 知的文化の創造と人類進歩を目指して

### 教育理念

理学科は、自然現象や生命活動の探求という純粋理学的な営みについて、数学的思考を基礎にとらえ、物理・化学・生物科学・地球科学の諸分野の英知を結集してその教育と研究に挑みます。

知的文化の創造と人類の調和ある進歩に供することを理念として掲げ、そのことを通して正しい自然観と生命観を備え、そして、課題設定および課題解決ができる職業人の養成を目指します。

### コース紹介

#### ▶ 数学コース

**豊かな自然に恵まれた高知で深く親しむ数学の世界**

数学的・論理的であることはすべての科学に携わる人々に必然的に求められます。しかし、数学を的確に活用するためには、正確な数学的知識の習得とそれに基づく訓練が必要です。数学コースでは、それらを可能にする環境を提供します。高校で学んだ基礎の上に、解析学、幾何学、代数学、統計数学を学びます。



#### ▶ 化学コース

**元素の不思議に迫り、化学の本質を究める!**

無機・有機化合物の物理化学的性質、反応メカニズム、合成法、分析手法等について、原子・分子の基本要素から複雑な先端化学物質に至るまでを系統的に学習し、化学物質の本質的理解と応用価値について専門性を高め、我が国の科学技術発展に貢献できる研究者・技術者の育成を目指します。



#### ▶ 地球科学コース

**高知から南極、深海底まで地球科学の行手に限界はない**

地球科学コースでは、地球史の視点から地球を理解することを目指して、山や海岸や海底に見られる様々な岩石・鉱物・化石を観察・分析することによって、過去の地質時代におこった大地の変動や気候変動、さらに生物の絶滅や進化を明らかにします。また鉱物資源に関わる教育・研究も行っています。



#### ▶ 物理科学コース

**素粒子から宇宙まで、物質の謎を探究する**

素粒子から原子核、原子、分子およびその集合体まで、物質がその階層に応じて示す基本法則、現象、性質などを実験・理論の両面から学びます。古典物理学、量子力学、熱・統計力学、物理化学などの基礎知識を習得し、固体の磁性・超伝導・イオン伝導、電磁現象、核物質、クォーク物質などの研究に応用する力を養います。



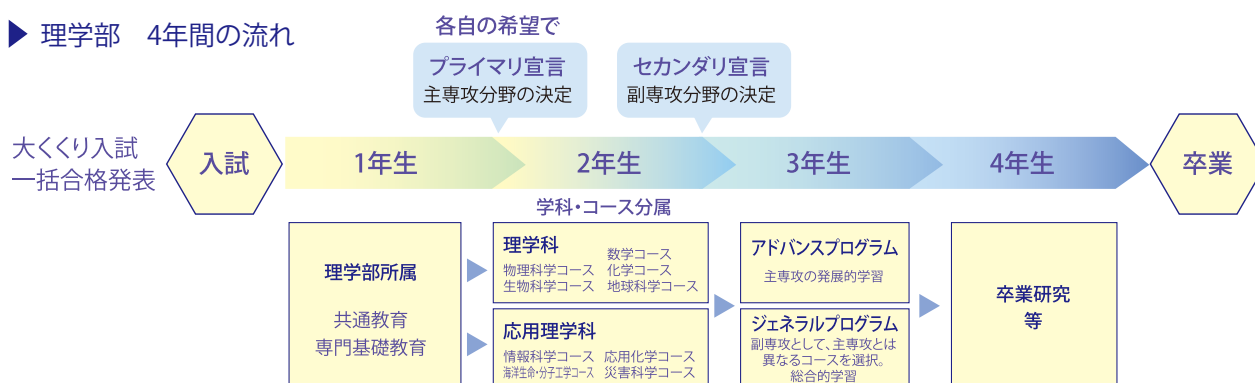
#### ▶ 生物科学コース

**山・川・海の生き物**

原生動物や藻類の細胞生物学と分子生理学、コケ植物、地衣類および魚類を対象とした分類学と形態学、河川、草原、里山などの植物生態学、堆積花粉の分析による古生態学、生命現象を数学的に捉える理論生物学、有用藻類を対象とした海洋植物学、甲殻類やウミガメの動物生態学など幅広い生物学の分野をカバーする教育と研究を行います。



## ▶ 理学部 4年間の流れ



# 応用理学科 Department of Applied Science

## グローバルな視点と豊かな発想での挑戦

### 教育理念

本学科は、情報、材料化学、生命、防災にそれぞれ対応した、他に類を見ないユニークな4コースで構成されています。各教育コースは、従来の学問分野にとらわれない応用面を強調した新しい融合型の教育と研究を行うばかりではなく、コース間で相互に連携を保ちつつ有機的な教育・研究を実践することも目標としています。これらにより、21世紀に活躍しうるグローバルな視点・豊かな創造力・積極的な行動力を身につけた人材の育成を目指します。

### コース紹介

#### ▶ 情報科学コース

**確かな理論と自由な感性が  
未来の情報技術を創造する**

コンピュータで何ができ、どう動き、どう作るかについてコンピュータサイエンスの基礎と応用を学びます。情報科学の成果は多くの分野で活用され、新しい学問の創出に貢献しています。コンピュータの理論から新たな分野への応用まで高度情報化社会の確かな担い手となる人材の育成を目指します。



#### ▶ 応用化学コース

**分子の可能性を知り、  
化学の力で未来を開く!**

分子レベルで物質の構造・性質および反応性等を明らかにし、食料、衣料、医薬品から家電製品に至る広い範囲にわたって、人々の生活に深く関わる化学物質を系統的に理解するとともに、生命・資源・地球環境問題に配慮した新しい物質の創造や機能性材料の開発について学習し、次代を担う幅広い専門知識や高度な技術力に加え、課題解決能力や応用展開能力を有する研究者・技術者の育成を目指します。



#### ▶ 海洋生命・分子工学コース

**分子のはたらきを解明し  
生命の謎を解く**

海洋生命・分子工学コースは、理学部の生命・海洋・物質の分野で中心的な役割を果たし、個性豊かな専門職業人の養成を目指します。本コースは分子生物学、生化学、天然物化学などの分野が含まれ、21世紀に活躍する人材の育成を目指します。



#### ▶ 災害科学コース

**災害をみる目を持つ**

災害科学コースでは、地盤災害・気象災害・地震災害などの自然災害の発生メカニズムを理解するための教育を行うとともに、野外調査や実験を通じて災害をもたらす自然現象を解明するための調査手法を紹介します。これにより、防災・減災に関連する研究者や技術者、災害に対処できる教育者や防災啓発の主体となる人材の育成を目指します。



# Voice! 内定者の声



**本宮 裕平** (千葉県立佐原白楊高校出身)  
静岡県公立学校教員(高校)採用 応用理学科4年

僕が高知大学を志望した理由は、地質学に興味があり、高知が地質学の発祥地だったためです。応用理学科災害科学コースに分属してからは、地震発生のサイクルやメカニズムについて学びました。僕が知りたいと思っていたことの最新技術や情報が溢れていて、「僕が考えていた以上にすごいことがわかっているんだ!」と心を動かされることが多々ありました。

教師になりたいと決めていたのは、実は高校の頃から。けれど、日本中探しても地学だけの教員採用枠はとて少なく、今年唯一採用枠があったのが静岡県

でした。東海地震の震源域である静岡県で自分の学んだ知識を活かし、さらにそれを深めながら、生徒たちにも教えてあげたいと思っています。将来的には防災のことも学んでいきたいですね。

学外では、4年生の時、「ピアカウンセラー」というボランティア活動に取り組みました。悩みを抱えている生徒に寄り添って話を聞く活動です。向かい先は通信制の高校だったので、様々な年齢層の方々と関わり、充実した時間を過ごすことができました。人と話せなかった生徒が「本宮さんとなら話せます」と言ってくれたことが、とてもうれしかったです。僕自身、以前は消極的でしたが、高校・大学通じての人との出会いで変わることができました。支えてくれたすべての人に感謝しています。

自分の熱い気持ちや夢、悩みを  
周りの人に伝えたと、  
みんなが親身になって聞いてくれる。  
高知大学は、そんなところだ



弓道部の仲間と室戸貫歩にも挑戦

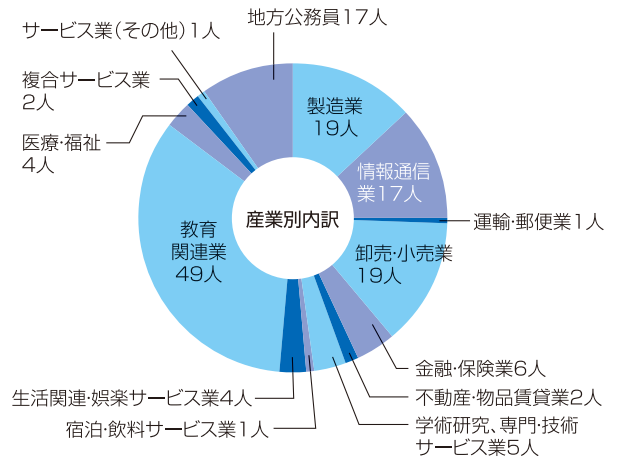


卒論ゼミで行った沖縄でのフィールドワーク

## ■取得できる資格等

- 数学・情報系**: 中学校教諭一種免許状(数学) / 高等学校教諭一種免許状(数学) / 高等学校教諭一種免許状(情報) / 情報処理技術者[要試験]
- 物理系**: 中学校教諭一種免許状(理科) / 高等学校教諭一種免許状(理科)
- 化学系**: 毒物劇物取扱責任者[資格審査有] / 危険物取扱者(甲種または乙種)[要試験] / 環境計量士[要試験] / 有機溶剤作業主任者[要試験] / 特定化学物質取扱責任者[要試験] / 中学校教諭一種免許状(理科) / 高等学校教諭一種免許状(理科)
- 生物系**: 学芸員 / 生物分類技能検定[要試験] / 中学校教諭一種免許状(理科) / 高等学校教諭一種免許状(理科)
- 海洋生命・分子工学系**: 毒物劇物取扱責任者[資格審査有] / 危険物取扱者(甲種または乙種)[要試験] / 中級バイオ技術者[要試験] / 上級バイオ技術者[要試験] / 中学校教諭一種免許状(理科) / 高等学校教諭一種免許状(理科)
- 地学・防災科学系**: 学芸員 / 測量士補[要試験] / 技術士補[要試験] / 防災士[要試験] / 中学校教諭一種免許状(理科) / 高等学校教諭一種免許状(理科)

## ■就職データ 2013年3月卒業生



## 平成27年度

### 入学者選抜の実施教科・科目等について

「●」は必須科目を表す。

「○」は選択必須科目(その教科は必須で教科内に選択科目がある)を表し、科目数欄に選択すべき科目数を表示。

#### 一般入試

学科名等	区分 学力検査等の 実施日程 (募集人員)	教科・科目数	大学入試センター試験の利用教科・科目名																				個別学力検査等														
			国語	地理歴史・公民						数学				理科				外国語				教科等															
			国語 科目数	世 A	世 B	日 A	日 B	地理 A	地理 B	理 社	倫 理	政 経	科 目 数	数 I	数 II A	数 II B	簿 記	情 報	科 目 数	物理 基礎	化学 基礎	生物 基礎	地 学 基礎	物理	化学	生 物	地 学	科 目 数	英 語	独 語	中 国 語	韓 国 語	科 目 数	教科等	科目名等 ( )は受験の選択・必須や 必要科目数など		
理学科・応用理学科	前期(40)	5教科7科目	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●			2						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1	数	<数学>数I・数II・数III・数A・数B[必須]
	前期(113)	5教科7科目	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1	理	<理科>物理基礎・物理・化学基礎・化学・生物基礎・生物・地学基礎・地学から1科目(1科目を選択必須)
	前期(10)	5教科7科目	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1	情報	<情報>情報 [必須]
	後期(30)	4教科5科目	●												○	○			2					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1	—	個別学力検査等は課さない	

■卒業後の進路 学部卒・大学院修了者の過去3年間の主な就職先・進学先です。(企業名は五十音順です)

数学コース

ITTO個別指導学院、SPK(大阪)、NTT西日本、花王カスタマーマーケティング、鹿児島くみあい食品、ケース・コーポレーション(佐賀)、コア(関西カンパニー)、高知銀行、秀英予備校、セキスハイム東四国、ティーガイア、トヨタカローラ鳥取、トヨタホーム岡山、日新シール工業、日本システム開発、檜垣造船(愛媛)、富士通マーケティング、労働基準監督署、神奈川県公立学校、国立大学法人愛媛大学、高知県庁、鳥取県庁、岡山県庁、福岡県庁、宮崎県庁、徳島県警、広島市消防局、高知県公立学校教員、高知県私立学校教員、群馬県公立学校教員、愛知県公立学校教員、京都府公立学校教員、兵庫県公立学校教員、兵庫県私立学校教員、奈良県公立学校教員、和歌山県公立学校教員、島根県公立学校教員、岡山県公立学校教員、愛媛県私立学校教員、福岡県私立学校教員、鹿児島県公立学校教員、沖縄県公立学校教員

▶大学院進学先 高知大学大学院、岡山大学大学院、琉球大学大学院

物理科学コース

インテリジェンスオフィス、京セラ、協和エクシオ、金星、コベルコ建機、佐賀銀行、GSP、四国ガス、ジャステック、瑞光、WDB、東海テクノアーム(愛知)、日本圧着端子製造、日本システムデザイン、別川製作所(石川)、マリンテック(福岡)、やしま(広島)、やまと印刷(愛媛)、ヤマト運輸、高知市役所、高知県公立学校教員

▶大学院進学先 高知大学大学院、名古屋大学大学院

化学、応用化学コース

アルピオン、伊藤ハム、宇治電化学工業(高知)、NSCN(大阪)、エルテック(兵庫)、大倉工業(香川)、北川村ゆづ王国、紀本電子工業(大阪)、京セラミタ、高知システムズ、サンヨー食品、JA香川県、JA土佐あき、四国化成工業、篠原化学薬品、新光化成(愛知)、全労済、大和化成研究所、中央コンピューター、東洋技研、東洋合成工業、徳島銀行、ハイテック、VSN、伏見製薬所、母恵夢本舗、松尾電機(大阪)、御国色素(兵庫)、エシロ化学工業(東京)、ルミカ(福岡)、高知県庁、阿久根市役所(鹿児島)、高知県警、陸上自衛隊、高知県公立学校教員、北海道公立学校教員、京都府公立学校教員、兵庫県公立学校教員

▶大学院進学先 高知大学大学院、東京工業大学大学院、北陸先端科学技術大学院、京都大学大学院、大阪大学大学院、神戸大学大学院、岡山大学大学院、九州大学大学院

生物科学コース

アイピーシステム、アスティス(愛媛)、アルカワールド(広島)、安心計画(福岡)、イオンリテール、伊豆箱根企業(静岡)、ACN中国、えがお(熊本)、おかやまコープ、桂浜水族館、キョーワ(香川)、くま動物病院、高知銀行、高知前川種苗、サークルレイ四国、四国情報管理センター、静岡県立病院機構、テンパール工業(広島)、東洋産業(岡山)、中田製作所(大阪)、日本銀行、日本データスキル(神奈川)、日本郵便、柏葉食健(福岡)、ハビックス(岐阜)、ハンズマン(宮崎)、フォレストホールディングス アステム(福岡)、富士通四国システムズ、諸長(新潟)、ヤマト運輸、高知県庁、島根県庁、高知市役所、福山市役所、高知県公立学校教員、高知県私立学校教員、兵庫県公立学校教員、愛媛県公立学校教員、大阪府私立専門学校教員

▶大学院進学先 高知大学大学院、北海道大学大学院、横浜国立大学大学院、広島大学大学院、香川大学大学院、大阪市立大学大学院

地球科学コース

アイエックス・ナレッジ、アルファイン、HBA(北海道)、エスアイエナジー、エプソン販売、環境科学研究所(愛知)、高知鏡川病院、サムソン(香川)、生和アメニティ(大阪)、ダイニチ工業(新潟)、東京システムリサーチ(TSR)、日特建設、日本観光旅行センター、ひまわり乳業、不二貿易、マリンワーク・ジャパン、ヤマウチ(大阪)、北海道公立学校教員、岡山県公立学校教員

▶大学院進学先 高知大学大学院、横浜国立大学大学院

情報科学コース

エアー(大阪)、NTTデータ四国、エルテック(兵庫)、高知電子計算センター、サイボウズ、四国情報管理センター、篠原化学薬品、ソフトウェア興業、大玉製紙、デンソーテクノ(愛知)、中組、日本観光旅行センター、日本プログラムシステム、母島海洋環境開発(東京)、パロマ工業、日立システムズ、フォーラムエンジニアリングス、富士通鹿児島インフォネット、古河A5(滋賀)、マツダ(広島)、松本コンサルtant(徳島)、三菱電機、三菱電機コントロールソフトウェア、三菱電機マイコン機器ソフトウェア、宮崎銀行、高知県庁、大分県庁

▶大学院進学先 高知大学大学院

海洋生命・分子工学コース

アソボラボ(大阪)、イートアンド、伊予銀行、ANシステムズ(愛媛)、NHK松江放送局、岡会計事務所(香川)、香川証券、熊本計算センター、弘祐会(愛知)、ジョイディ、ジーシーシー(群馬)、センサヤマモト(愛知)、中外製薬、中国木材(広島)、東海製粉、東海メディカルプロダクツ(愛知)、東洋技研、日本新薬、日本ベリンガーインゲルハイム、日本メナード化粧品、パロー(岐阜)、不二家、北進ゼミナール、ホンダカーズ三重東、レッドパロン、阿南市役所、宇和島市役所、奈良県警、高知県公立学校教員、長野県公立学校教員、神奈川県公立学校教員、大阪府公立学校教員、岡山県公立学校教員、山口県公立学校教員、熊本県公立学校教員

▶大学院進学先 高知大学大学院、東京芸術大学大学院、名古屋大学大学院、大阪大学大学院、神戸大学大学院、奈良先端技術大学大学院、横浜市立大学大学院

災害科学コース

アイ・ケイ・ケイ、赤澤屋(岡山)、いけうち(大阪)、エーザイ、エスイー、大塚製薬工場、花王カスタマーマーケティング、熊本ファミリー銀行、構営技術コンサルタント(高知)、ザグザグ、三雄化工、JR九州、JR西日本、四国銀行、四国財務局、名古屋製酪、日能研関西、日本ヘルス工業、バスコ、ハヤシ商事(高知)、日和崎グループ、マリンワーク・ジャパン、三星ダイヤモンド工業、宮崎観光ホテル、徳島県警、高知県警、東京消防庁、熊本市消防局、陸上自衛隊、国立大学法人 長崎大学、大阪府公立学校教員、岡山県公立学校教員

▶大学院進学先 高知大学大学院、東京大学大学院、名古屋大学大学院、京都大学大学院

[一般入試 備考]

- [大学入試センター試験の利用教科・科目名]欄について(利用教科・科目の選択方法の詳細に関しては「入学者選抜に関する要項」で確認すること。)
 

利用教科・科目の中で、指定された教科・科目数を超過して受験している場合には、選択となる各教科・科目において、高得点の科目の成績を用いる。ただし、「地理歴史」、「公民」及び「理科(基礎を付していない科目)」については、本学の指定する利用科目数が1科目又は選択の結果、1科目のみの利用となった場合、2科目受験者については、第1解答科目の成績を用いることとし、第1解答科目が本学の指定する利用教科・科目でない場合は合格者とならない。(個別学力検査等を受験することもできない。)[英語]についてはリスニングを含む。「数学」の教科については『工業数理基礎』、『簿記・会計』、『情報関係基礎』を選択できる者は、高等学校もしくは中等教育学校において、これらの科目(ただし、『情報関係基礎』については、普通教科及び学校設定科目以外の『情報に関する科目』)を履修した者及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限る。
- [個別学力検査等]欄について: 出題範囲等については「入学者選抜に関する要項」で確認すること。

推薦入試

学科名等	学力検査等の区分・日程(募集人員)	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等	
		科目名等		教科等	科目名等
理学科・応用理学科	数学受験	推薦入試 I(15)	大学入試センター試験は課さない	その他	小論文、面接 [必須]
	理科受験	推薦入試 I(50)	大学入試センター試験は課さない	その他	口頭試問を含む面接 [必須]
	情報受験	推薦入試 I(10)	大学入試センター試験は課さない	その他	口頭試問を含む面接 [必須]

[推薦入試 備考] (1) 「数学受験」、「理科受験」、「情報受験」は、入試における選抜方法等の区分であり、入学後の教育コース選択を縛るものではありません。

# 医学部

Medical School

人間とその病態の中に真理を見出す

学科・コース

医学科

看護学科

スマホで  
読み込もう



医療人に大切なのは、**自学自習の姿勢**



最先端の研究に関わり、**リサーチマインドを育む**



「**おき手**」  
ことを支える。看護の本質を学ぶ



## 先輩にきく 人生に寄り添える医師になりたい

ソフトボール研究会にも所属。  
サークルと勉強の両立は  
メリハリが付き、  
仲間どうし励ましあえて  
オススメです!

多々良 友香 医学科3年(静岡県 私立静岡雙葉高校出身)

高校生の時、一日医師体験で診療所の往診に同行し、私は地域の暮らしに密着した医療に興味を持ちました。高知大学を選んだのは、数ある大学の中でここが一番、地域医療に力を入れていると感じたからです。

1年生から「家庭医道場」のプログラムに参加。これは学生が過疎地に入って地域医療を体験する高知大学独自の取組で、毎年、様々な学年の医学科・看護学科の学生が集まります。3年生の今年は初めて実行委員として参加し、梶原町という山あいの町で「看取り」をテーマに、住民の方の体験談を聞かせていただいたり、学生グループで討論を行ったりしました。また、終末期の患者と家族と医師を想定したロールプレイを行い、よい医師とはどういふものかをみんなで考え合ったりもしました。家庭医道場を通じて地域を知り、住民の方々の思いに触れ、また地域医療に関わる地元の医師や大学の先生たちの情熱にガツンとやられ(笑)、本当に素晴らしい学びを体験させていただいていると思います。将来は、患者さんの人生に寄り添えるような医師になることが夢。そのために、地域医療研究会 <sup>アームズ</sup> ARMSというサークル活動や地域医療の学会にも参加して、自分の視野を広げています。これまで私を受入れ学ばせてくださった地域の皆さんに恩返しできるよう、もっともっと自分を高めていきたいと思っています。



ロールプレイでは、患者役に



家庭医道場で地域の方と交流



## 教員にきく

## 人間性豊かな真の医療人を育てる

杉浦 哲朗 医学部長

医療人の使命は、患者さんの病状だけでなくその方の背景をも理解して病める者を治し、ご自宅に帰っていただく、社会復帰していただくことです。いい医療人になるためには、知識や技術だけでなく思いやりやコミュニケーション力といった人間としての総合力が必要不可欠です。

医療の先進化・高度化が進み、医師、看護師、薬剤師、技師など様々な専門職を横断的につなぐチーム医療が重要になる一方で、高齢化社会の到来により在宅医療や予防医療のニーズも高まっています。本学部でも、課題解決を目指すグループ学習法PBL(課題基盤型)・TBL(チーム基盤型)や、先端研究に携わるコースの導入、早期の現場研修や実習時間の拡大などのカリキュラムの改革を行い、社会が求める真の医療人の育成を目指しています。人を助けたい、人の役に立ちたいという強い意志と情熱を持つ学生の皆さん、ぜひ本学部の扉を叩いてください。

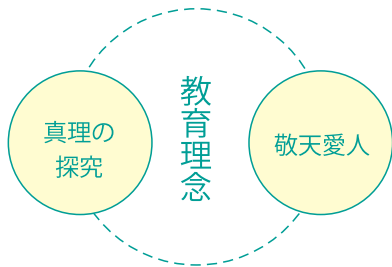


### カリキュラム例

<p><b>医学科</b> 6年間を通じて地域医療を学ぶカリキュラムや、PBL/先端医療学の選択コース制を導入しています。</p>	<p><b>看護学科</b> 4年間を通しての看護専門職としての基礎能力の育成、学生のニーズにあわせた専門科目(保健師、養護教諭、高校看護教諭、実践能力の高い看護師)の選択制を導入しています。</p>
<p>6年一貫の医学教育を目指して高知大学医学部独自のKMSコアカリキュラムを実施している。 カリキュラムの構成と学年配置は、共通教育科目(1年)、専門科目I[コア準備](1~4年)、専門科目II[コア科目基礎系](2~4年)、専門科目III[コア科目臨床系](3~4年)、専門科目IV[臨床実習・統合医学](5・6年)。 さらに専門科目II~IVの授業科目はコアカリキュラムの区分に従い、A 基本事項、B 医学・医療と社会、C 医学一般、D 人体各器官の正常構造と機能、病態、診断、治療、E 全身におよぶ生理的变化、病態、診断、治療、F 診療の基本、G 臨床実習に分類される。</p>	<p>カリキュラムは共通教育科目と専門科目で構成される。共通教育科目は、大学生として身につけるべき基礎知識・技術を学ぶ初年次科目、各学生がある程度自由に選択できる教養科目と専門の基礎知識を学ぶ基礎科目からなる。専門科目は専門共通科目として基礎看護学、臨床看護学および地域看護学から構成され、1年生から履修を開始する。さらに保健師を目指す人は保健師養成科目を3年生から履修し、看護師の実践力育成を目指す人は看護師実践力育成科目を4年生から履修する。なお、養護教諭や高校看護教諭を目指す人はそれに必要な科目を1年生から履修する。</p>

# 医学科 Medical Course

## 高度な知識・技能を身につけた「心を診る医師」を養成する



### 教育理念

医学科は、前身である高知医科大学建学の精神「敬天愛人」と「真理の探究」に則り、人間性豊かで、医の倫理と高度な知識・技能を身につけ、地域と時代の要請に柔軟に応じうる医師を養成します。

### 求める学生像

医師には、患者さんとの良好な関係を築く技能、多岐にわたる医療スタッフとの円滑なコミュニケーション能力、情報収集能力、総合判断力などが強く求められます。

### ▶ 1年生から6年生までの概要

1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	医師国家試験	
教養科目							
	基礎医学・実習 解剖／病理／生理／薬理／微生物／公衆衛生／生化学／免疫／他				advanced OSCE (態度・技能)		
早期医療体験実習 EME		臨床医学 内科学総論／外科学総論／老年病学／呼吸器病学／消化器病学 内分泌・代謝学／脳神経外科／循環器病学／血液病学／他		診療参加型臨床実習 (クリニカル・クラークシップ)			
				共用試験※ CBT(知識)／OSCE(態度・技能)			

※学生の能力と適性についての一定水準を確保するために実施する全国共通の標準評価試験。この試験に合格後、臨床実習へ進む。



## 学びの特色

地域医療を理解するために、全学年において様々な科目が用意されています(EME初期臨床医学体験、大学基礎論、基礎社会医学、診療施設体験学習、地域医療学、保健医療制度、社会医学演習、臨床実習など)。また、2~4年生の間はPBLによるグループ学習が先端医療学推進センターでの研究のいずれかを選択します。

地域医療学の充実	先端医療学研究	PBL学習の導入
6年間を通じて実際の地域医療に触れる様々なカリキュラムが用意されています。ヒューマニズム溢れる豊かな医療人を育てます。	先端医療学推進センターを設立。研究・教育・診療を有機的に連動させたりサーチャーマインドを持った研究者の育成に力を入れています。	自ら学び、問題を解決する能力を身につけるためにPBL(Problem Based Learning)を導入。少人数グループで議論し能力を研ぎます。

## +α 家庭医道場

医学部

看護学科

地域の中で、患者さんのことを家族や生活も含めてよく知った上でその人の健康問題に幅広く対応し、長期的に支える医師が家庭医です。その心構えと必要な能力を学ぶため、毎年春と秋の二回、家庭医道場が開かれています。

### 地域医療を現場で学ぶ、熱い合宿!

道場では中山間地域や離島に出向き、地域の人々や地域医療を実践している医師と交流します。家庭医に必要な技術、コミュニケーション力を養うほか、「人を診る」という医療の本質にも触られます。医学科・看護学科とも1年生から参加できるので、ぜひ挑戦してください!



## 医療者のあり方を考える機会に

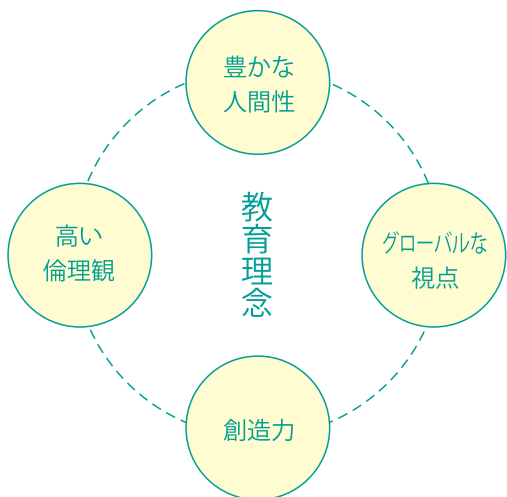
高崎 元樹 医学科5年(高知県私立土佐高校出身)



馬路村と梶原町で年二回行われる一泊二日の家庭医道場に参加し、フィールドワークやディスカッションを通して、大学での講義とは違った視点から医療について考えることができました。ふだん接することの少ない中山間地域の方の声や患者さんのニーズ、医療に対する思いなどをお聞きし話し合うことは、地域医療を目指す学生はもちろん、他の多くの学生にとっても、医療者としての将来を考えるキッカケになると思います。また、学生同士が学年の壁を越えてそれぞれの考えを話し合うことができることも家庭医道場の特長といえると思います。今後もこういった地域とつながった活動を続け、医療者としてのあり方を考えていきたいと思っています。



## 次代のニーズに応え、地域保健医療に貢献する看護専門職



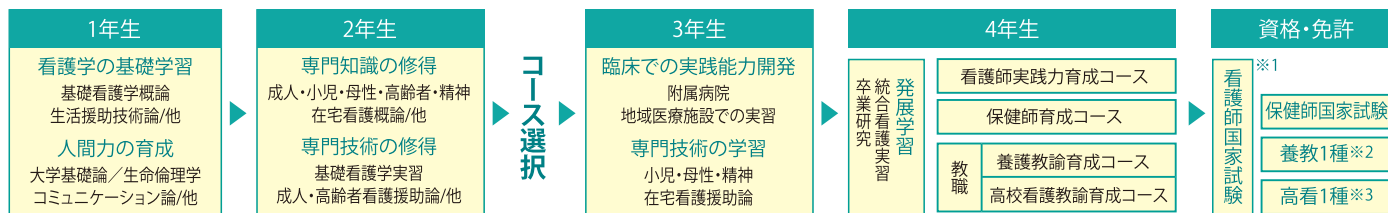
### 教育理念

看護学科は豊かな人間性と高い倫理観に裏付けられた感性を持ち、看護をグローバルな視点からとらえ、人々の健康生活上のために援助し、看護学の発展に貢献しうる創造力を有する人材を育成します。

### 求める学生像

看護学科では、人間に興味があり、命と生活を支援する「ライフサポーター」を目指す、「人間力」溢れる人材を求めます。看護学科が考える「人間力」は、次のような能力です。

1. 豊かな倫理的感性を持つ
2. 生命の尊厳を理解し、人権を尊重する
3. 問題解決に向かって積極的に取り組む
4. チームワーク達成に尽力できる
5. 基本的生活習慣を身につけ、自己管理できる



※1：看護師国家試験受験資格は、全員が取得できます。

※2・3：4年生では、保健師養成科目、看護師実践能力養成科目、教職科目のどれかを選択。ただし、保健師養成科目・教職科目を履修するためには、3年生までに関連科目の修得が必要。

### 学びの特色

1年生から、附属病院の外来や病棟で患者さんに接する授業や看護の基礎技術を学ぶなど専門性のある授業を取り入れています。グループで協力して課題に取り組む授業、社会で必要な教養を身につける授業など、人間力を高める授業も充実しています。実習では、附属病院や地域の施設などで、生きた実技を学べます。卒業研究では、探究心や自分で学ぶ姿勢を養います。知識、技術は日々進歩します。自ら未知の課題に取り組むことにより、卒業後も継続して学び続ける力がつきます。4年生では自分の将来に向けて、より専門性を高めるコースが準備されています。

施設との連携体制	専門育成コース
高知大学は県内広域の多数の施設と連携体制にあります。地域看護学実習では、その地域に宿泊することで、人間的成長も望めます。	保健師育成コース、教諭(高校看護または養護)育成コース、看護師実践力育成コースの中から、目的に応じたコースを選択できます。

## +α 台湾留学

医学部  
看護学科

看護学科では、国立台湾大学看護学科と国際交流協定を結び、相互に交換留学生を派遣しています。本学からの留学生は、台湾の学生と共に講義や実習を受けたり、施設見学や学生間交流を持つことにより台湾の看護学教育や文化に触れることができます。

### 海外留学で国際看護を考える

看護基礎教育カリキュラムの中でも「国際看護」がクローズアップされ、これからの看護職にとって国際的視点は欠かせないものとなりました。「国際看護」はそれぞれの文化や考え方、生活習慣の違いを理解することから始まります。この短期留学での体験は、国際的視点から看護を考える第一歩に役立つはず。



## 学びの多い台湾留学

濱田 麗 看護学科3年(高知県立高知小津高校出身)



2013年9月、看護学科の学生5名が約5日間国立台湾大学の方々にお世話になりました。台湾では主に台湾大学附属病院内の見学や、大学の学生と一緒に講義を受講します。日を追うごとに台湾と日本の医療の違いが明確になり、看護について生き生きと積極的に学ぶ学生に感銘を受けました。勉強以外にも学生が台湾の観光地を案内してくれるので、台湾を存分に堪能することができます。留学中、言語は英語と中国語のみと戸惑うこともありましたが、台湾の皆さんがとても親切にしてくださいました。台湾留学に関わった全ての方に感謝するとともに、今後は国際的な視野をもって、勉学に励んでいきたいと思っています。



**卒業後の進路** 学部卒者の過去3年間の主な就職先・進学先です。

**医学科**

卒業して医師国家試験に合格したのち2年以上の臨床研修修了が義務づけられています。大学病院等の臨床研修プログラムに従い外部の病院も含め各診療科をまわって研修を行います(初期研修)。初期研修修了後はより専門性の高い修練を行いながら医師としての能力を身につけていきます。初期研修から給料が支給されます。

**▶卒業者が研修を行っている高知県内の病院**

高知大学医学部附属病院、国立病院機構高知病院、高知赤十字病院、高知医療センター、高知県立幡多けんみん病院、近森病院、細木病院、高知生協病院

**▶卒業者が初期研修を行っている高知県外の大学病院(大学名のみ)**

自治医科大学、国際医療福祉大学、日本医科大学、東京医科歯科大学、東京慈恵会医科大学、東京女子医科大学、順天堂大学、横浜市立大学、新潟大学、名古屋市立大学、金沢大学、滋賀医科大学、大阪大学、大阪医科大学、大阪市立大学、関西医科大学、兵庫医科大学、神戸大学、奈良県立医科大学、和歌山県立医科大学、鳥取大学、岡山大学、広島大学、徳島大学、愛媛大学、九州大学、福岡大学、宮崎大学、鹿児島大学、琉球大学

**▶卒業者が初期研修を行っている高知県外のその他の病院**

国立病院機構北海道医療センター、十和田市立中央病院、いわき市立総合警域共立病院、JA新潟厚生連上越総合病院、埼玉県済生会川口総合病院、聖路加国際病院、東京臨海病院、市立敦賀病院、長野赤十字病院、岐阜市民病院、岐阜県総合医療センター、静岡県立総合病院、静岡赤十字病院、名古屋市立東部医療センター、公立陶生病院(愛知)、一宮市立市民病院、半田市立半田病院、伊勢赤十字病院、京都第一赤十字病院、大阪厚生年金病院、国立病院機構大阪医療センター、NTT西日本大阪病院、耳原総合病院(大阪)、兵庫県立古川医療センター、兵庫県立西宮病院、神戸市立医療センター中央市民病院、橋本市市民病院(和歌山)、鳥取市立病院、国立病院機構岡山医療センター、広島共立病院、広島市民病院、津山中央病院、国立病院機構福山医療センター、香川県立中央病院、福岡徳洲会病院、地方独立行政法人那覇市立病院、沖縄県立中部病院

**看護学科**

**■看護師**

**▶高知県内の病院**

高知大学医学部附属病院、国立病院機構高知病院、高知赤十字病院、高知医療センター、近森病院、土佐市立土佐市民病院

**▶高知県外の大学病院(大学名のみ)**

北海道大学、自治医科大学、東京大学、東京医科大学、順天堂大学、日本大学、聖マリアンナ医科大学、東海大学、京都大学、大阪大学、大阪市立大学、大阪医科大学、近畿大学、神戸大学、兵庫医科大学、和歌山県立医科大学、鳥取大学、岡山大学、広島大学、香川大学、徳島大学、愛媛大学、福岡大学、産業医科大学、宮崎大学

**▶高知県外のその他の病院**

NTT東日本札幌病院、北見赤十字病院、国立国際医療センター、東京都済生会中央病院、東京湾岸リハビリテーション病院、聖路加国際病院(東京)、成仁病院(東京)、新生病院(長野)、大阪市立総合医療センター、大阪府立病院機構、宝塚リハビリテーション病院、明石市立市民病院、社会保険神戸中央病院、神戸市民医療センター、西神戸医療センター、関西労災病院(兵庫)、神鋼病院(兵庫)、三菱神戸病院、天理よろず相談所病院、島根県立中央病院、福山市民病院、JA尾道総合病院、公立学校共済組合中国中央病院、国立病院機構香川小児病院、国立病院機構四国がんセンター、社会保険小倉記念病院(福岡)、九州厚生年金病院、済生会福岡第二病院、沖縄中部徳洲会病院

**■保健師**

高知県、南国市、安芸市、室戸市、四万十市、本山町(高知)、大豊町(高知)、仁淀川町(高知)、梶原町(高知)、大月町(高知)、三原村(高知)、馬路村(高知)、大川村(高知)、福山市、徳島県、徳島市、淡路市、福岡市、大分県、浦添市、医療法人社団成仁病院(東京都)

**■養護教諭(非常勤、臨時講師を含む)** 高知県、京都府、広島県、愛媛県、福岡県、沖縄県

**■救命救急士** 岡山市消防

**■大学院進学先** 高知大学大学院看護学専攻、高知県立大学大学院、神戸医療福祉専門学校、徳島大学助産専攻科

※医学部医学科入学者の方を対象に「高知県医師養成奨学金貸付制度」があります。

なお一般入試「地域枠」及び推薦入試Ⅱ「四国・瀬戸内地域枠」での入学者は、本制度の貸与申請を行うことを原則としています。詳細については、学生募集要項及び高知県HP([http://www.pref.kochi.lg.jp/uploaded/life/42240\\_207685\\_misc.pdf](http://www.pref.kochi.lg.jp/uploaded/life/42240_207685_misc.pdf))をご覧ください。

**[一般入試 備考]**

- (1) [大学入試センター試験の利用教科・科目名]欄について(利用教科・科目の選択方法の詳細に関しては「入学者選抜に関する要項」で確認すること。) 利用教科・科目の中で、指定された教科・科目数を超えて受験している場合には、選択となる各教科・科目において、高得点の科目の成績を用いる。ただし、「地理歴史」、「公民」及び「理科(基礎を付していない科目)」については、本学の指定する利用科目数が1科目又は選択の結果、1科目のみの利用となった場合、2科目受験者については、第1解答科目の成績を用いることとし、第1解答科目が本学の指定する利用教科・科目でない場合は合格者とならない。(個別学力検査等を受験することもできない。)[英語]についてはリスニングを含む。「数学」の教科については『工業数理基礎』、『簿記・会計』、『情報関係基礎』を選択できる者は、高等学校もしくは中等教育学校において、これらの科目(ただし、『情報関係基礎』については、普通教科及び学校設定科目以外の『情報に関する科目』)を履修した者及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限る。
- (2) [個別学力検査等]欄について: 出題範囲等については「入学者選抜に関する要項」で確認すること。

**推薦入試** (大学入試センター試験の利用教科・科目名)欄については、一般入試「備考」を参照のこと。※医学部推薦入試Ⅱは「四国・瀬戸内地域枠(四国4県と兵庫県、岡山県、広島県、山口県の高専出身者)」として募集する。

学科名等	区分 学力 検査等 の (募集人員)	大学入試センター試験の利用教科・科目名																	個別学力検査等															
		国語		地理歴史・公民					数学					理科					外国語		教科等	科目名等 〔 〕は受験の選択・必須や 必要科目数など												
教科・科目数	科目数	世A	世B	日A	日B	地理A	地理B	倫社	理理	政経	倫政経	科目数	数I	数II	工業数理	簿会	情報	科目数	物理基礎	化学基礎			生物基礎	地学基礎	物理	化学	生物	科目数	英語	独語	仏語	中国語	韓国語	科目数
医学科	推薦入試Ⅱ(15)	5教科7科目	●	1	○	○	○					○	1	●	●				2					○	○	○	2	●				1	その他	面接〔必須〕
看護学科	推薦入試Ⅰ(20)		大学入試センター試験は課さない																	その他	総合問題、面接〔必須〕													

# 農学部

Faculty of Agriculture

## 人と自然が共存していく道を探求する

### 学科・コース

#### 農学科

- 暖地農学コース
- 海洋生物生産学コース
- 食料科学コース
- 生命化学コース
- 自然環境学コース
- 流域環境工学コース
- 森林科学コース
- 国際支援学コース

スマホで  
読み込もう



最先端の  
研究

現場からラボまで幅広く...農学は最先端の



豊かな太平洋が目前に広がるキャンパス



県下全域が学びのフィールド

▶ 農学部ホームページ <http://www.agr.cc.kochi-u.ac.jp/>



## 先輩にきく

# 昆虫採集が人生のフィールドワーク!

島崎 祐樹 農学科4年(高知県立高知追手前高校出身)

昆虫好きの父の影響で、僕は小さい時から虫を追いかけ回していました。おかげで理科や生物が大好き。大学ではフィールドに出て実際に生き物と触れ合いたいと思い農学部を選びました。自然環境学コースに進んだのは、昆虫を介して水辺の環境保全や生物多様性に興味を持ったから。この4年間、授業や実習だけでなく、研究室の先生や仲間たちと毎週のように昆虫採集に出かけるなど、キャンパスとフィールドとを往復しながら学ぶことができました。



トンボは水質指標となる生物(写真上はハッチョウトンボ、下はチョウトンボ)

僕が一番好きな昆虫はトンボです。卒業論文は、「高知県東部のトンボ相」をテーマに、北川村にある「モネの庭」で調査をさせていただきました。県西部の四万十流域はトンボの宝庫として全国的にも有名ですが、モネの庭でも今年1年で40種類のトンボを確認しました。また、絶滅危惧IA類に指定されているハッチョウトンボも確認されるなど、今回の調査から県東部にも豊かな自然が残っていることがわかりました。高校までと違い、大学では様々な場面で積極性、自主性が求められます。わからないことがあれば自分から先生に質問しに行くとか、授業以外でもいろんな挑戦をするといった学びの姿勢が大切になります。変わらないのは、好きなことに夢中になる楽しさ。僕の場合は、昆虫採集がそれです(笑)。卒業後は大学院に進学が決まっていますが、これからも変わらず虫取り網を持って、いろんなフィールドに出ていきたいと思っています!

授業では、2年生でやった海を渡る蝶・アサギマダラのマーキング実習がとっても楽しく心に残っています!



## 教員にきく

# 自然豊かな高知は、研究材料の宝庫!

笹原 克夫 農学科 自然環境学コース 教授

高知大学農学部の特長は、一にも二にもその豊かなフィールドにあります。山、川、海、の美しい自然、温暖多雨な気候のおかげで高知の農林水産業は大変盛んであり、産業を担う企業や地域、それを司る行政、大学とのつながりも密接です。農学部ではそういった多彩なフィールド、連携の機会を教育の材料として学生に提供し、“自ら主体的に考える学び”を実践しています。

食料生産や農業基盤の整備、環境保全といった農学の使命は、今や過疎・高齢化、グローバル化など現代社会の課題とも不可分。その点で高知は過疎・高齢化を先取りする課題先進県であり、黒潮でつながる東南アジアの国々と同じ環境特性を持つフロントランナーとなりえます。可能性に満ちたフィールドで一緒に農学を学びませんか?



### カリキュラム例

#### 農学科

1年次は、一般的な教養科目のほか、農学部全コースの教員が総動員で担当する山・川・農地・海での現場体験型授業「フィールドサイエンス実習」で自分の方向性を探ります。2年次以降はコースに所属し、より専門的に学びます。

#### ■暖地農学コース

栽培学、植物生理学、農業気象学、農場実習Ⅰ・Ⅱ、食用作物学、植物育種学、家畜管理学、暖地園芸学概論、蔬菜園芸学、園芸管理学、花卉園芸学、果樹園芸学、熱帯園芸学、農業経営学、食品流通論、施設生産学、植物・環境計測学、作物学実験、植物育種学実験、蔬菜花卉園芸学実験、果樹園芸学実験、農業経営学演習、施設生産学実験

#### ■海洋生物生産学コース

水族遺伝・育種学、魚類生態学、海洋基礎生態学、水族環境学、水質学、魚病学、魚類防疫学、魚類栄養飼料学、魚類生理学、水産物利用学、水産物品質管理学など

#### ■食料科学コース

無機化学、土壌環境科学、生物化学、食品製造学、食品化学、食品衛生学、栄養化学、食品分析学などの科目を受講します。また、食料科学実験、生命化学実験を通じて、本コースで学ぶための実験基礎を修得します。4年生の卒業論文では、土壌環境学、植物栄養学、生物資源利用学、応用生物化学、生物工学、応用微生物学などの分野の研究に取り組みます。

#### ■生命化学コース

植物生育環境学、応用微生物学、生理活性物質化学、生物有機化学、動物生理学、動物生産学、繁殖学、植物感染病学、細菌学などの科目を受講します。また、生命化学実験、食料科学実験を通じて、化学実験、生物学実験の基礎を修得します。4年生の卒業論文では、植物生育環境学、生理活性物質化学、応用微生物学、植物工学、動物生産工学などの分野の研究に取り組みます。

#### ■自然環境学コース

昆虫学概論、生物環境システム学、山地環境学、自然エネルギー利用学、生物多様性管理学、農業気象学、海洋基礎生態学、人間・環境相互影響論、水科学、魚類生態学、生物多様性管理学、動物生態学などの講義、実験・実習として自然環境学実習Ⅰ～Ⅳ、自然環境学実験Ⅰ・Ⅱ、昆虫学実験があります。

#### ■流域環境工学コース

水資源学、流域計画学、施設工学、景観デザイン、流域環境保全学、農地環境工学、環境評価学、環境管理計画学、科学技術の倫理、流域環境学、環境情報学、土壌環境物理学、環境水質学、フィールドでの実験・実習、卒業論文など

#### ■森林科学コース

森林育成学、森林生産機械学、森林測定学、森林経済学、木材物理学、木質成分化学、森林科学実習、森林統計学、測量学、測量学実習、森林環境政策学、山地測量設計実習、森林生産技術実習、森林科学専門実習、樹病学、樹病学実験、バイオマスエネルギー利用学、木質資源材料学など

#### ■国際支援学コース

熱帯農業論、熱帯林業論、熱帯水産業論、熱帯環境論、海外フィールドサイエンス実習、海外課題研究、実用英会話、実用英作文、沿岸環境学、栽培学、国際農林水産業開発協力論、国際農林水産物市場論、樹木学実習、森林生産技術実習、養蜂実習、農場実習など

# 農学科 Department of Agriculture

## 「循環」「持続」「調和」をキーワードに、未来への課題を解決する

### 教育理念

二十一世紀社会における農学の使命は、安全な食料の確保、環境の保全、生物資源の有効利用などを通して、地域社会の健全な振興に貢献することと考えます。高知大学農学部は、農学の使命を理解し、自由闊達な創造力と行動力を持って実践しうる人材を育成したいと願っています。

### 求める人材像

農学の使命に対する強い志を、進路設計の中にしっかりと位置づけ、高知の豊かな自然と伸びやかな風土をフィールドにして、自ら積極的に学ぶ学生を求めます。

### コース紹介

#### ▶ 暖地農学コース

##### 土佐は園芸王国 米、花、果物もよう穫れるゼヨ!!

資源の少ない国といわれる日本。でもここ高知には360度広がる大きな空があり、豊富な光、暖かい気候があります。これら西南暖地の貴重な資源を最大限に活用し、循環型農業を実現するため、様々な農産物の生産管理や高度な環境調節、遺伝的改良など最先端の研究が行われています。



学習目標	目指す人材像
作物、野菜、果樹、花卉の生理、生態、栽培・管理、生産、遺伝的改良を学習する。西南暖地の環境条件を理解し、それに適応した持続可能な農業生産体系を学習する。	西南暖地における農業生産の発展に貢献できる技術者、実践者、研究者。

HP <http://www.cc.kochi-u.ac.jp/~yasutake/subtropic.html>

#### ▶ 海洋生物生産学コース

##### 海の恵み、生命の息吹。 ここが黒潮の最前線。

黒潮に洗われる土佐の海。荒々しくも澄みきった海流と山野の自然が出会うこの豊かな水域で、健康で安全な魚介類をつくり育てます。食料問題を解決する上で海洋生物は大きな可能性を持つ資源。そこで、生態、環境、病理、栄養など様々な角度から海の保全と生物資源の持続的生産・利用を研究します。



学習目標	目指す人材像
海洋生物資源の重要性および持続的かつ循環型の海洋生物資源の生産や利用に関して理解し、これに関わる技術を修得する。	海洋生物資源の生産と有効な利用に貢献できる技術者・研究者。

HP <http://www.cc.kochi-u.ac.jp/~yharuo/aquaculture/>

### 学びの特色

**2年生でコース選択! 3、4年生で他コースの研究室配属も可能!**  
興味や適性を引き出しながら、柔軟に専門を選べます。

農学分野の特徴は様々な専門領域が複雑に絡み合っていること。そこで本学では入学前から専門を決め込むのではなく、実際に学びながら徐々に専門を絞っていくシステムを採用しています。1年生で幅広い知識を学んだ後、2年進級時にコースを選択して専門的知識を深めていきますが、3年進級時には他コースへの変更が可能なほか、卒業研究に向けての研究室配属では、選択コース内だけでなく他コースの研究室配属も比較的容易に行えるため、興味や適性、将来の夢を考えながら希望するキャリアを築いていけます。

#### ▶ 食料科学コース

##### 身近な食の安心・安全から 宇宙食への応用まで。

安心・安全な食の実現と、生活の質の向上につながる食品の開発を目指して——。既存の食料資源の有効利用・利用拡大はもちろん、これまで捨てられていた資源や新しい資源に対する利用技術の確立など、従来とは違う視点で世界に貢献できる研究を行います。特許申請や企業との共同研究も積極的に行っています。



学習目標	目指す人材像
食品化学、食品工学、食品衛生化学に関する知識を習得し、安全・安心な食料生産の理念と健康増進作用などの付加価値の高い食品開発に関する技術を身につける。	安全・安心な食料提供に幅広く関わることのできる技術者・研究者。

HP <http://www.kochi-u.ac.jp/seimei/>

#### ▶ 生命化学コース

##### 昆虫や植物と人類の 「共通言語＝化学物質」を解明する。

私たちの生きるこの世界は、つきつめればすべて元素記号の組み合わせ＝化学物質で成り立っています。生物もその例外ではなく、昆虫は化学物質を使って仲間を認識し、植物は化学物質で敵を牽制します。それら動植物・微生物の生命現象を個体レベルから分子レベルまで解析し、実用化への道を探る先端研究を行います。



学習目標	目指す人材像
生命の重要性と、それが人間生活・産業に与えている役割・影響を理解する。生命現象を多面的に理解し、それらを社会に応用的に利用するための知識と技術を身につける。	植物、動物、微生物の生命現象を解析し、得られた成果の産業的利用に貢献することのできる技術者・研究者。

HP <http://www.kochi-u.ac.jp/seimei/>

所属コース内の研究室だけでなく、  
他コースの研究室にも配属可能です。

●は当該コースの全ての研究室に配属可 ○は一部の研究室に配属可(履修科目によって制限有)  
※は総合研究センターの略称で海洋部門、生命・機能物質部門、防災部門からなります。▶70ページ参照

		配属可能な研究室の所属コースなど(3~4年次)								
		暖地	海洋	食料	生命	自然	流域	森林	国際	総研セ※
所属コース (推薦入学者は入学時に決定)	暖地農学	●				○	○	○	○	
	海洋生物生産学		●			○		○	○	○
	食料科学			●	●	○			○	○
	生命化学			●	●	○			○	○
	自然環境学	○	○			●	○	○		○
	流域環境工学					○	●		○	○
	森林科学					○	○	●	○	
	国際支援学	○	○			○	○	○	●	○

### ▶ 自然環境学コース

生態系に境界はない！  
生命と自然の未来地図を描く。

様々な問題が複雑に絡み合う私たちの地球。これからは、深い専門知識と同時に生態系を地球規模からミクロレベルまでの様々なスケールで総合的に理解する人材が求められます。自然環境と人間の共生について考え、豊かな生態系を次世代に引き継ぐことのできる人材の育成を目指します。



学習目標	目指す人材像
地球規模からミクロレベルまでの様々なスケールで、自然環境を深く理解する。生態系・気圏・地圏・水圏より構成される自然環境と人間との共生に関する知識・技術を修得する。	自然の諸法則を理解し、自然環境を次世代に引き継ぐことのできる技術者・研究者。

HP <http://www.cc.kochi-u.ac.jp/~ktr/>

### ▶ 森林科学コース

都市を支え、海を恵む森林。  
その不思議と可能性にせまる。

森林は、地球全体の二酸化炭素の循環を担い、海に養分を供給しています。このような森林の公益的機能と生態系を理解し、健全な森林の育成・管理、森林資源の高度利用を目指します。亜熱帯から亜寒帯までの多様な森林植生を抱える恵まれた高知県のフィールドで、現場主義に基づいた実践的な教育研究を行います。



学習目標	目指す人材像
持続的な循環型社会システム構築のための諸活動の意義を理解する。森林に関する専門知識と地球規模から分子規模までの幅広い視野を身につける。	森林の育成・管理・資源の循環利用などに関わる技術者・実践者・研究者。

HP <http://www.cc.kochi-u.ac.jp/~ichiura/index.html>

### ▶ 流域環境工学コース

産業・人・自然にとっての  
「真の豊かさ」を評価する。

例えば田んぼ——稲作という一次産業の場でありながら、雨などで流れ込んだ濁水をきれいにして排水する自然浄化機能を持っています。このような流域環境の持つ有機的つながりは、「真の豊かさとは何か」を私たちに教えてくれます。河川を軸に森林・農地・市街地・沿岸部をひとつの「流域」として捉え、その保全・修復の理念と技術を学びます。



学習目標	目指す人材像
自然科学、情報、農業土木学、環境工学に関する知識を習得し、流域の環境保全・環境修復の理念と技術を身につける。流域環境の望ましい姿を模索・創造するための視野と思考力を養う。	地域環境の改善、保全などに関わる技術者。※JABEE認定教育プログラム(農業工学分野)を導入。

HP <http://www.ee.kochi-u.ac.jp/welcome/>

### ▶ 国際支援学コース

大陸から赤道直下まで、  
先端科学と情熱を片手に。

世界人口が爆発的増加への道をたどり砂漠化などの環境破壊が進行する地球。「青い星地球」の未来を考える時、アジアの熱帯・亜熱帯域への支援は最も急がれる課題のひとつです。日本の暖地、そして農学の最前線・高知から、未来への責任を果たしたいと考えます。



学習目標	目指す人材像
国際的な現場での、環境保全を意識した持続的農林水産業に関わる技術開発や技術移転に必要な技術を身につける。英語によるコミュニケーション、プレゼンテーション、論文作成技術を修得する。	熱帯・亜熱帯の食料、人口、環境、資源の諸問題を解決できる能力を有する技術者。

HP <http://www.cc.kochi-u.ac.jp/~msykmto/>

# Voice! 内定者の声



**松浦 悟** (香川県立坂出工業高校出身)

地方公務員 採用(香川県庁 農業土木職) 修士(農学専攻)2年

農業工学の道に進もうと思ったのは、受験の一年前、住んでいた町が台風の直撃で床下浸水したことがきっかけです。将来は自然災害対策に関わりたいと考え、流域環境工学コースのある高知大学に進学しました。学部生時代の研究テーマは、モルタルやコンクリートです。モルタルには通常、水洗いした砂を使用しますが、それだと手間やコストが大きいので、畑の土などで代替した場合の強度や耐久性について実験・検証しました。大学院に入ってからは地元香川県に貢献したいという思いが

どんどん強くなり、新たに小豆島に昔からある花崗岩の碎石の屑、「ズリ」に注目。「ズリ」を同様にモルタルの骨材として使用できないか、小豆島の企業との共同研究を行いました。香川の役に立ちたいという思いが研究というかたちになって、とてもやりがいを感じましたね。卒論研究以外にも、研究室が自治体から委託されている水利構造物の補修に関する調査などに参加。そういう経験の中で公務員への志も高まってきました。4月からは、社会人生活がスタートします。現在、香川県で進められているため池の耐震化や水路の設計・補修などの仕事に、高知大学で学んだ技術を活かしたいと思っています。

大切なのは、  
何でも柔軟に吸収すること。  
きっと大きく成長できます!



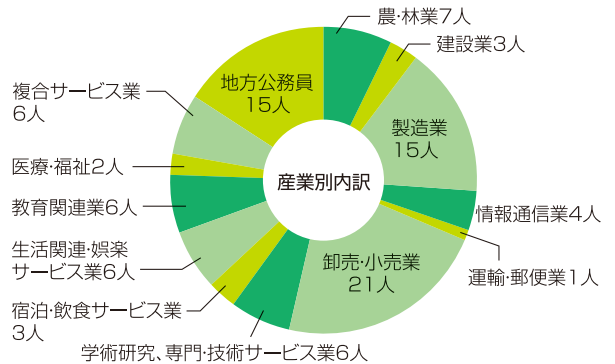
小豆島産の花崗岩の「ズリ」を使用したコンクリートの実験

## 取得できる資格等

### 農学科

樹木医補 / 森林情報士2級 / 測量士補 / 測量士 [受験資格] / JABEE認定修習技術者(技術士補相当) / 中学校教諭一種免許状(理科) / 高等学校教諭一種免許状(理科) / 高等学校教諭一種免許状(農業) / 高等学校教諭一種免許状(水産) / 食品衛生監視員 / 食品衛生管理者 / 学芸員 / 土木施工管理技士 [受験資格] / 中級バイオ技術認定 [受験資格] / 上級バイオ技術認定 [受験資格] / 家畜人工受精師 [受験資格] / 林業改良普及員 [受験資格] / 水産業改良普及員 [受験資格] / 甲種危険物取扱者 [受験資格]

## 就職データ 2013年3月卒業生



## +α 価値を創る仕事。イノベーションの仕掛け人!

### 農学部

### 農学科

**石塚 悟史** 高知大学地域連携推進センター 副センター長

Profile 高知大学農学部卒、愛媛大学連合農学研究科修了。2001年、日本で最も若い科学技術振興機構(JST)の科学技術コーディネーターに就任し、数多くの産業振興プロジェクトに関わる。2005年より高知大学へ。

学生時代は本当に自由奔放に過ごしました。バイト、サークル、ボランティア活動、釣り、友達との旅...いろいろなことを考え実践した経験が、現在の仕事の原点になっています。

大学で学んだ専門分野は「土」。学部生の時は高知県内の山地酪農の現場で、修士2年からはマレーシア・ボルネオ島で、土壌の動態について調査研究しました。特にマレーシアでは、植物、昆虫、気象、人類学など異分野の研究者と交流し、視野が大きく開けましたね。

科学技術コーディネーターの仕事は、企業と大学をつなぎ新しい製品や価値を生み出す、いわば産業の「クリエイター」。企業の社長や大学教授の信頼を得ることは大変でしたが、自分が動けば動くほど新しい出会いや事業のきっかけが生まれ、それが製品となって売れていきます。それは研究者とはまた違う喜びでした。大学に戻ってからは、特に水産業に注目。高知県は淡水・海水に恵まれ、水産研究施設が空港周辺に集まっているという地の利があります。そこで、水産、製薬、化学、食品などの企業と大学の研究が合わされば、水産業全体の振興につながるのでは——。そんな展望を持って、今日も東奔西走しています。

いろんなところに  
出かけて行って、いろんな人と  
直接会って  
話をする事で、  
新しいアイデアが  
生まれます!

現在は「食と健康」をテーマに、  
様々なプロジェクトに着手している。



水産研究施設を水産関連企業に紹介



異業種交流による商品企画会議



■卒業後の進路 学部卒・大学院修了者の過去3年間の主な就職先・進学先です。(企業名は五十音順です)

アース環境サービス森、アイム(愛媛)院、アヲハタ生、アジア学院院、アジア航測院、アステイス自、アベックス食、あわしま堂(愛媛)暖食、阿波製紙森、イカリ消毒自、いけうち(広島)院、イシグロ農材(愛知)院、イセキ中国生、イトマン(愛媛)生、ウィル(高知)森、ウエスコ(岡山)自、エスエスシステム食、NTTマーケティングアクト自、愛媛製紙食、エルザクライス(兵庫)暖、オイスシ(兵庫)院、扇精光(長崎)森、大分朝日放送国、オーリッド国、オカベ(愛媛)食、岡山食品株式会社食、岡山県森林組合連合会院、小倉屋柳本食、オルター生、香川県東部森林組合院、金辺商会(岡山)海、叶匠寿庵(滋賀)食、からさわ農園(三重)国、川上食品(岡山)生、絹谷産婦人科クリニック院、木本工業(高知)流、キャパトルイシイ(奈良)暖、キング醸造院、クニヒロ(広島)食、クボタ工建院、くらこん(大阪)院、グリーン航業森、久留米原種育成会院、クレスト院、建設技術研究所院、高知県山協会院、高知食糧国、神戸市立須磨海浜水族園海、幸楽苑暖海、高齢者・障害者・求職者機構食、国際水産資源研究所院、ゴトー養殖研究所(埼玉)海院、サタケ(広島)暖、JAあなん(徳島)流、JA岡山西海、JA京都にのくに自、JA熊本市暖、JA西日本くみあい飼料森、JAにしみの院、JA和歌山院、四国化工機生、四国乳業生院、四国ボーリング工業(徳島)森、シジシージャパン海、シティコム森、昌栄(徳島)生、ショクリウウ(大阪)海、新日記薬品食、新日本科学(鹿児島)院、末広(高知)食、住友金属工業株式会社(和歌山)森、生活協同組合コープこうべ暖、清月荘(愛知)国、全農グリーンリソース国、全農物流自、ソフテック海流、ダイショー生、大山どり(鳥取)海、ダイヤ製菓院、竹内園芸(徳島)自森、武田薬品工業海生、ダスキン富士せんい森、WDBエウレカ院、タマノイ酢国、だるま味噌(高知)生、チチヤス(広島)海、チャーム(群馬)院、中部衛生検査センター(静岡)食、ちゅらねしあ(沖縄)院、つるや(愛媛)国、土井農園(香川)暖、道水中谷水産(高知)院、東洋園芸食品食、徳島製粉院、富田薬品(熊本)暖、トライカンパニー国、トリドール国、ナイガイグループ暖、なかやま牧場(広島)食生、名古屋製酪食、南海プライウツ森、西日本科学技術研究所(高知)流、日亜化学工業食、ニチルク永瀬(福岡)暖、日本新薬食、日本eリモデル森、日本基礎技術流、日本セレモニ自、NOSAI兵庫暖、ノザフ(兵庫)流、萩原工業森、ハタダ生、服部興業森、パナソニックテレコム自、浜幸食、ハルティン(千葉)院、阪大微生物病研究会生自、ピタカイン製菓(大阪)自、ひまわり乳業生食、ヒワサキ(高知)自、福井県民生生活協同組合暖、富士コスモサイエンス(静岡)海、富士通関西中部ネットテック海、フジッコ食、フジパングループ暖、フジファミリーフーズ食、平成建設森、ベルグアース(愛媛)院、ポーネランド(東京)院、ポナー(福岡)自、ホリスティックファーム(愛知)国、前澤工業(埼玉)院、まちけん(徳島)自、マックスパリュ九州食、マックスパリュ西日本海、松田医薬品(高知)生、松本コンサルタント流、マナビエンテリアハーツ海、マルウ接着生、丸永(兵庫)暖、丸住製紙(愛媛)院、ミサワホーム中国森、南九州畜産興業食、源吉兆庵海、宮崎文化本舗自、宮脇書店国、明星産商(高知)食、銘建工業(岡山)森、明治製菓食、名鉄観光海、メディング自、盛田(愛知)院、モンベル(大阪)院、山口県生活協同組合連合会国、山崎技研(高知)院、山崎製パン海、山田養蜂場(岡山)生、ヤンマー農機九州カンパニー自、ヤンマー農機販売中四国カンパニー流、ゆう食品(広島)国、吉本農産院、ライフネット難波自、ランデス(岡山)流、リブドックポーレーション(愛媛)暖食、リマテック(大阪)院、リンクス(広島)国、ルナ物産(愛媛)食、ロート製薬国、ロック・フィールド(兵庫)院、和歌山県商工会連合会国、和歌山ノーキョー食品工業院、湧永製菓生、渡辺化学工業(広島)生、渡辺パイプ暖、国家公務員(畜産系技術職)院、高知県庁暖流森院、茨城県庁暖、石川県庁暖、静岡県庁暖、京都府庁院、兵庫県庁流、大阪府庁院、和歌山県庁生、大分県庁暖、長崎県庁森、大船渡市役所食、名古屋市役所食、大阪市役所暖、高砂市役所海、三好市役所院、白老町役場(北海道)院、芳賀町役場(栃木)院、高知県警署、岡山県警流森国、広島県警暖海、愛媛県警署、福岡県警自、高知市消防局海、高知県公立学校教員生、愛知県公立学校教員生、三重県公立学校教員暖、鳥取県私立学校教員生、岡山県私立学校教員暖、広島県公立学校教員海

▶大学院進学先 高知大学大学院 全コース、愛媛大学大学院連合農学研究科院、筑波大学大学院生、東京海洋大学大学院海、名古屋大学大学院生院、京都大学大学院生、奈良先端科学技術大学院大学食、岡山大学大学院暖

平成27年度  
入学者選抜の実施教科・科目等について

「●」は必須科目を表す。  
「○」は選択必須科目(その教科は必須で教科内を選択科目がある)を表し、科目数欄に選択すべき科目数を表示。  
「◇」は他教科との選択科目を表し、科目数欄に「※」を付けて教科内で選択可能となる最大科目数を表示。

一般入試

学科名等	区分・日程 学力検査等 (募集人員)	教科・科目数	大学入試センター試験の利用教科・科目名																	個別学力検査等						
			国語	地理歴史・公民					数学					理科				外国語			教科等	科目名等 ( )は受験の選択・必須や 必要科目数など				
農学科	前期(98)	4教科5科目又は 4教科6科目	●	1																			1	その他	小論文	[必須]
	後期(20)	4教科5科目又は 4教科6科目	●	1																				1	その他	小論文

大学入試センター試験の利用教科・科目の選択方法の詳細及び個別学力検査等についての出題範囲については、「入学者選抜に関する要項」で確認すること。

推薦入試

大学入試センター試験の利用教科・科目の選択方法の詳細及び個別学力検査等についての出題範囲については、「入学者選抜に関する要項」で確認すること。  
(※食料科学コースと生命化学コースについては、国語、数学(2科目)及び外国語から高得点のもの2教科2科目又は2教科3科目の成績を用いる。)

学科名等	区分・日程 学力検査等 (募集人員)	教科・科目数	大学入試センター試験の利用教科・科目名																	個別学力検査等								
			国語	地理歴史・公民					数学					理科				外国語			教科等	科目名等 ( )は受験の 選択・必須や 必要科目数など						
農学科	暖地農学コース 推薦入試Ⅱ(一般推薦)(4) (専門推薦)(2)	4教科5科目又は 4教科6科目	●	1																				1	その他	小論文、面接	[必須]	
	海洋生物生産学コース 推薦入試Ⅱ(一般推薦)(6) (専門推薦)(2)	4教科4科目又は 4教科5科目	●	1																				1	その他	面接	[必須]	
	食料科学コース 推薦入試Ⅱ(4)	3教科3科目又は 3教科4科目又は 3教科5科目	◇	1※																					1	その他	面接	[必須]
	生命化学コース 推薦入試Ⅱ(2)	3教科3科目又は 3教科4科目又は 3教科5科目	◇	1※																					1	その他	面接	[必須]
	自然環境学コース 推薦入試Ⅱ(2)	4教科5科目又は 4教科6科目	●	1																					1	その他	小論文、面接	[必須]
	流域環境工学コース 推薦入試Ⅰ(5)	大学入試センター試験は課さない																	その他	口頭試問を含む面接	[必須]							
	推薦入試Ⅱ(一般推薦)(7)	4教科5科目又は 4教科6科目	●	1																					1	その他	面接	[必須]
		推薦入試Ⅲ(専門推薦)(3)	3教科4科目又は 3教科5科目																						1	その他	小論文、面接	[必須]
	森林科学コース 推薦入試Ⅰ(2)	大学入試センター試験は課さない																	その他	面接	[必須]							
	推薦入試Ⅱ(一般推薦)(7) (専門推薦)(1)	4教科5科目又は 4教科6科目	●	1																					1	その他	小論文、面接	[必須]
国際支援学コース 推薦入試Ⅱ(一般推薦)(3) (専門推薦)(2)		4教科5科目又は 4教科6科目	●	1																				1	その他	小論文、面接	[必須]	

# 土佐さきがけプログラム

TOSA Innovative Human Development Programs

## リーダー人材育成を目指す新しい教育プログラム

コース

グリーンサイエンス人材育成コース

国際人材育成コース

生命・環境人材育成コース

スポーツ人材育成コース

スマホで  
読み込もう



現代社会の課題に積極的に取り組んでいける次世代リーダーを育成するため設けられたのが、「土佐さきがけプログラム」です。これは、本学がこれまで培ってきた教育・研究実績や特色を活かしながらも、既存の学部・学科等のカリキュラムからは独立した、全く特別な教育プログラムです。このプログラムでは、関連する様々な分野を横断的かつ総合的に学び、幅広い知識（基礎力）とそれらを組み合わせて考える力（応用力）を養います。



特別プログラムでリーダー人材を育成



その道のエキスパートによる特別な指導



グループ活動や学び合いを重視



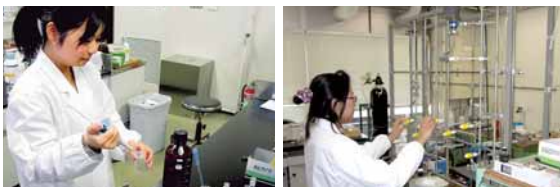
# グリーンサイエンス人材育成コース Green Science Education Program

## 育成する人材像

化学を基盤とし、環境に配慮した技術開発・学際研究(グリーンサイエンス研究)を通じて、国際的に通用する高度な専門知識や技術を身につけた、環境問題や資源問題などの解決に貢献できる人材を育成することを目指します。学部で4年間学んだ後は2年間の大学院修士課程へ進学することを前提とした6年一貫のコースです。

## 教育の特色

- 化学を総合的かつ体系的に履修して化学の基礎を身につけ、少人数で多くの研究実験を行い、化学者としての技量を高めます。
- 入学後の早い時期から、高知大学で実施されている最先端の研究に参加し、課題探求能力や問題解決能力を高めます。
- 大学院では、英文で研究論文を自ら執筆したり海外の研究機関で実験を行い、専門性や国際性を高め、研究者としての実践力を身につけます。



## 実践的「化学」への招待 柳澤和道教授

私たちの身の回りで起こっている様々な現象は、化学的变化としてとらえることができます。ですから、「化学」は私たちの生活を豊かにしてくれているだけでなく、環境問題や資源問題を解決するための大切な糸口なのです。



## ▶ カリキュラムのイメージ

	履修の流れ	特色ある授業科目
学部 1・2年	入学後すぐに高知大学で実施されている最先端研究に触れ、課題探求能力や問題解決能力を養います。同時に大学院進学時の海外留学を見据えて、英語や中国語などの語学についても力を磨きます。	GS特別講義 I・II GS実験 I・II
学部 3年	3年第1学期から研究室に配属され、理学部の化学系コースの学生らと共に、最先端の研究に参加します。	GS実験 III・IV
学部 4年	研究室生活2年目。さらに研究活動を充実させると同時に、科学者として不可欠な倫理観なども学んでいきます。当コースは6年一貫ですが、他の学部生と同様に大学院の試験を受け進級します。	科学者倫理学 知的財産論 GS課題研究
修士 1年	海外の大学に1ヶ月程度の短期留学を行い、化学に関するグローバルな視点を身につけ、研究を深化させます。	海外インターンシップ 学術論文作成セミナー
修士 2年	研究の集大成。論文作成や国内外の学会での研究発表と活躍の場を広げます。夏までに就職または博士課程への進学について検討し、さらなるステップへつなげます。	GS特別研究

### 卒業後の進路イメージ

- 大手企業(食品・製薬・化学・エネルギー産業)や公的研究機関の高度技術者や研究開発者を目指します。
- 大学院博士課程(3年)に進学し、大学教員や国際的な研究者を目指します。

# 国際人材育成コース International Education Program

## 育成する人材像

今や世界共通語となった英語、近年ますます重要度が高くなっている中国語および日本語を駆使し、高い国際コミュニケーション力とともに、文化的・歴史的背景による価値観の違いを乗り越えて自文化と異文化を理解する心を持ち、国際社会の発展に貢献できる人材の育成を目指します。

## 教育の特色

- 日本人学生と外国人留学生が同じプログラムの中でともに学ぶことで、国や文化の違いを超えて相互理解を目指す姿勢を身につけます。
- プログラム前半の2年間では語学力の向上と異文化理解に重点を置き、後半2年間では社会のグローバル化に貢献するための専門知識を中心に学びます。
- 日本人学生は海外協定校への留学や海外インターンシップ、外国人留学生は国内研修や国内企業でのインターンシップを行い、グローバル化の進む社会で活躍できる実践力を身につけます。



## 日中英の3ヶ国語を駆使して国際舞台へ! 谷口雅基教授

本コースは、21世紀のグローバル社会で活躍できる国際人の育成を目指します。国際人として活躍するために必要な、多言語による高度な言語運用能力、自文化と異文化の理解力、世界的な視野に立つ思考力、世界の人々との協働による遂行力などを涵養し、国際社会の発展に寄与できる人材を社会に送り出します。



## ▶ カリキュラムのイメージ

	履修の流れ	特色ある授業科目
学部 1年	本コースにおける特色ある教育方法、勉強方法を身につけながら、特に英語・中国語・日本語の運用力を磨きます。グローバル化する世界の現実、国際機関、企業行動、市民社会の変化などについても理解を深めます。	英語討論法、開発途上国論、実践中国語演習、国際講座等 (JICA、大手商社OB、OG等の協力による実践的講座あり)
学部 2年	国際的に活躍するために必要な異文化理解マインドの育成を中心として国際コミュニケーション力を磨きます。日本人学生・外国人学生ともに英語を含む二言語の研鑽を深めます。(日本語、中国語等)	英語コミュニケーション論、異文化理解対人コミュニケーション論、国際講座等 (JICA、大手商社OB、OG等の協力による実践的講座あり)
学部 3年	日本人学生は海外研修・インターンシップ、外国人留学生は国内研修・インターンシップを行い、実践的な国際社会での対応能力を磨きます。(日本人学生は英語圏や中国語圏への留学が必須です。外国人留学生は日本国内でのインターンシップが必須です。)	海外研修・インターンシップ、国内研修・インターンシップ等
学部 4年	留学の成果をさらに進展すべく、高度な言語表現力、コミュニケーション力を磨き、国際社会へ巣立つ準備を行います。	実践ビジネス英語、実践ビジネス中国語、海外(国内)研修・インターンシップ報告会等

### 卒業後の進路イメージ

- 本学や他大学の大学院への進学、国際的な企業や組織・団体に多言語能力を活かし、グローバルな視野で活躍できる人材を目指します。

# 生命・環境人材育成コース Life and Environment Education Program

## 育成する人材像

生命活動とそれを支える環境についての専門的な知識と様々な研究手法を学びます。そして、自分の考えを社会へ発信する能力を身につけて、人類の健全な生存環境を創り出すことに貢献できるように、学部を超えた豊かな見識を持った未来の社会的リーダーを育成することを目指します。さらに、実践的な研究体験型教育によって、大学院進学も視野に含めた高度な研究活動をサポートします。

## 教育の特色

- 専門知識と自分の考えを論理的に伝える表現力と英語力の育成
- 基礎教育と実践的な体験型教育、英語理解力の習熟を促す教育
- 生物資源の育成から利用まで活躍する社会的リーダーの育成
- 研究実践型の高度な生命科学教育と環境教育
- 大学院進学を含む長期的履修計画で研究経験に富む人材育成



## 生命の営みと健全な環境を守る未来人に! 永田信治教授

バイオサイエンスという自然科学中心の教育だけでなく、国際情勢に対応でき、地域社会に貢献できるチカラを育てます。さらに国際化に則して、英語を活用した情報発信力を養います。また、生命と環境に関する高度な実践的教育を達成するために、早くから研究室での研究活動に従事します。そして、学会活動や学内外の共同研究を通じて、研究経験に富む研究者・教育者として、社会のリーダーに育ててください。



## ▶ カリキュラムのイメージ

	履修の流れ	特色ある授業科目など
学部1年	生命科学と環境に関する基礎知識を身につけ、社会に役立つ専門研究を意識した課題を探索し、様々な最先端研究を学ぶことによって、学習意欲と目的意識を高めます。	生命と環境I、英文読解・理解力養成セミナー
学部2年	様々な研究室を巡回する体験重視な実践教育を通じて、専門的な実験技術から課題解決力まで、優れた研究能力を養います。	研究室インターン実習I~IV、実践英語セミナー、生命と環境II
学部3年	研究室で、余裕を持った研究活動を開始します。また、産官学の試験機関や研究所でのインターンシップや共同研究によって、実践力を培います。さらに学会に参加して最新の研究を学びます。	産官学連携インターンシップ、生命・環境学集中実習、国内学会参加
学部4年	研究課題の立案や企画力と、後輩に対する指導力を高めながら、成果発表や論文作成を目標に、研究活動を充実させます。	卒業論文演習I・II、卒業論文、国際学会参加
大学院進学(希望者)	高度な研究活動の推進に加え、産官学の現場で即戦力として社会に貢献できる実力と、理科教育の教員免許の取得や教育現場で役立つ様々な手法の開発力を育てます。	農学専攻・植物医学専攻、黒潮圏総合科学専攻など

## 卒業後の進路イメージ

- 国や県、市町村にある様々な試験研究機関や行政機関の技術者や研究者
- 理科及び生命や環境に関わる分野の教育者
- バイオ・医薬・食品・化学・農業・環境など様々な分野の民間企業の技術者や研究者

# スポーツ人材育成コース Sports Education Program

## 育成する人材像

人文学部・教育学部・理学部の推薦入試または一般入試の合格者の中から、それぞれの学部での学びに加えて、入学後に副専攻プログラムとしてスポーツ人材育成コースで学ぶことを希望する人を対象に選考します。所属する学部・学科等の専門分野の学びとスポーツ活動を両立させ、さらに副専攻としてスポーツを科学的に学ぶことで、在学中は高知大学のスポーツ活性化を担い、卒業後は国内外においてスポーツ文化の発展に貢献できる人材を育成することを目指します。

## 教育の特色

- それぞれの所属学部・学科の専門分野に加えて、副専攻として運動時の心身の働き、メカニズムについて、スポーツ生理学、スポーツ心理学、トレーニング論を通してスポーツ科学の理論について学びます。
- トレーニング実習や専門実技演習I~IIIを通して実践について学び、競技力の向上を目指します。
- スポーツ指導やコーチング理論、地域スポーツクラブの運営について学び、競技の指導能力や地域のスポーツ振興に貢献できる力を身につけます。



## 文武両道を大学でも実現! 野地 照樹 特任教授

専門分野の学びとスポーツ活動どちらを極めるのも大変な努力と熱意が必要です。こうした文武両道の意味をもつ人材を求めるとともに両立を図れるよう支援していきたいと考えています。



## ▶ カリキュラムのイメージ

	所属学部学科の卒業に必要な単位 124単位以上	スポーツ人材育成コース24単位
学部1年	← 並行して履修します →	専門実技演習I スポーツ指導論 トレーニング実習 専門実技演習II 専門実技演習III スポーツ指導演習
学部2年		
学部3年		
学部4年		

スポーツ生理学  
トレーニング論  
スポーツ栄養学  
スポーツ心理学  
などの  
スポーツ科学の授業から自由に選択

## 卒業後の進路イメージ

- 中学校や高等学校の教員となり、部活動の指導者として運動部活動の普及・発展に貢献する。(人文学部・理学部及び教育学部に教員免許を取得した場合。本コースでは保健体育の教員免許は取得できません。)
- 民間企業や公務員職に就職し、地域スポーツの指導者や審判員として地域スポーツ活動の普及・発展に貢献する。
- 海外勤務の場合、日本の伝統スポーツ(剣道など)の普及の一翼を担う。

# 卒業論文テーマ例



## 人文学部 人間文化学科

人間と「死」—死の舞踏から見るその関係性—(哲学思想)／功利主義の限界(哲学思想)／幼児の虚偽記憶(心理学)／大学生の所属集団における、問題の原因帰属とリーダーシップ行動が組織コミットメントに及ぼす影響(心理学)／表現とその手法—歌詞・キャッチコピーから見る言語表現—(言語学)／古墳時代における鉄釘の研究(考古学)／織田氏の寺内町特権への政策(日本史)／辛亥革命における女子軍の創出と活動(東洋史)／産業革命期のイギリスにおける児童労働(西洋史)／四万十川流域の観光の展開(地理学)／岡山県真庭市古方言の記述—音声・文法を中心に—(方言学)／伊勢物語と紀氏(日本文学)／今昔物語集における説話翻訳の方法(日本文学)／安部公房『箱男』論(日本文学)／平安・鎌倉時代の平仮名文における撥音の表記について(日本語学)／『東海道中膝栗毛』における二人称代名詞について(日本語学)／『封神演義』の伝播とその影響(中国文学)／Agatha Christieと大戦後の探偵像(イギリス文学)／As You Like Itにおける森と時間の関係性(イギリス文学)

## 人文学部 国際社会コミュニケーション学科

「もう一人の自分」物語:児童文学に表わされる自分との向き合い方／ヨーロッパ偏重の論理を探る:松村奈津子著『野蠻から秩序へ』の考察から／共感覚表現における一方向性仮説の妥当性:ワインテスティング用語に見られる下降転移例／在日外国人児童は日本人児童のコミュニケーション能力に影響を与えるか／非言語コミュニケーションにおけるファッションの役割／日本語の談話に見られる男女差／翻訳言語からみるジェンダー・イデオロギー:映画字幕を中心に／「ご当地グルメ」によるまちづくりの課題と展望／中国におけるブランド構築:スポーツブランド李宁(リーニン)の事例／合成洗剤の問題点:石鹼との比較を通して／日本におけるLCC台頭と地方空港／台湾における「親日」感情:日本統治時代の台湾とその近代化を支えた日本人／日本舞踊花柳流の現代的意義と今後の展望／国際協力活動の学びの経験:高知市立高知商業高等学校ラオス学校建設活動を事例に／The Language and Culture of Children's Picture Books: Possible Uses for Learning English as a Foreign Language／What Effects does Corrective Feedback Bring and What do Students' Behaviors Tell in Juku Contexts?／Malaysia: Language Education Policy in a Multilingual Country

## 人文学部 社会経済学科

児童虐待における援助と子供の意見表明権／自動販売機の設置・管理運営契約をめぐる法的検討／中山間地域における学生参加型地域づくり活動の有効性／救急車の出動基準について／環境団体訴訟と合憲性／ポーターの競争戦略理論からみるYKK／ストック・オプションの費用認識の妥当性について／たばこ規制の国際的傾向と我が国のたばこ税の方向／高知県過疎中山間地区と都市部内陸地区における自主防災活動の比較と自主防災活動の在り方についての考察／葬儀の新しい形の提言／定款に記載のない財産引受けの追認の可否について／非伝統的祭りの持つ意義／高知県における空き家と地価動向の分析／女性の継続就業率向上を妨げる要因の分析と考察／四国地方における高速道路整備効果のパネルデータ分析／21世紀におけるローカル局のあり方／ジェネリック医薬品から見る医薬品流通の問題点／高知県議会議員選挙のデータ作成とその分析／百貨店の動向とその課題に関する一研究／音楽著作権の現状／「ゆとり世代」はなぜ世間で批判されるのか

## 教育学部 学校教育教員養成課程

教職志望学生の教職アイデンティティ確立を促す心理教育プログラムに関する実践研究(教育科学)／教師が目の前の子どもの教育に従事できる仕組み—アメリカのチャータースクールの可能性に着目して—(教育科学)／学校におけるピア・サポート活動が被援助者の心理的機能に及ぼす効果—メタ分析による検討—(教育科学)／異年齢保育に関する一考察—疑似的きょうだい関係に着目して—(教育科学)／人とのつながりを実感することのできる学級づくり(教育科学)／斎藤隆介「モチモチの木」の研究(国語)／音声言語教育を中心とした伝え合う力育成に関する研究(国語)／過疎地域における祭りの変化と社会的機能(社会科)／児童虐待と法(社会科)／小学校における歴史授業(社会科)／笑いに関する哲学的考察(社会科)／唐代長安における商業発展と雇用労働(社会科)／数学教育における問題解決指導とその教材研究(数学)／中学校における図形の論証(数学)／結び目と不変量(数学)／組み合わせ論について(数学)／外洋棲ウミアメンボの生息と環境因子及び生物量との関係(理科)／室内に放散されるピレスロイド系殺虫剤の二次的な曝露に関する研究(理科)／児童の問題意識が生まれる理科授業構成—「具体」と「抽象」をキーワードとして—(理科)／The Role of The Roman Alphabet in Foreign Language Activities(英語)／A Generative Analysis of -ING Constructions in English(英語)／Difficulties in Mastering English Article Use(英語)／0歳児保育における音楽のかかわり(音楽)／剣道部員の試合前後におけるメンタルコンディションの変化—自己認知を深めることに着目した縦断的調査—(保健体育)／運動・スポーツの価値観と過去の運動・スポーツ経験が現在の運動実施に及ぼす影響に関する研究(保健体育)／逆上がりにおける運動学的考察—学習過程における運動内観の変容に着目して—(保健体育)／高知大学サッカー部少年少女サッカー教室に関する親の期待と満足度に関する研究(保健体育)／地域の人の交流が子どもの発達に及ぼす影響—高齢者に着目して—(家庭科)／小学校家庭科における家族とのコミュニケーション能力の向上を目指した授業提案(家庭科)

## 医学部 看護学科

家庭内で行われる月経教育の実態及び月経随伴症状への対処行動との関連／看護学生の日常生活における手洗い行動の意識と実際について／医学系大学生の避妊に対する意識と行動の関連／高齢者の家庭内での入浴環境と入浴習慣の実態／臨地実習で成功体験を得た看護学生の自己効力感の変化／ウロストメイトが抱える困難に対して家族が行ったサポート／看護大学生の座席選択と学習意欲・態度及び自己効力感との関連／臨地実習での患者とのコミュニケーションにおける看護学生の土佐弁使用に関する意識について／看護学生の東日本大震災後の災害意識と防災行動の変化／グループ学習における男子看護学生の学習困難感と学習行動／高齢者における社会活動の継続参加要因に関する研究／看護学生における睡眠習慣と幼児の睡眠習慣への認識との関連／看護学生の災害に対する関心と心構えに関する実態調査／看護学生におけるスマートフォンへの依存度と学習に関する研究／大学生における生活習慣と糖尿病の知識の関係について／青年期の親性準備性に対する関連要因の影響／看護学生の高齢者施設に対するイメージとその背景に関する調査／看護学生の臨地実習中のストレス・コーピングに関する文献検討／子どもの入院に対する親の思いに関する文献検討／がん患者と家族関係に関する医学中央雑誌を用いた文献検討



## 理学部 理学科

### 数学コース

カントール関数と悪魔の階段／掛谷問題とベシコヴィッチ集合／ハムサンドイッチ定理／Pop-up spinner／代数方程式とその歴史／整数を因数分解するアルゴリズム～量子コンピュータを利用して～／Kissing number／だまし絵のデザイン／離散時間マルコフ連鎖について

### 物理学コース

対称性の自発的破れとNJL模型におけるパラメータの決定／電子ガスにおける短距離相関／有色ノイズにおける拡散現象／R3Al11 (R=Ce,Pr,Nd)の単結晶育成と磁化測定／ホランダイト型マンガン酸化物BaxMn8O16の合成／超高圧NMR測定に適合する循環型3He冷凍機の開発

### 化学コース

直鎖アルキルアミド基を有するビス(オキサゾリニル)ピリジン銅(II)錯体を触媒とした反応におけるアルキル鎖長が及ぼす影響／金ナノ粒子アレイによる蛍光増強とバイオセンシングへの応用／ベンジル位カチオン系を用いたLSFE式の検討

### 生物科学コース

ヨツヒメゾウリムシの細胞極性決定に関わるPAR遺伝子のfeeding RNAi/ツクダウン/南嶺(高知市)の地衣フロラ/ニホンジカ採食圧下にある溪畔域に設置した防鹿柵内の植生回復/高知県沿岸に出現するアジ科魚類の分類学的研究/仁淀川流域における河川環境と底生生物

### 地球科学コース

雨滝山・火山に分布する瀬戸内火山岩類の地質層序と岩石学的特徴/長崎県野母半島に分布する変成岩類の変成鉱物の特徴とその帰属/伊豆・小笠原弧の海底火山(ベヨネース海丘)における熱水起源マンガン酸化物の形成過程/インド洋西部アデン湾表層堆積物の古海洋学的研究

## 理学部 応用理学科

### 情報科学コース

プレゼンテーション評価のための発表スライドと口頭説明の分割・統合・タグ付けによる再構成手法/視覚障害者のための白杖型歩行支援デバイスの開発/ Web 学習の習慣化支援を目的とした学習計画の実行を促すブラウザ拡張機能の開発/ 推論による情報漏えい防止のためのグラフモデルシミュレータの試作および情報到達可能性の評価手法

### 応用化学コース

ペリレン系近赤外蛍光色素の高輝度化に関する基礎/水熱ソフト化学法による(Ba,Ca,Mg)TiO3系配向性薄膜の作製/ヘテロ原子を含む縮合多環炭化水素での電子伝達の解析/鉄触媒によるGrignardクロスカップリング反応を用いる置換アレン合成法の研究/ポリオキソメタレート錯体の酸化還元特性を利用した抗酸化物質の抗酸化力評価法の開発

### 海洋生命・分子工学コース

尾索類のHox1 遺伝子転写調節メカニズムの比較解析/カタウレイボヤの胚におけるCdx 遺伝子のエンハンサー解析/ミダレキクイタボヤTRAMPの発現解析および組換え体タンパク質の作製/単細胞生物・疫病菌のタウロシアミンキナーゼの起源と酵素活性/Ugi反応を用いた海洋天然物の合成研究/ミリオンシ側鎖の合成研究

### 災害科学コース

昭和元年からのデータを用いた高知県における多雨と少雨の長期変化傾向/常時微動観測による距離減衰式における地盤特性項に関する研究/地殻変動速度場から推定した中央構造線の深部構造と運動様式/IODP Expedition 344 コスタリカ沖リファレンスサイトおよびフロントルプリズムの堆積物物性/高知県の町葛地区における斜面診断

## 農学部 農学科

### 暖地農学コース

こうち型集落営農組織からみる高知県中山間地域水田農業の展開方向/園芸施設における新たな炭酸ガス施用手法に関する研究/トマト養液栽培における親水性樹脂培地のサイクル性/凍結乾燥したウシ線維芽細胞の長期保存に関する研究/軟X線照射花粉を受粉した“土佐文旦”の果実および種子発達に関する研究

### 海洋生物生産学コース

高知県内の河川に生息しているコイにおけるコイヘルペスウイルスの保有状況及び体内動態/ブリ稚魚のタウリン要求量/高知県浦内湾の造成カジメ場に出現する魚類の群集構造/形質転換によるボツリオコッセンを生産する海産珪藻株創生の試み/クルマエビクラスタシアニンのパラログ遺伝子に関する研究

### 食料科学コース

基石茶に含まれる3T3-L1脂肪前駆細胞の分化抑制物質/高知県北川村産実生ユズの特性/ポリアクリル酸イオンコンプレックスの開発/イネのマンガニン恒常性に関するCDFファミリータンパク質の解析/草原退化に伴う土壌粘土鉱物含量および組成の変化/ホスファチジン酸を介した植物免疫応答に関する遺伝子ライブラリーの構築

### 生命化学コース

ラット胚の水耐凍剤透過性と耐凍剤毒性に対する感受性/新規カラギーナン分解酵素の性状解析/地場産品と野生酵母の特性を活かした発酵種を用いた製パン法/プーアル茶中に含まれる抗酸化物質の解明/イネの抵抗性メカニズムの解明—オカボノアカアブラムシの加害—/マレーシアの定植後年数の異なるアブラヤシ園における土壌の一般理化学的比較

### 自然環境学コース

太陽光発電システムの性能に関する研究/植物の生理活性物質に関する研究/土着天敵クロヒョウタンカスミカメの生物的防除資材としての有効性の検討/地域連携による硬質小麦の栽培に関する研究/高知県固有植物アズリノジギクの海岸地適応に関する研究/サワガニの系統進化的研究/カシノキハダニの雄間競争とサイズの関係

### 流域環境工学コース

騒音軽減のためのポーラスコンクリートの活用/丸太を用いた環境配慮型液状化対策工法の開発/農地・農業・農村(生活)環境の計画・整備・保全/小豆島沿岸における水産資源の再生に向けた基礎的研究/廃水・廃棄物の資源回収型浄化技術の開発/川・湖・海域の水環境の保全・改善に向けた研究

### 森林科学コース

スギ花粉症対策品種に関する現状調査と一考察/ディーゼルエンジンにおける樹木精油添加燃料の燃焼効率/オゾンを活用した使用済み紙おむつのリサイクル技術の開発/高知県沿岸部低山帯の森林土壌の撥水性について/放置竹林の資源化と搬出の省力化について/生活型の異なる高木性広葉樹幼木の葉の量的防御について

### 国際支援学コース

熱帯汽水域の放棄養殖池におけるエビ類と魚類の分布パターン/インドネシア・西カリマンタン州・スカブ村における薬用植物の民族植物学的研究/タイ北部チーク植林地におけるタケ群落下の土壌特性/大豊町東豊永・西峰地区住民の買い物現状と課題/地図と漁業統計から分析した浦戸湾の変遷/嶺北フィールドに生育するヤマザクラの衰退原因

# 教員紹介

所属の表記は平成26年5月1日現在のものです。\*印のある教員については、平成27年4月1日より地域協働学部の専任教員となる予定です。

## 役員

- 理事 櫻井 克年 熱帯土壌学、土壌情報解析学、土壌生態学  
理事 深見 公雄 海洋微生物の生態とそれを利用した海洋環境保全・修復

## 人文学部 人間文化学科 人間基礎論コース

- 教授 安藤 惠崇 宗教学・近現代の哲学、宗教思想、思想の方向から見た神話学  
教授 池田 和夫 人間の認知過程および家族構造の認知に関する研究  
教授 加藤 勉 英語の複数構文と総称表現を中心とした、言語の意味論的研究  
教授 塩坪 いく子 空間認知の発達・言語獲得  
教授 角 忍 カント哲学の本質を最高善の問題という観点から解明する  
教授 高橋 克己 ドイツ思想詩：古代ギリシアと西欧・プラトーン主義と教父  
教授 武藤 整司 西洋近世哲学史、倫理学、生涯学習論を研究中  
准教授 西尾 美穂 統語範疇とは何か、またそれはどのように変化するのか  
准教授 日比野 桂 日常生活における感情喚起とその後の時間経過に伴う変化の過程  
准教授 増田 匡裕 様々な対人関係の発達・解消過程のコミュニケーション

## 人文学部 人間文化学科 地域変動論コース

- 教授 上野 智子 日本語方言・四国地方方言・高知県方言の研究と海岸部地名の研究  
教授 大櫛 敦弘 戦国・戦後時代を中心とする中国近代史  
教授 荻 慎一郎 日本近世社会史の研究、日本近世鉱山史、「浦」社会史  
教授 杉谷 隆 環境問題を地域や自然観・倫理観の問題として考察すること  
教授 清草 章 弥生時代～古墳時代を中心とした日本考古学  
教授 津野 倫明 朝鮮出兵・大名長宗我部氏・南海路の研究  
教授 吉尾 寛 明清期の民衆運動と地域社会、台湾における黒潮認知の歴史  
准教授 小幡 尚 行刑史などを中心とする近代日本刑事政策史研究  
准教授 川本 真浩 イギリス、イギリス帝国、コモンウェルス(英連邦)の近現代史  
准教授 後藤 拓也 アグリビジネスの地理学的研究

## 人文学部 人間文化学科 言語表象論コース

- 教授 大西 宗夫 フランス文学・思想、特にラカンの精神分析の研究  
教授 高橋 俊 近現代中国の社会・文化研究  
教授 福島 尚 日本中世文学研究、古典文学における「説話」関連領域の研究  
教授 藤吉 清次郎 19世紀アメリカ小説、アメリカ映像文化  
教授 山本 秀人 日本語学、特に漢字の訓、古辞書(漢和辞書等)に関わる研究  
准教授 鈴木 隆司 平安朝文学、おもに和歌・物語・日記文学の研究  
准教授 宗 洋 19世紀末からモダニズムの時期にかけての英文学  
准教授 田鎖 数馬 谷崎潤一郎研究、芥川龍之介研究、大正期文芸思潮研究

## 人文学部 国際社会コミュニケーション学科

- 教授 岩佐 和幸 グローバル化とアジア地域の構造変動に関する政治経済学的研究  
教授 奥村 訓代 デジタル化時代にふさわしい外国語としての日本語教授法研究  
教授 岡本 克人 フランス語・日本語・英語の比較対照研究  
教授 小澤 萬記 進化論の日本への影響、比較日本文化論  
教授 上岡 克己 アメリカの自然・環境と文化・文学とのかかわりについて  
教授 斎藤 昌人 19世紀末から20世紀初頭にかけてのウィーン  
教授 周 雲喬 異文化間のコミュニケーション、比較文化、中国語学  
教授 中森 健二 中国の古代・中世文学、おもに詩文学と詩論の研究  
教授 丸井 一郎 言語相互行為研究、特に異文化間対照、比較文化学  
教授 山下 興作 大衆文化論、演劇論、アート・マネジメント  
教授 吉門 牧雄 イギリス言語文化、特にロバート・ブラウニングの英詩研究  
教授 LINGLEY DARREN SCOTT 異文化間コミュニケーション、英語教授法  
准教授 今井 典子 第二言語習得研究より考察する英語教授法および学習法、英語教育  
准教授 古閑 恭子 アカン語(ガーナ)の記述研究、ガーナの言語状況の研究  
准教授 佐野 健太郎 輸出主導型から内需主導型への経済構造転換における日中比較  
准教授 佐野 由紀子 現代日本語の文法  
准教授 塩原 俊彦 ロシアをめぐる諸問題  
准教授 関 良子 19世紀英文学・文化の研究、特に当時の中世主義について  
准教授 遠山 茂樹 情報通信技術(ICT)を利用した地域づくりに関する研究  
准教授 中西 三紀 ラテンアメリカ地域の社会・経済構造の変動に関する研究  
准教授 藤崎 好子 音声の自然性・第3言語習得・日ソ連圏の言語政策と英語教育  
准教授 持尾 伸二 英独の伝承文学、とくにバラッドについて  
准教授 森 直人 十八世紀ブリテンの政治・経済思想についての研究  
准教授 DOYLE HOWARD BARRY 言説とジャンル、リテラシー教育、外国語(第二言語)の研究  
准教授 HARE JOANNA DOROTHY 和英翻訳や解説、特に四国遍路と深沢七郎の文学  
講師 岩佐 光広 医療に関する人類学的・倫理学的研究、ラオス地域研究  
講師 HUG STEFAN ドイツ語の文法、文法の教え方、外来語  
講師 OTLOWSKI MARCUS GEORGE 英作文教授法、英語教授法

## 人文学部 社会経済学科

- 教授 飯岡 芳明 山間地域における活性化の分析、農業政策の国際比較  
\*教授 池田 啓実 自律創発型組織の構造特性及びその社会基盤に関する分析  
教授 伊丹 清 金融関係の会計についての研究

- \*教授 上田 健作 非営利組織の機能及び非営利組織の経営に関する研究  
\*教授 大石 達良 日本企業の海外活動とくに欧州域内における活動の研究  
教授 新保 輝幸 黒潮圏の地域環境資源の持続可能な利用に関する経済学的研究  
\*教授 鈴木 啓之 現代日本の財政政策、地域経済と地域政策、公信用論  
教授 田村 安興 流通経済史の研究、日本思想史の研究  
教授 中川 香代 人事労務管理を中心とした企業経営管理の日英比較研究  
教授 山内 高太郎 国際会計基準、米国会計基準における現代会計理論の研究  
教授 横川 和博 日本独占禁止法制・英国独占禁止法制・国際経済法  
\*准教授 石筒 覚 工業団地政策、マレーシアにおける地域政策・産業政策  
准教授 稲田 朗子 医事刑法  
准教授 上神 貴佳 現代日本における選挙や政党の研究  
准教授 緒方 賢一 農山漁村と農林水産法制に関する法社会学的研究  
准教授 切詰 和雅 商取引における外観信頼者保護の制度に関する研究  
准教授 霜田 博史 ドイツ統一後の連邦財政調整制度  
准教授 肖 紅燕 チベットスリム研究、日中家族研究、土佐酒造史・茶業史  
准教授 田中 康一 企業の本社等の立地メカニズムに関する研究  
\*准教授 中澤 純治 産業連関分析を中心とした地域経済の数量分析  
准教授 中道 一心 デジタルスチルカメラ産業における地域、国、企業の競争力の分析  
准教授 西島 文香 社会保障・社会福祉の提供体制とその政策課題に関する研究  
講師 赤間 聡 科学技術の発展およびリスク(原発事故等)とのつきあい方  
講師 岡田 健一郎 日独公法における「国家による安全」の意義と問題点  
講師 堀 美菜 漁村社会学、アジアの地域住民と漁業のかかわりに関する研究  
講師 新井 泰弘 知的財産権制度の経済学的研究  
講師 海野 晋悟 経済学版ロールプレイングゲームを作る

## 教育学部 学校教育教員養成課程 教育科学コース

- \*教授 内田 純一 成人教育学、社会教育学、地域づくり教育、生涯学習論  
教授 岡谷 英明 ドイツの教育人間学に関する研究  
教授 玉瀬 友美 読み聞かせに関する教育心理学的研究  
教授 藤田 尚文 親子関係、学力問題、触覚・力覚の感性情報処理  
准教授 加藤 誠之 思春期問題(主に不登校・非行)に関する現象学—実存主義的理解  
准教授 金山 元春 相手の「持ち味」を活かすコミュニケーションの工夫について  
准教授 柳林 信彦 アメリカ教育改革政策に関する研究、地方教育行政機構に関する研究

## 教育学部 学校教育教員養成課程 国語教育コース

- 教授 北川 修久 書写書道教育の学習方法と古典における表現研究  
教授 玉木 尚之 中国古代の芸術観(おもに音楽観)  
教授 渡邊 春美 国語科の授業活性化の研究、および国語科教育の歴史の研究  
准教授 岩城 裕之 方言語彙の記述および分析と、災害・医療現場での方言利用のあり方について  
准教授 武久 康高 平安時代を中心とした物語文学、および古典文学の享受に関する研究  
准教授 吉田 茂樹 国語科授業論、表現教育論

## 教育学部 学校教育教員養成課程 社会科教育コース

- 教授 市村 高男 中世日本社会を政治・経済・文化の諸側面から総合的に考察する  
教授 遠藤 隆俊 中国の歴史、宋代以降の家族と宗族、東アジア交流史  
教授 原崎 道彦 西洋哲学史(ヘーゲル)、快樂論、リラクゼーション論、ダイエット論  
教授 藤田 詠司 意思決定能力育成のための社会科の学習内容構成  
教授 藤本 富一 国籍について、外国人の人權について  
准教授 柳川 平太郎 近世・近代のドイツを中心とするヨーロッパ史研究  
准教授 山崎 聡 経済思想(ケンブリッジ学派)の研究  
講師 中村 努 社会保障の地域格差研究、IT技術を活用した企業や組織の空間行動分析  
助教 遠藤 尚 東南アジアの農村と農業の持続可能性に関する研究

## 教育学部 学校教育教員養成課程 数学教育コース

- 教授 織田 進 可換代数の研究、とくに環の不分配拡大、環上の多項式環に関する領域  
教授 佐藤 淳郎 可換代数、とくにネーター環の拡大についての研究  
教授 中野 俊幸 数学的認識の記号論的研究および算数・数学学習指導法の研究  
教授 山口 俊博 やわらかい幾何学(トポロジ)の研究  
講師 加納 理成 微分方程式とその周辺の領域  
講師 服部 裕一郎 数学教育における問題解決、およびクリティカルシンキングの研究

## 教育学部 学校教育教員養成課程 理科教育コース・科学技術教育コース

- 教授 赤松 直 鉱物とその融解物の分子動力学シミュレーション、Web教材開発  
教授 蒲生 啓司 環境および生体中の微量生理活性物質の化学分析に関する研究  
教授 國府 俊一郎 固体の電子系と原子核を対象にした量子力学多体問題  
教授 原田 哲夫 子どもの生活リズム研究、アメンボ類とくに外洋棲アメンボ研究、生物教材開発  
教授 善喜 満生 宇宙放射線に関するコンピュータシミュレーション  
准教授 伊谷 行 海洋生物(主に甲殻類、二枚貝類)の共生生態、環境教育  
講師 草場 実 中等理科授業における学習者の認知と相互作用に関する実践的研究、理科教師教育に関する研究  
講師 中城 満 理科における児童生徒の認知過程の研究、学び合いの効果の研究  
講師 西脇 芳典 科学捜査のための微量成分分析を用いた犯罪遺留物の起源解明



教育学部 学校教育教員養成課程 英語教育コース

教授	谷口 雅基	英語音声学、音声教育、国際コミュニケーションのための英語教育、異文化理解
教授	那須 恒夫	英語の教授・学習過程、外国語教育の国際比較、異文化教授
准教授	多良 静也	変種英語発音が非英語母語話者の理解に与える影響の研究
准教授	松原 史典	統語(文法)理論により様々な言語現象を解明すること
講師	長谷川 雅世	チャールズ・ディケンズの小説を中心とした19世紀ヴィクトリア朝のイギリス小説の研究

教育学部 学校教育教員養成課程 音楽教育コース

教授	小原 浄二	J.S.バッハを中心とするバロック期の声楽作品の研究
教授	宮田 信司	ピアノ演奏法、指導法についてロマン派作品を中心に研究
教授	山中文	音楽科の授業構成研究、教育内容研究
准教授	高橋 美樹	沖繩のポピュラー音楽に関する研究、レコード産業論
准教授	前田 克治	今日の作曲、および芸術表現を技法的、美学的側面から研究
講師	梶原 彰人	トロンボーンを中心とした管楽器の奏法と、独奏曲、アンサンブル作品の研究

教育学部 学校教育教員養成課程 美術教育コース

教授	金子 宜正	日本とドイツの美術教育の理論と実践に関する研究
教授	土井原 崇浩	油彩画による具象表現の研究と古典インク(没食子インク)の研究
教授	吉光 誠之	木工芸における、指物、挽物、割物の技法および表現に関する研究
准教授	中村 るい	古代ギリシャ美術の造形表現と美意識の研究
*准教授	吉岡 一洋	グラフィックデザインにおけるマス・イメージの創造
講師	阿部 鉄太郎	塑造による具象彫刻の研究
講師	野角 孝一	日本画における心象表現の追求、及び材料研究

教育学部 学校教育教員養成課程 保健体育コース

教授	神家 一成	スポーツ運動の学習過程および指導過程に関する研究
教授	刈谷 三郎	体育授業の日韓比較研究および陸上競技指導論
教授	駒井 説夫	全身持久力に関する研究、身体運動と健康・体力について
教授	本間 聖康	生活習慣(とくに運動や栄養)と健康や体力の関係について
准教授	宮本 隆信	体育授業研究、日本と韓国の体育授業比較研究
准教授	矢野 宏光	スポーツ・身体運動が心理的側面にどのような影響を与えるのか
講師	常行 泰子	運動・スポーツに関する社会調査及びダンス・フィットネスに関する研究
助教	幸 篤武	生活習慣病の予防に関する研究

教育学部 学校教育教員養成課程 技術教育コース・科学技術教育コース

教授	裏垣 博	超音波による工業材料及構造物の非破壊試験・検査
教授	道法 浩孝	ニューロコンピューティング、電気・情報に関する教育
教授	増尾 慶裕	児童生徒の学力を育成するための構成主義学習指導に関する研究
講師	北川 晃	フォトニック結晶における電磁場の伝搬に関する理論的研究

教育学部 学校教育教員養成課程 家庭科教育コース

教授	菊地 るみ子	家庭科教育および生活環境教育に関する理論的・実証的研究
教授	小島 郷子	家庭科教育および消費者教育に関する理論的・実証的研究
教授	田村 和子	被服心理や色彩に関する研究、スポーツウェアや消防服などの被服設計と開発
准教授	森田 美佐	生活経営学・家族関係学・ジェンダー平等に関する研究
講師	柴 英里	健康科学を基盤とした食物学の意義と実践の研究

教育学部 学校教育教員養成課程 特別支援教育コース

教授	喜多尾 哲	知的障害児における学習特性の理解と指導法に関する研究
教授	寺田 信一	脳発達障害の生理心理学的機能評価法・指導法の開発と実践研究
准教授	是永 かな子	北欧における特別ニーズ教育システムと実践についての研究
講師	鈴木 恵太	学習障害など発達障害のある子ども達の理解と指導に関する研究

教育学部 附属教育実践総合センター

准教授	鹿嶋 真弓	教師による自律支援的指導態度に関する研究、互いに高め合う学級集団づくりに関する研究
准教授	古口 高志	ストレスと心身の健康との関連、心身症への認知行動療法
准教授	田邊 重任	道徳教育の方法に関する諸問題の研究
講師	島田 希	授業研究、カリキュラム開発および教師の力量形成に関する研究
講師	横山 卓	子どもの社会化(発達)に関する研究、地域防犯活動に関する研究

理学部 理学科 数学コース

教授	大坪 義夫	非線形評価関数を伴うマルコフ決定過程論とその応用に関する研究
教授	下村 克己	安定ホモトピー論、球面のホモトピー群
教授	野間口 謙太郎	制約条件下の統計的推測、不完全データの統計的推測
教授	福岡 慶明	代数幾何学、特に偏極多様体の不変量による分類とその応用
教授	逸見 豊	代数的方法および組み合わせた論的を用いたポロジノの研究
教授	諸澤 俊介	複素力学系、クライン群論、フラクタル幾何学
准教授	大浦 学	符号、不変式、モジュラ形式の境界部分
准教授	小野寺 栄治	偏微分方程式、幾何解析
准教授	小松 和志	準周期タイリング、分子の立体構造の配置空間
准教授	土基 善文	非可換代数幾何学、非可換環論
助教	三角 淳	相転移を含む確率モデル

理学部 理学科 物理科学コース

教授	飯田 圭	高密度物質の理論
教授	津江 保彦	強い相互作用する粒子集団が示す物性の理論的研究
教授	中村 亨	超高エネルギー宇宙線、および低周波自然電磁波の研究
教授	西岡 孝	極低温・高圧下における希土類化合物の磁性研究
教授	松村 政博	核磁気共鳴・核四重共鳴による磁性、超伝導の研究
准教授	加藤 治一	遷移金属酸化物など強相関電子系の合成およびNMR測定
准教授	島内 理恵	燃料電池など電力用電池に必要な機能性セラミックスの開発と物性
講師	北川 健太郎	超高圧下での核磁気共鳴技術の開発と固体電子物性・超伝導の研究
講師	仲野 英司	理論物理学:QCD物性、相転移、ソリトン、冷却原子 など
助教	藤代 史	環境・エネルギー材料の合成および物性評価

理学部 理学科 生物科学コース

教授	石川 慎吾	植生の動態と攪乱地に生育する植物の生活様式の研究
教授	遠藤 広光	魚類の分類・系統学に関する研究
教授	奥田 一雄	植物の細胞の形を決めるしくみを明らかにする研究
教授	佐々木 邦夫	魚類の形態学に関する研究
教授	松井 透	コケ植物の分類を中心に、系統、生態、形態等を研究
教授	松岡 達臣	原生動物の環境応答と休眠シスト形成の分子機構
准教授	岡本 達哉	地衣学
准教授	関田 諭子	渦鞭毛藻の細胞外被の形態構築機構
准教授	峯 一朗	藻類の細胞形態形成と細胞壁の微細構造と性質
准教授	三宅 尚	植物化石の分析に基づく第四紀の植生史の解明
講師	加藤 元海	山・川・海の生き物を野外調査や論理的思考をととして解明
助教	比嘉 基紀	植物の分布と環境要因との関連性およびその変化の予測

理学部 理学科 地球科学コース

教授	石塚 英男	太古代大陸地殻の形成プロセスと進化に関する研究
教授	岩井 雅夫	新生代地球表層圏の生物・環境多様性の形成・進化に関する研究
教授	近藤 康生	二枚貝類を中心とした古生物の進化と絶滅
教授	吉倉 紳一	珪長質マグマ溜まりプロセスと大陸地殻の形成・発展過程の研究
准教授	中川 昌治	四国付加体のマンガン鉱床、資源鉱物の鉱物学鉱床学
准教授	奈良 正和	地球環境変動下の古環境ならびに古生態系の復元に関する研究
講師	川畑 博	海洋島玄武岩から読み解くマンタルの不均質化過程

理学部 応用理学科 情報科学コース

教授	岡本 竜	知識工学と学習科学
教授	豊永 昌彦	組合せ最適解の計算機算法(回路の配置・配線自動化)
教授	中込 照明	量子モノ論、情報多体系、オブジェクト指向、統計
教授	村岡 道明	電子情報機器やLSIの設計方法論の研究、データベースの研究
准教授	伊藤 宗彦	層型空間の開基、多角形の位相的性質
准教授	塩田 研一	暗号、計算代数、実験整数論、グラフ理論、符号理論
准教授	高田 直樹	高性能計算、GPGPU、計算電磁工学、電子ホログラフィ
准教授	本田 理恵	データマイニング、機械学習、画像認識、惑星情報学
准教授	森 雄一郎	ファジィ工学、バイオメトリクス認証、聴覚障害者支援技術
講師	三好 康夫	学習支援環境デザイン、Webインテリジェンス
助教	鈴木 一弘	離散数学とその応用(グラフ理論、離散幾何学、情報セキュリティ)

理学部 理学科/化学コース、応用理学科/応用化学コース

教授	藤山 亮治	反応速度および分子軌道計算による有機反応機構解析
教授	北條 正司	非水溶媒環境下における溶存化学種の同定と定量
教授	米村 俊昭	生体関連無機-有機ハイブリッド化合物の開発と作用機序の解明
教授	渡辺 茂	有機-無機複合ナノ粒子を利用した超高感度バイオセンサーの開発
准教授	上田 忠治	新規金属錯体の合成および酸化還元反応解析
准教授	金野 大助	有機反応化学および量子化学計算による分子構造・反応解析
助教	永野 高志	有機合成化学、有機金属化学、新規触媒的有機分子変換反応の開発
助教	波多野 慎悟	ブロック共重合体の合成と自己組織化を利用したナノ構造体作製
助教	松本 健司	天然物から着想した新規機能性金属錯体の開発

理学部 応用理学科 海洋生命・分子工学コース

教授	市川 善康	天然物化学、生物有機化学、糖化学に関する研究
教授	川村 和夫	海産動物ホヤを用いた加齢と生殖に関する研究
教授	鈴木 知彦	グアニジノキナーゼの構造、機能および進化
教授	藤原 滋樹	動物の胚発生、再生、無性生殖を制御する遺伝子の研究
准教授	中野 啓二	有機金属錯体合成、触媒反応の開発、機能性有機化合物の開発
准教授	湯浅 創	酵素の生化学と分子進化
講師	宇田 幸司	酵素の構造と機能の進化に関する研究
講師	砂長 毅	群体ホヤの幹細胞システムを制御する遺伝子の研究

理学部 応用理学科 災害科学コース

教授	佐々 浩司	レーダー観測と模擬実験による竜巻等突風の発生メカニズムの解明
教授	田部井 隆雄	GPSによる地殻変動計測、地殻変動のシミュレーション

# 教員紹介

教授	村上 英記	地震火山活動に関連する流体の研究、月内部構造の研究
教授	横山 俊治	斜面災害の野外科学、テーマ:四国山地は尾根から裂ける
准教授	橋本 善孝	沈み込みプレート境界地震発生帯物質科学・物質—流体相互作用
教授	松岡 裕美	浅海底活断層の研究、津波堆積物の研究
講師	村田 文絵	ハングラデシュに洪水をもたらす降水システムの研究
助教	藤内 智士	地質調査と数値解析を用いた断層周辺の応力場に関する研究

## 理学部 附属水熱化学実験所

教授	柳澤 和道	水熱反応による機能性材料の合成と廃棄物の処理・処分
准教授	梶芳 浩二	水熱法・電気化学法による機能性無機材料の合成と物性評価
講師	恩田 歩武	バイオマス資源から有用な有機化合物に変換する触媒化学

## 医学部 医学科 解剖学

教授	由利 和也	神経情報伝達系とステロイドホルモン
准教授	大迫 洋治	社会性発現における脳内メカニズムの解析
助教	内田 有希	ステロイドホルモンの体温調節への影響
助教	田中 健二郎	情動や社会性の発達メカニズム
助教	富田 江一	大脳皮質における視覚中枢の発達機序
助教	VADYM ZINCHUK	毛細胆管における輸送体の解析

## 医学部 医学科 病理学・病理学兼病理診断部

教授	降幡 睦夫	ヒト腫瘍におけるがん関連遺伝子発現異常と腫瘍動態
教授	李 康弘	発がんのメカニズムとその遺伝的修飾の研究
准教授	小山内 誠	古くて新しいビタミンの病理・ビタミンで癌を治療する?
准教授	倉林 睦	VHL遺伝子と糖代謝
助教	井口 みつこ	人体病理
助教	長沼 誠二	人体病理

## 医学部 医学科 生理学(統合生理学)

教授	柊 秀人	絆の神経生物学
助教	谷口 睦男	香り・フェロモンを感知する脳の仕組み
助教	村田 芳博	化学感覚情報に基づく記憶形成のメカニズム

## 医学部 医学科 生理学(循環制御学)

教授	佐藤 隆幸	心臓病の新しい治療法の開発
助教	有川 幹彦	アセチルコリンの心筋保護作用の分子機序に関する研究
助教	野口 達哉	動脈硬化性疾患に対する薬物的な血管新生の誘導

## 医学部 医学科 生化学

教授	本家 孝一	遺伝子を超えた生命の不思議—生体膜のダイナミズムとはたらき
准教授	戸田 勝巳	エストロゲンの生理作用の解析
助教	久下 英明	神経分化に関わる生理活性脂質、中枢性尿崩症の病因
助教	宮原 馨	精子形成における遺伝子の発現調節

## 医学部 医学科 遺伝子機能解析学

教授	麻生 悌二郎	遺伝子発現調節と生命現象(発生、分化、発癌等)との関連の解明
助教	安川 孝史	転写伸長因子の発生・分化における役割の解明、タンパク質修飾

## 医学部 医学科 薬理学

教授	齋藤 源頭	下部尿路・性殖器の薬理学
准教授	清水 孝洋	脳内大麻によるストレス反応制御機構の解明
助教	谷内 恵介	膵臓がんペプチドワクチンの開発

## 医学部 医学科 微生物学

教授	大畑 雅典	ウイルス感染による発がん、微生物と血液疾患の関係、血液腫瘍の病態解明
准教授	松崎 茂展	バクテリオファージを利用する細菌感染症制御法の開発
助教	内山 淳平	バクテリオファージを利用する細菌感染症制御法の開発
助教	村上 雅尚	腫瘍ウイルスによる発がんおよび癌転移抑制蛋白による制御メカニズムの解明

## 医学部 医学科 寄生虫学

准教授	是永 正敬	寄生虫病学、寄生虫感染防御機構の研究
-----	-------	--------------------

## 医学部 医学科 免疫学

教授	宇高 恵子	T細胞認識・抗腫瘍免疫
准教授	清水 健之	免疫反応の調節や成熟のメカニズムの解明
助教	小松 利広	T細胞の腫瘍内浸潤機構の解明
助教	深澤 太郎	制御性T細胞の機能解明と応用
特任助教	笠井 道之	MHC分子への抗原提示

## 医学部 医学科 法医学

教授	橋本 良明	外傷病理病態、原因性合併侵襲、法アルコール学、自殺予防研究
助教	中西 祥徳	法医学分子生物学(個人識別、物体検査、病理病態解析)
助教	西村 拡起	法中毒学、法医学防衛的研究、体組織中薬物濃度を指標とした病態解析に関する研究

助教	古宮 淳一	外傷病理病態、法アルコール学、法医学防衛的研究
----	-------	-------------------------

## 医学部 医学科 医療学(環境医学)

教授	菅沼 成文	産業医学と環境医学、とくに職業性呼吸器病
特任准教授	清澤 秀孔	蛋白質をコードしないRNAとエピジェネティクスに関する研究
講師	弘田 量二	食品機能(トクホ)、PM2.5の毒性、アレルギー予防研究
助教	栄徳 勝光	肺疾患とエピジェネティクスの関連性の研究

## 医学部 医学科 医療学(公衆衛生学)

教授	安田 誠史	高齢者の介護予防、日本人での生活習慣病予防
講師	宮野 伊知郎	健康長寿および高齢者の在宅生活維持に関する研究
助教	大浦 麻絵	生物統計学、介護負担に関連する要因

## 医学部 医学科 医療学(医療管理学)

教授	小林 道也	消化器癌に対する内視鏡外科手術の開発・教育と癌化学療法臨床試験
講師	岡本 健	大腸癌に対する腹腔鏡手術と化学療法

## 医学部 医学科 家庭医療学(寄附講座)

教授	阿波谷 敏英	地域における医学教育、プライマリ・ケアの医療経済的意義
准教授	松下 雅英	高齢者におけるインフルエンザワクチン接種後の効果に関する研究
特任助教	森尾 真明	健康促進における地域を基盤とする参加型アクションリサーチ

## 医学部 医学科 災害・救急医療学(寄附講座)

特任助教	長野 修	災害医学教育、救急医学教育、重症患者管理
------	------	----------------------

## 医学部 医学科 医学教育創造・推進室

教授	高田 淳	高齢者の心血管疾患に関する研究
----	------	-----------------

## 医学部 医学科 医学教育創造・推進室、体育

講師	野田 智洋	学習者が運動経過を把握する能力に関する研究
----	-------	-----------------------

## 医学部 医学科 消化器内科学・内科(消化器)

教授	西原 利治	肝癌抑止と生活習慣病研究
准教授	岩崎 信二	原発性胆汁性肝硬変・自己免疫性肝炎の病態と治療
講師	小野 正文	非アルコール性脂肪性肝疾患の疫学と治療
講師	高橋 昌也	肝癌の集約的治療
助教	小笠原 光成	非アルコール性脂肪性肝疾患の病態と診断
助教	耕崎 拓大	胆膵疾患の先進治療
助教	藤村 靖子	非アルコール性脂肪性肝疾患の分子遺伝学的研究
助教	廣瀬 享	肝硬変の診断と治療
助教	水田 洋	小腸疾患の先進医療
特任助教	麻植 啓輔	胆膵疾患の先進治療
特任助教	森澤 憲	大腸疾患の先進医療

## 医学部 医学科 内分泌代謝・腎臓内科学・内科(内分泌代謝・腎臓)

教授	寺田 典生	腎臓病などの生活習慣病の病態と再生医学を含めた新規治療法の研究
教授	藤本 新平	糖尿病の病態解明、新規治療に関する研究
准教授	西山 充	食欲調節機構の解明と新規肥満症治療法の研究
講師	堀野 太郎	腎臓病診断のための新規バイオマーカーの開発
講師	田口 崇文	ホルモン産生腫瘍に対する新規分子標的療法の確立
助教	井上 紘輔	造影剤腎症における尿中バイオマーカーの研究
助教	島村 芳子	慢性腎臓病における新規バイオマーカーの研究
助教	高田 浩史	糖尿病における合併症発症の機序の解明と新規治療の開発
助教	谷口 義典	難治性リウマチ性疾患の新規画像診断法と治療法の開発
助教	次田 誠	生活習慣病発症における分子機序の解明と新規治療の開発
助教	中山 修一	肥満患者における食欲調節の解明
助教	平野 世紀	糖尿病における膵β細胞不全および再生の機序の解明
特任助教	緒方 巧二	急性腎障害時における尿細管細胞の再生

## 医学部 医学科 血液・呼吸器内科学・内科(血液・呼吸器)

教授	横山 彰仁	呼吸器・アレルギー疾患の病態、診断および治療
准教授	窪田 哲也	肺癌の治療
講師	池添 隆之	新規白血病治療法の開発および凝固異常症の病態解明
講師	砥谷 和人	造血器腫瘍の治療
助教	大西 広志	閉塞性肺疾患および間質性肺炎の病態、診断および治療
助教	河瀬 成穂	呼吸器疾患の病態・治療
助教	酒井 瑞	呼吸器疾患の病態・治療
助教	竹内 麻子	新規白血病治療法の開発
助教	谷口 亜裕子	血液疾患の治療
助教	宮本 真太郎	呼吸器疾患の病態・

## 医学部 医学科 老年病・循環器・神経内科学・内科(老年病・循環器・神経)

教授	北岡 裕章	虚血性心疾患、心筋症、心不全
----	-------	----------------

教授	古谷 博和	認知症、難治性神経・筋疾患の研究と治療法の開発
講師	山崎 直仁	心臓病の身体所見(心音、心臓図)
助教	大崎 康史	パーキンソン病・類縁疾患
助教	久保 亨	心筋症・心不全の病態形成機構の究明と新たな治療法の開発
助教	谷岡 克敏	虚血性心疾患
助教	馬場 裕一	心筋症・心不全
助教	弘田 隆省	不整脈疾患
助教	森田 ゆかり	パーキンソン病・類縁疾患

## 医学部 医学科 小児思春期医学・小児科

教授	藤枝 幹也	免疫抑制状態と感染症
准教授	久川 浩章	小児癌に対する免疫療法、化学療法後の免疫能
講師	堂野 純孝	小児悪性疾患患者の免疫能について
講師	松下 憲司	合併症妊娠から出生した新生児の成長と発達
助教	石原 正行	小児腎疾患と腎再生について
助教	大石 拓	小児気管支喘息長期管理のアドヒアランス向上の為の研究
助教	菊地 広朗	GVHDの予防と治療について
助教	三浦 紀子	超低出生体重児の循環管理
助教	山本 雅樹	先天性心疾患および不整脈、心臓電気生理に関する研究

## 医学部 医学科 神経精神科学・精神科

教授	森信 繁	うつ病の病態解明と新規診断法の開発
准教授	下寺 信次	精神疾患の心理教育と国際共同研究、中高生のメンタルヘルス
講師	上村 直人	認知症と自動車運転
講師	藤田 博一	統合失調症、気分障害の心理教育
助教	赤松 正規	一般精神医学
助教	掛田 恭子	精神腫瘍学、緩和医療、リエゾン精神医学、医学教育
助教	宜保 直行	気分障害の心理教育
助教	永野 志歩	発達障害児への支援、女性心身医学
助教	藤 美佳子	一般精神医学
特任助教	須賀 楓介	うつ病の病態解明、高知県における自殺予防対策

## 医学部 医学科 皮膚科学・皮膚科

教授	佐野 栄紀	乾癬、皮膚癌、膠原病、アトピー性皮膚炎
講師	中島 喜美子	乾癬、アトピー性皮膚炎における免疫変調の研究
講師	中島 英貴	メルケル細胞癌のポリオーマウイルス
助教	大湖 健太郎	乾癬、掌蹠膿疱症におけるケモカインの動態
助教	志賀 建夫	乾癬における生物学的製剤の作用機序
助教	高石 樹朗	乾癬発症に関わる分子機構の解明、上皮細胞の生物学
助教	高田 智也	白斑発症機序の研究、乾癬性関節炎の画像評価、抗がん剤による皮膚障害
助教	山本 真有子	関節症性乾癬

## 医学部 医学科 放射線医学・放射線科

准教授	西岡 明人	頭頸部癌・食道癌・膵臓癌等の放射線治療
講師	久保田 敬	画像診断、超音波診断(乳腺、甲状腺)
助教	岩佐 瞳	画像診断一般、核医学
助教	田所 導子	心臓CT、心臓MRI
助教	山西 伴明	放射線増感剤併用動脈血栓療法の開発
特任助教	宮武 加苗	CT・MRI診断学

## 医学部 医学科 外科学(外科1)・外科(一)

教授	花崎 和弘	肝胆膵癌の新規治療、新しい人工臓腑の開発、肝再生医療研究、漢方の薬物動態研究
准教授	杉本 健樹	乳腺・内分泌、遺伝性乳癌・卵巣癌、蛍光法を視野にしたがん検出の応用、メタゲノム遠隔診断
講師	駄場中 研	乳癌、大腸、消化器一般外科
講師	並川 努	胃・小腸・大腸、消化器腹腔鏡手術、癌化学療法
助教	小河 真帆	乳腺、内分泌、遺伝性乳癌・卵巣癌
助教	沖 豊和	乳腺・内分泌、造影超音波の乳癌への応用
助教	北川 博之	食道、一般外科、食道癌の胸腔鏡手術
助教	坂本 浩一	小児外科、新生児外科
助教	志賀 舞	胃・小腸・大腸、消化器腹腔鏡手術、一般外科
特任助教	宗景 絵里	消化器一般・胃癌

## 医学部 医学科 外科学(外科2)・外科(二)

教授	渡橋 和政	心臓手術の死角を減らし安全性と確実性を高める技術の開発
准教授	西森 秀明	超高齢者に対する心臓血管外科治療
講師	久米 基彦	ヒト肺癌細胞株の生物学的特徴に基づく予後予測の試み
講師	栗山 元根	遊離皮弁における再灌流障害について
助教	岡崎 泰長	静脈治療、レーザー治療
助教	岡田 浩晋	肺癌の転移リンパ節におけるバイオマーカー検索
助教	近藤 庸夫	選択的冠動脈カニューレの開発
助教	福富 敬	Shaggy aortaに対する治療デバイスの開発に関する基礎的検討
助教	山本 正樹	確実性を追求する心臓手術のための術中検査システム開発
助教	宮崎 涼平	抗癌剤感受性試験を用いた分子標的薬の効果予測

特任助教 吉田 行貴 乳房再建に関する形態学的研究

## 医学部 医学科 麻酔科学・麻酔科

教授	横山 正尚	疼痛の機序、周術期管理、集中治療、局所麻酔薬
准教授	山下 幸一	周術期における呼吸・循環・代謝管理に関する研究
講師	河野 崇	周術期に関連した疼痛、代謝、循環生理学に関する研究
講師	北岡 智子	緩和ケアにおけるがん性疼痛に関する研究
助教	神元 裕子	術後痛の制御、慢性痛の心理社会的要因
助教	矢田部 智昭	周術期血糖管理における人工臓腑の有用性に関する研究

## 医学部 医学科 産科婦人科学・産科婦人科

准教授	前田 長正	子宮内膜症の発症メカニズムに関する研究
助教	氏原 悠介	子宮内膜症の基礎と臨床
助教	國見 祐輔	卵巣癌とmicro RNA
助教	谷口 佳代	子宮内膜症の発症メカニズムに関する研究
助教	都築 たまみ	子宮内膜症の基礎と臨床
助教	松島 幸生	子宮内膜症の基礎と臨床、周産期(胎児超音波診断)
助教	山田 りり子	卵巣癌の診断について

## 医学部 医学科 整形外科・整形外科

准教授	池内 昌彦	関節・スポーツ関連疾患の診療および関節痛の基礎研究
講師	川崎 元敬	骨転移や運動器疼痛性疾患に対するMRガイド下集束超音波治療法の開発
講師	木田 和伸	脊椎脊髄病、電気生理学的診断
講師	武政 龍一	脊椎脊髄病、骨粗鬆症、人工材料、脊柱変形、脊椎スポーツ障害、脊椎低侵襲手術
助教	公文 雅士	脊椎脊髄病の診断と治療
助教	谷脇 祥通	手外科、マイクロスループの臨床研究

## 医学部 医学科 眼科学・眼科

教授	福島 敦樹	眼炎症疾患発症機序の解析と新しい治療の開発
准教授	福田 憲	眼アレルギー疾患に対する新しい治療法の開発
講師	岸 茂	眼循環
助教	角 環	角膜結膜疾患、涙道疾患、眼表面再建手術
助教	多田 憲太郎	網膜硝子体疾患、網膜硝子体手術
助教	中平 麻美	緑内障、緑内障手術
助教	西内 貴史	網膜硝子体疾患、網膜硝子体手術
助教	松下 恵理子	網膜硝子体疾患、加齢黄斑変性の治療

## 医学部 医学科 耳鼻咽喉科学・耳鼻咽喉科

教授	兵頭 政光	発声および嚥下の機能解析と治療、嚥下機能の年齢変化
准教授	小林 泰輔	中耳・内耳疾患の病態解析、鼻副鼻腔疾患に対する内視鏡手術
講師	小森 正博	中耳の慢性炎症の病態解明、睡眠時呼吸障害
助教	青井 二郎	頭頸部癌に対する集学的治療
助教	池永 弘之	嗅覚障害および味覚障害の診断と治療
助教	弘瀬 かほり	唾液分泌機能の中樞調節機能
助教	松本 宗一	顔面神経麻痺におけるウイルス動態
特任助教	横島 悦子	中耳および鼻副鼻腔感染症

## 医学部 医学科 脳神経科学・脳神経外科

教授	上羽 哲也	目指せ!脳卒中撲滅!!
講師	政平 訓貴	目指せ!再生のための神経細胞分化決定機構の解析!
助教	中居 永一	ヒトGlioblastoma由来の腫瘍幹細胞の分析
助教	野中 大伸	脳卒中・微小血管吻合の手術
助教	東 洋一郎	目指せ!高次脳機能障害患者の救済
助教	福田 真紀	新規脳血管内手術の開発
助教	八幡 俊男	ゲノム可塑性から悪性幹細胞の弱点を探る

## 医学部 医学科 泌尿器科学・泌尿器科

教授	執印 太郎	VHL病癌抑制遺伝子の異常の解析
准教授	井上 啓史	癌浸潤、癌転移、血管新生における分子生物学
講師	鎌田 雅行	腎細胞癌におけるVHL遺伝子の機能解析
講師	辛島 尚	癌の浸潤、転移に関わる血管新生の役割と抗血管新生治療
助教	蘆田 真吾	悪性度を反映する前立腺癌新規腫瘍マーカーの機能解析
助教	佐竹 宏文	前立腺癌の発症に関わる原因ウイルスの探求
助教	田村 賢司	ホルモン不応性前立腺癌に対する分子標的候補遺伝子の同定と機能解析
助教	深田 聡	腎細胞癌における降圧薬ARBの腫瘍増殖作用の危険性の提唱
特任助教	福原 秀雄	泌尿器癌に対する新規治療法の開発

## 医学部 医学科 歯科口腔外科学・歯科口腔外科

教授	山本 哲也	口腔癌の集学的治療、口腔粘膜疾患の免疫学的検討
助教	北村 直也	口腔癌のセンチネルリンパ節同定法の開発
助教	久保 慶子	口腔カンジダ症の病原因子に関する研究
助教	笹部 衣里	口腔癌におけるHIF-1αの機能解析
助教	村田 智子	歯髄幹細胞を用いた再生医療

助教 吉澤 康昌 ナノアパタイトを用いた再生医療に関する研究

医学部 医学科 病態情報診断学
教授 杉浦 哲朗 循環器疾患における生理機能検査の意義
准教授 松村 敬久 臨床検査医学・心臓超音波検査
助教 上岡 樹生 ウイルス発症・結核感染の検査

医学部 附属病院 検査部
講師 竹内 啓晃 ヘリコバクター関連疾患の病態解析、耐性菌対策、百日咳疫学調査
助教 岡崎 瑞穂 長寿遺伝子SIRTの分子調節機構の研究

医学部 附属病院 手術部
講師 山崎 一郎 CGH等の分子生物学的手法を用いた前立腺癌研究
助教 宗景 匡哉 一般外科

医学部 附属病院 放射線部
講師 野上 宗伸 PETをはじめとする核医学的手法を用いた画像診断に関する研究
講師 濱田 典彦 カンコンキン CT 診断学
助教 田村 泰治 動脈性出血や悪性腫瘍に対するIVR(インターベンショナルラジオロジー)

医学部 附属病院 救急部
助教 阿部 秀宏 モニタリングによる周術期輸液管理についての検討

医学部 附属病院 輸血部
講師 今村 潤 輸血・細胞治療の研究と臨床応用

医学部 附属病院 集中治療部
講師 穴山 貴嗣 低侵襲肺切除術を支える新技術の開発、気管支インターベンション、抗癌剤感受性試験
助教 井本 明伸 周術期管理におけるアミノ酸の有用性に関する研究
助教 田村 貴彦 重症患者における栄養管理に関する研究

医学部 附属病院 周産母子センター
講師 池上 信夫 周産期(出生前診断)、更年期(ホルモン補充療法)
講師 泉谷 知明 子宮内膜症に関する研究～基礎から臨床まで～
助教 荒木 まり子 小児内分泌疾患、早産児の成長、内分泌機能について
助教 玉城 涉 重症仮死に対する心機能の経時的変化について

医学部 附属病院 リハビリテーション部
助教 永野 靖典 地域医療におけるリハビリテーション医学の研究

医学部 附属病院 総合診療部
教授 瀬尾 宏美 臨床技能トレーニングにおける教授法や評価法に関する研究
准教授 武内 世生 感染対策、臨床推論、HIV感染症、医学教育
講師 小松 直樹 総合診療、プライマリ・ケア／地域医療
助教 北村 聡子 総合診療、心肺蘇生教育、禁煙外来

医学部 附属病院 光学医療診療部
助教 岡本 宣人 上部消化管の先進医療
助教 東谷 芳史 下部消化管の診断と治療

医学部 附属病院 病理診断部
准教授 弘井 誠 造血器疾患の臨床病理学的研究
講師 戸井 慎 人体病理

医学部 附属病院 がん治療センター
特任助教 前田 広道 肝臓再生に関わる骨髄細胞の研究

医学部 附属病院 次世代医療創造センター
特任教授 清木 元治 がん細胞の増殖、浸潤、転移の分子メカニズムの解析とがん治療への応用
特任准教授 浅野 健人 臨床試験プロジェクトマネジメント、レギュラトリーサイエンス、データマネジメント
特任助教 熊谷 直子 医療統計学に関する方法論の評価と理論構築、データベース解析とその応用
特任助教 藤本 匡志 データマネジメント、医療情報管理

医学部 附属病院 薬剤部
教授 宮村 充彦 臨床薬理学、天然物化学

医学部 医学科 英語
講師 RIBBLE DANIEL BROWNSON 比較音楽学、尺八の国際化に関する研究、英語圏の語源学

医学部 医学科 分子細胞生物学
教授 富永 明 免疫担当細胞・サイトカインによる生体制御機構の解明、海洋生物資源による免疫応答の調節
准教授 久保田 賢 住民の健康づくりを支援する地域統合栄養ケアシステムの構築
准教授 田口 尚弘 ヒト高遺伝子解析、霊長類・住血吸虫・サンゴDNAマーカー作製

医学部 医学情報センター

教授 奥原 義保 医療情報システム、医療情報データの解析
准教授 畠山 豊 医療情報解析、医療画像処理に関する研究
講師 渡部 輝明 予防医学における医療情報データベースを利用した研究
助教 片岡 浩巳 医療情報データベースからの知識発見に関する研究
助教 中島 典昭 医療情報データベース解析、医療情報システムの研究

医学部 先端医療学推進センター

講師 沈 淵 組織幹細胞の分化増殖および幹細胞を用いた損傷組織の修復、腫瘍免疫
助教 飯山 達雄 医学評価学、トランスレーショナルリサーチ、レギュラトリーサイエンス、データマネジメント
助教 王 飛霏 脳性麻痺モデルに対する臍帯血幹細胞移植の治療メカニズム
助教 馬場 伸育 臍帯血幹細胞の分化増殖能と損傷組織修復のメカニズムの解析
助教 山下 竜幸 組織幹細胞の分化増殖法、保存法の開発、および幹細胞を用いた損傷組織の修復
特任助教 太田 信哉 分子細胞生物学とプロテオミクスによる分裂期染色体構造の理解
特任助教 大出 佳寿 慢性腎臓病における新規バイオマーカーと再生医療の研究
特任助教 山口 亜利沙 細胞膜マイクロドメインの形成機構に関する研究
特任助教 ABDERRAHIM NAJI 癌を引き起す組織の解明

医学部 看護学科 基礎看護学

教授 池内 和代 シングルマザーの生きる力に関する研究
教授 栗原 幸男 保健医療データの解析、安心・安全な医療情報利用のしくみの研究
教授 坂本 雅代 へき地の看護に関する研究、看護学教育に関する研究
准教授 森木 妙子 災害看護や看護のマネジメントに関する研究
講師 野村 晴香 便秘緩和の看護ケアおよび看護技術教育に関する研究
助教 岡田 久子 知的障がい児・者の女子の性発達支援に関する研究

医学部 看護学科 臨床看護学

教授 高橋 永子 慢性疾患を持つ患者のセルフマネジメント・自己開示に関する研究
教授 溝渕 俊二 自然免疫(身体の抵抗力)を活性化化する食品の研究・開発
准教授 大井 美紀 精神障がいをもつ人のリカバリー(自分の人生を歩むこと)支援に関する研究
准教授 山脇 京子 慢性疾患患者のQOL
特任准教授 石上 悦子 子供虐待の予防に関する研究、助産師の行う乳がん予防に関する研究
講師 青木 早苗 がん看護・緩和ケア・ターミナルケアに関する研究
講師 小松 輝子 助産師学生の感性に関する研究、女性の骨盤に関する研究
講師 高橋 美美 大学生の精神看護技術修得について、対人援助技術(治療的コミュニケーション)に関する研究
講師 濱田 佳代子 妊娠、出産、育児の支援に関する研究
講師 吉村 澄佳 子どもの健康支援に関する研究
助教 寺下 憲一郎 がん患者・高齢者の癒しにつながる看護ケアに関する研究
助教 村上 歩 看護学生の親性準備性に関する研究
特任助教 渡部 嘉哉 天然物由来成分の機能性に関する免疫学的解析

医学部 看護学科 地域看護学

教授 奥谷 文乃 においや味の情報は脳でどのように処理されているか
教授 片岡 万里 高齢者のQOLに関する研究
講師 齋藤 美和 へき地に関する研究、人材育成に関する研究
講師 杉本 加代 高齢者が地域で生活継続するための保健に関する研究
講師 藤田 晶子 病院から在宅への移行期の看護
助教 林 昌子 脳卒中高齢者の在宅におけるケアに関する研究

農学部 農学科 暖地農学コース

教授 尾形 凡生 果樹の成長制御機構の解明とケミカルコントロール技術の開発
教授 島崎 一彦 花卉の生長と発育の制御・植物の器官研究・県特産花卉の生産研究
教授 村井 正之 稲遺伝、良食味、米粉パン用極多収晩生品種、老人・病院用ご飯、鑑賞用稲
准教授 西村 安代 野菜の養液栽培・生理障害・園芸施設的光環境・環境保全型農業
准教授 松川 和嗣 高知県独特の和牛である土佐あかうしの飼養、増頭、保存
准教授 宮内 樹代史 省エネルギー温室の環境計測・評価、農産物生産・流通システムの最適化
准教授 宮崎 彰 水稲の高温登熟性・水分生理に関する研究、熱帯有用植物の栽培生理
准教授 安武 大輔 作物の環境応答の評価、温室の環境制御
講師 濱田 和俊 果樹の開花・果実発育の制御およびメカニズムの解明
講師 松島 貴則 労働力問題と農業サービス、土地利用型農業の研究
講師 山根 信三 スイカの肉質、水耕栽培によるトマト、果菜の研究

農学部 農学科 海洋生物生産学コース

教授 足立 真佐雄 赤潮有毒プランクトンの研究、プランクトンによるバイオ燃料生産
教授 大嶋 俊一郎 魚病原因微生物の診断・感染機構・防除法、養殖魚の生産に関する研究
教授 關 伸吾 魚介類の品種改良、野生集団の遺伝的保全に関する研究
教授 森岡 克司 養殖魚の品質、鮮度保持に関する研究、未利用資源の有効利用
准教授 足立 亨介 海産無脊椎動物と深海動物を用いたバイオテクノロジー
准教授 中村 洋平 魚類生息場の機能解明、海産魚類の生態
准教授 深田 陽久 魚類の成長に関する内分泌学的研究、養魚飼料の評価
准教授 山口 晴生 海洋植物プランクトンに関する研究、内湾赤潮の解明
講師 今城 雅之 魚類病原微生物(ウイルスと細菌)に関する研究

## 農学部 農学科 食料科学コース

教授	芦内 誠	バイオベース新素材の開発と応用、環境先進型の微生物分子育種技術の確立
*教授	受田 浩之	食品成分の分析技術の開発、健康維持成分の検索
教授	康 峪梅	土壌・水の有害金属汚染、草原退化の機構解明と対策
准教授	上野 大勢	高等植物の栄養生理に関する研究
准教授	柏木 丈広	食品中の生体調節物質の探求、食品の香り成分の有効利用
准教授	島村 智子	食品成分に関する研究、食品の機能性の解明
准教授	村松 久司	産業用酵素の探求・機能解析・応用法の開発
講師	若松 泰介	新規有用たんぱく質の探求、機能解析・構造解析、そして応用

## 農学部 農学科 生命化学コース

教授	岩崎 貢三	土壌—植物生態系、植物の物質吸収・蓄積機構、環境保全型農業
教授	枝重 圭祐	動物の生殖細胞の凍結保存技術の開発と耐凍性に関する遺伝子の探求
教授	葛西 孫三郎	哺乳動物の生殖細胞・初期胚の凍結保存法開発
教授	木場 章範	植物の発病・免疫機構の解明～病気に罹らない植物をつくらう！～
教授	金 哲史	昆虫行動を制御する化学因子・植物の生理活性物質に関する研究
教授	永田 信治	食と健康と環境に役立つ有用微生物探求と産業利用
教授	曳地 康史	植物細菌・ウイルスと植物の相互作用の解明、植物病害防除技術開発

## 農学部 農学科 自然環境学コース

教授	荒川 良	天敵昆虫を利用した農林・衛生害虫の防除の研究、害虫管理技術開発
教授	石川 勝美	パン適性小麦、天然資源・麦飯石の高度利用、水の構造化、植物工場
教授	河野 俊夫	流通食品のすり替え偽装防止技術の開発、食品流通資材のリサイクル技術の開発
教授	笹原 克夫	降雨による斜面崩壊発生メカニズム、深層崩壊の発生予測
准教授	伊藤 桂	ハダニ・昆虫類を用いた行動生態学・進化的生態学
准教授	手林 慎一	生理活性物質化学、園芸作物の耐虫性、貯蔵害虫の化学生態学
准教授	福田 達哉	マメ科植物の蝶形花を用いた相対性に関する進化発生学的研究
准教授	森 牧人	広域農林生態系の気象環境学的評価

## 農学部 農学科 流域環境工学コース

教授	原 忠	液状化や斜面崩壊などの地盤災害と地震防災に関する工学的研究
教授	藤原 拓	地球温暖化を考慮した流域水環境管理に関する研究
教授	松本 伸介	農業施設の構造設計、土木材料の新規開発
准教授	齋 幸治	地域水環境悪化の原因メカニズム解明と改善
准教授	佐藤 周之	流域水環境管理および流域社会基盤管理に向けた総合的な工学的研究
准教授	佐藤 泰一郎	中山間地域の水・土・里環境保全、環境型傾斜地農業の推進

## 農学部 農学科 森林科学コース

教授	大谷 慶人	きのこの生態と栽培、樹木精油の機能、木材・非木材パルプ・紙
教授	後藤 純一	林業機械の開発、林業作業計画のための森林空間情報システムの開発
教授	塚本 次郎	環境・生物多様性保全に配慮した森林管理技術、落葉分解系の空間分布・パターン
准教授	市浦 英明	機能紙に関する研究、バイオマス産業廃棄物の再資源化に関する研究
准教授	鈴木 保志	林道・架線、森林作業システム、木質バイオマスの収穫と利用
准教授	古川 泰	地方自治体の林業政策、林業労働問題、南アジア林業
講師	野口 昌宏	森林資源の有効利用、木造ビルの開発、快適木造住宅
講師	松本 美香	中山間地域における森林管理、林業林産業構造、集落構造

## 農学部 農学科 国際支援学コース

*教授	市川 昌広	人や村落の土地利用・森林利用と暮らし、日本の中山間地域問題
教授	大谷 和弘	生物活性天然化合物の探求と地域保健への応用
教授	田中 壮太	熱帯土壌学、土壌生態学、持続可能な農業
教授	益本 俊郎	魚が必要とする栄養素の動きを調べ、餌の開発に利用する研究
教授	山本 由徳	熱帯有用植物の生理・生態学的特性と利用
准教授	池島 耕	沿岸の環境および生物資源の保全と持続的な利用に関する研究
准教授	市栄 智明	樹木の成長や繁殖、環境ストレス応答に関する研究
准教授	松岡 真如	リモートセンシングデータを用いた陸域(土地被覆や植生)の解析

## 総合教育センター

教授	塩崎 俊彦	17・18世紀日本文学の注釈的研究、文学受容と社会変動に関する研究
*教授	玉里 恵美子	中山間地域における集落の変容と再生および地域福祉に関する研究
准教授	大塚 智子	入試data解析、学力・適性など評価方法の研究
*准教授	大槻 知史	持続的な地域運営の支援(防災、地域活性、遺産保全)、防災教育
准教授	立川 明	科学教育における能動学習の効果、高等教育における能動学習の効果
准教授	永野 拓矢	高校と大学の教育接続(進学指導、評価制度等)に関する研究
*講師	俣野 秀典	組織における知の創造、大学教職員の能力開発、ファンシテーション
特任准教授	松本 秀彦	特別支援教育、注意力の弱さのある人への支援、学習困難児者の学習支援
*特任講師	今城 逸雄	地域と協働した教育開発の研究、商店街活性化に関する研究
特任助教	竹岡 篤永	学び・コミュニケーションの過程(eラーニング、デザインなど)

## 総合教育センター(学芸員養成課程担当)

特任准教授	松島 朝秀	文化財における科学的手法を用いた調査・保存環境の研究
-------	-------	----------------------------

## 総合教育センター(土佐さきがけプログラム担当)

特任准教授	前西 繁成	非営利組織のマネジメント、企業の社会的責任
特任講師	柴田 雄介	マルチメディアを活用した英語音声教育の研究
特任講師	KERN JENNIE YGUICO	英語教育、国際コミュニケーション、ジェンダー研究

## 共通教育実施機構(人文学部担当)

*教授	辻田 宏	スポーツ法、スポーツ政策論、地域スポーツ振興論、スポーツサービスマニエリ
-----	------	--------------------------------------

## 総合研究センター(理・農学部担当)

教授	上田 拓史	黒潮流域圏の動物プランクトンの分布、生産、分類
教授	木下 泉	魚類の初期生活史および個体発生に関する研究
准教授	平岡 雅規	海藻類の生殖、生態、増養殖に関する研究

## 総合研究センター(理学部担当)

准教授	斉藤 知己	海洋生物(甲殻類、ウミガメ等)の生態、繁殖、分類に関する研究
-----	-------	--------------------------------

## 総合研究センター(医学部担当)

准教授	坂本 修士	非翻訳RNAの産生変動が及ぼす癌化や筋成熟に関する研究
准教授	津田 雅之	発生工学的手法を用いたマウス生殖細胞確立機構の解明
助教	都留 英美	自然免疫系細胞を中心とした生体防衛システムの解析

## 総合研究センター(農学部担当)

教授	大西 浩平	病原細菌の病原性関連遺伝子の発現調節機構の解明
准教授	加藤 伸一郎	遺伝子工学的手法による含硫化合物生合成系の機能解析

## 総合研究センター

特任教授	臼井 朗	海底鉱物資源の形成過程、形成条件の研究
特任教授	岡村 眞	津波堆積物および海底活断層から地震の長期予測を行う
特任教授	小槻 日吉三	有機合成化学、高圧有機化学、天然物合成化学、不斉合成化学

## 地域連携推進センター(人文学部担当)

准教授	石塚 悟史	産学官民連携、地域再生事業、科学技術振興、環境保全学
-----	-------	----------------------------

## 地域連携推進センター(教育学部担当)

特任教授	野地 照樹	サッカーのコーチングと高知大サッカー部の指導研究、サッカーの地域連携推進
------	-------	--------------------------------------

## 国際連携推進センター(人文学部担当)

助教	GARCIA DEL SAZ EVA	国際交流・協力・支援、海外との産学官民連携の推進
----	--------------------	--------------------------

## 国際連携推進センター(教育学部担当)

准教授	大塚 薫	日本語教授法、メディア教育研究、日本語教育教材開発研究
准教授	神崎 道太郎	読解と論述・作文との教授法における関連付け
准教授	林 翠芳	日本語の語彙に関する研究、日中対照研究

## 総合情報センター(理学部担当)

准教授	佐々木 正人	状況に適応したアプリケーションに関する研究
助教	石黒 克也	量子色力学における真空構造の解明、格子上の量子色力学
助教	斎藤 卓也	格子量子色力学理論を用いたハドロン物理の研究

## 海洋コア総合研究センター(理学部担当)

教授	小玉 一人	古地磁気学・岩石磁気学、および磁性測定全般
教授	津田 正史	海洋微細藻からの有用物質の探求と開発、およびDNP-NMR研究
教授	村山 雅史	同位体を用いた物質循環の解明と過去の海洋環境復元
教授	安田 尚登	メタンハイドレート生成やガス生産時における海底地層に及ぼす影響評価
准教授	池原 実	新生代における地球環境システム変動の解明
准教授	岡村 慶	海底鉱床探査のための現場型化学センサ開発
助教	山本 裕二	地質試料の残留磁気記録に基づく古地球磁場変動の解明

## 海洋コア総合研究センター

特任教授	徳山 英一	海底鉱物・エネルギー資源の形成プロセスに関する研究
------	-------	---------------------------

## 保健管理センター

教授	岩崎 泰正	ストレスの分子機構解明と肥満・生活習慣病治療への応用
准教授	渋谷 恵子	医学部学生、医療従事者のメンタルヘルス支援体制の構築
講師	北添 紀子	児童期・青年期の精神保健に関する研究

## 国立大学法人では日本初! 一元化された文理統合型の大学院

高知大学では、平成20年度から日本の国立大学法人では初となる一元化された文理統合型の大学院「総合人間自然科学研究科」を開設しました。本研究科の修士課程では、人文社会科学、教育学、理学、医科学、看護学、農学という6つの学問領域を包括しており、新しい履修システムや教育プログラムによって領域横断型の学びを効果的に実現します。博士課程では、応用自然科学、医学、黒潮圏総合科学の各専攻の専門性を保ちつつ、これまでは他研究科の科目であった近接分野の科目を履修することができます。これにより、本研究科に進学した学生はそれぞれの基礎的学問分野の専門性を深めると同時に、幅広い素養や研究視点を修得することができます。

### 履修の特徴

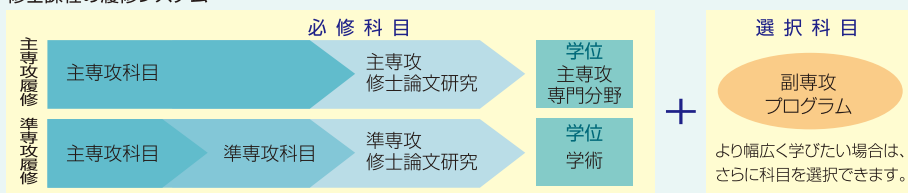
#### 修士課程

目的・目標に応じて、異分野科目も無理なく履修  
所属する専攻の専門科目を学ぶ「主専攻履修」と、専門科目に異分野科目を取り入れた「準専攻履修」の2つの履修システムから履修方法を選択できます。また、高知大学のフィールド特性を活かした横断的科目群「副専攻プログラム」を、目的に応じて履修できます。

#### 博士課程

他分野・近接分野を学び、より高度な専門性を獲得  
各専攻における専門性を深める一方で、他分野知識の修得を目的とする共通科目の導入や、近接分野の履修を可能にします。

#### 修士課程の履修システム



#### <準専攻履修について>

当該専攻分野に関連する分野の基礎的素養を涵養する従来型教育課程の他に、平成20年度の大学院改組により大学院が一元化したことを活用した領域横断型の教育を行う「準専攻」が開始され、現在では以下の3つの準専攻履修制度が設けられています。

#### ■黒潮圏総合科学準専攻

黒潮流域圏のフィールドを中心に、異分野履修により培った領域横断的かつ文理統合的な幅広い課題探求能力を身につけることを目的としています。

#### ■植物医学準専攻

植物科学の広汎な知識を基礎として、植物の健全な生育と利用に関する最先端の研究能力を領域横断的に身につけることを目的としています。

#### ■海洋鉱物資源科学準専攻

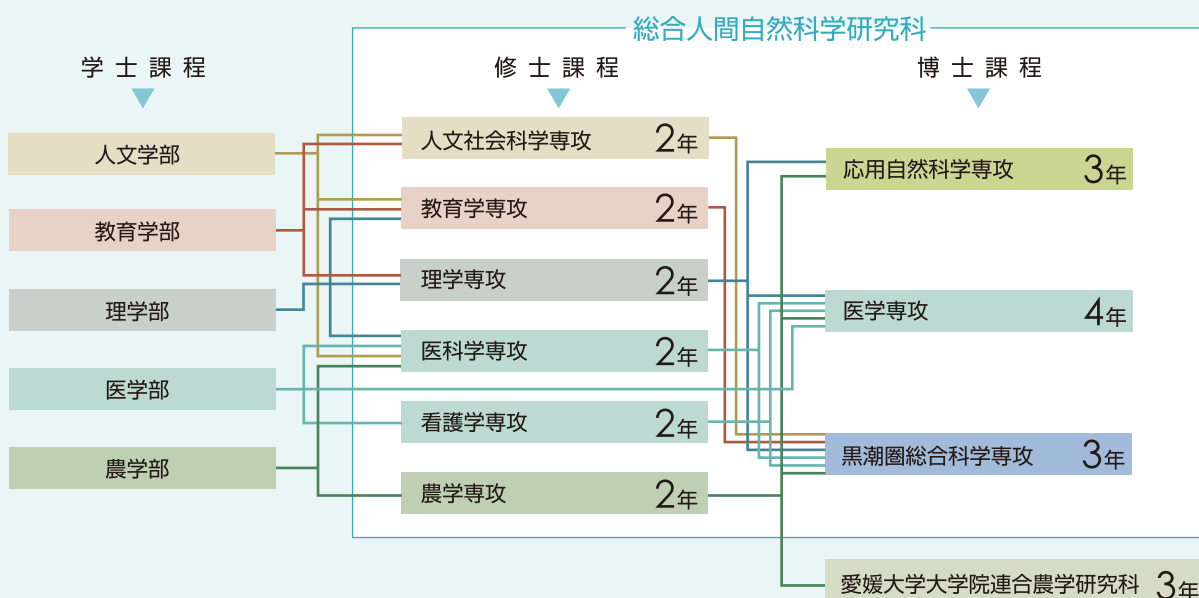
海洋鉱物資源(レアメタル)をキーワードとした最先端の研究能力を領域横断的に身につけることを目的としています。

#### <副専攻プログラムについて>

特定のねらいのもとに用意された4つのレディーメイド副専攻プログラムと、個々の目的に応じて構成し認定を受けるオーダーメイド副専攻プログラムがあります。

■レディーメイド副専攻プログラム例  
「環境科学」「医療福祉学」「高(知・智・地)の科学(ISK)」「現代教育学」

### 進学イメージ図



## 修士課程

### 人文社会科学専攻

グローバル化の進展とそれに伴って進行する日本社会の構造転換を背景として、経済・社会・文化・生活のすべての領域において、地域社会の主体的発展を保障する高度な専門知識と柔軟な判断力を持った人材が必要とされています。本専攻は、地域社会の要請に応え、人文科学・社会科学諸分野の学際的結合を基盤に、多彩で柔軟な教育プログラムを創出し、変貌する地域社会の発展に貢献し得る人材を養成します。

- 人文科学研究コース
  - グローバル社会研究コース
  - 社会科学研究コース
- } 定員10名

### 教育学専攻

社会構造の急激な変化は学校教育現場に様々な深刻な問題を引き起こしており、教員にはそれらの複雑な問題に対応するための資質がより深く求められています。本専攻では、学校教育現場の抱える課題を正確に判断し、それに適切に対応できる実践力のある教員、また人間発達や教科内容に関わる深い学問的・実践的な知識を有しながら、それを教育現場において応用・発展できる創造的な資質を持った教員を養成します。

- 学校教育コース
  - 特別支援教育コース
  - 授業実践コース
- } 定員30名

### 理学専攻

学術研究の高度化、多様化、情報化、グローバル化やIT革命に代表される社会の急激な変化に柔軟に対応できる大学院教育を行います。理学コースでは、数学、物理科学、生物科学、地球科学の諸分野、更に学内・外の研究施設や機関と連携し、多様で創造的な教育・研究を推進し、新しい先端的な基礎理学を創り出すことのできる人材を養成します。応用理学コースでは、情報科学、応用化学、海洋生命・分子工学、災害科学の諸分野において、科学・技術における国際的な激しい競争の中で基礎研究から応用研究までを見据え、高度な課題探求能力を発揮できる人材を養成します。

- 理学コース
  - 応用理学コース
- } 定員75名

### 医科学専攻

近年、先端医療の進歩とともに医学・医療を取り巻く社会環境は大きく変革しています。この状況に的確に対応するために、自然科学のみならず人文科学と医学の調和を目指した医科学の発展・充実が望まれます。本専攻では、自然科学系学部や人文科学系学部を含む幅広い学部修了者を医科学へと導き、高度に専門化した知識と技術を身に付けた医科学分野の研究者、さらには社会的諸問題を医科学を基礎として包括的に捉え得る人材を育成します。

- 医科学コース
  - 情報医科学コース
  - 環境保健学コース
- } 定員15名

### 看護学専攻

健康で文化的な生活を送るという国民の権利を支援することが医療者には求められています。看護学専攻においては、高知大学の教育理念に鑑み「現場主義」を重視し、社会の一員として求められるソーシャルスキルを基盤とした、課題解決能力を身に付けた人間力豊かな人材を養成します。さらに、医療の場を含む日常生活の場で人間にとって最も重要な健康の増進を目指しつつ、生活者の視点で包括的な支援を行う高度に専門的な知識・技能を身に付けた論理的・創造的な看護の実践者・看護学教育者・看護管理者を養成します。

- 看護学コース 定員12名

### 農学専攻

地域社会及び国際社会の健全な発展に貢献するために「安全・安心な食料の確保」「生物資源の高次有効利用」「地域・地球環境の保全と修復」に関する教育・研究を展開することは、農・林・水産学分野の使命です。本専攻では、多様化した社会の要請や研究分野へ柔軟に対応できる教育システムにより、個々の学生の資質や進路に応じた個別の履修計画に基づく教育を行って、高度な知識と技術を併せ持つ人材を養成します。

- 農学コース 定員59名

## 博士課程

### 応用自然科学専攻

海洋高知の持つ自然環境の特性を活かして、自然科学の諸分野を海洋・資源・環境に特化した「海洋自然科学」と物質・情報・量子に特化した「物質機能科学」のもとに結集し、基礎理学を包含した応用自然科学の幅広い分野で、高度な専門性を培います。また、文理統合の教育理念に基づいた大学院教育を行うことで、健全な自然観、地球観、人間観を備え、自ら課題を探索し解決できる高度専門職業人を養成します。

- 海洋自然科学コース
  - 物質機能科学コース
- } 定員6名

### 医学専攻

医学専攻では、高い倫理観と豊かな人間性の涵養ならびに高度な医学的知識と技能の習得を教育理念とし、多様な社会的ニーズに対する柔軟な対応が可能で、底辺が広くレベルの高い医学研究及び医療の達成を目指し、地域特性に根差した医学・医療の推進に寄与できる人材、国際的に通用する優れた医学研究者、リサーチマインドを持つ優れた臨床専門医(良医)を養成します。

- 生命科学コース
  - 医療学コース
  - 情報医療学コース
  - 小児神経精神医学コース
- } 定員30名

### 黒潮圏総合科学専攻

人口問題、食料問題、資源の枯渇や環境変化など人類が直面している諸問題の多くは我々にとって未曾有の経験であり、その解決には従来型の学問だけでなく、分野を横断して物事を把握するなど新しいアプローチが必要であることが世界的に認識されています。そこで、文理融合の新しい視点でこうした問題の解決に取り組み、それを通して資源の持続的有効活用と循環型社会の発展による自然と人間の共存・共生系の確立を強く意識した人材を養成します。

- 共生科学コース
  - 人間科学コース
- } 定員6名

## 愛媛大学大学院連合農学研究科 博士課程(後期3年)

連合農学研究科は、愛媛大学、香川大学及び高知大学によって構成され、各大学の連携により、個々の大学では期待し難い広い分野にわたり、水準の高い教育研究を行うことを目的として設置された博士課程大学院(3年)です。生物資源の生産と利用に関する諸科学について高度の専門的能力と豊かな学識、広い視野を持った研究者を養成しており、国内の大学院修士課程修了者はいうまでもなく、外国人にも門戸を開いています。

# 海外へ行って学ぶ

海外に出て行き学ぶことは、語学力や研究力の研鑽はもちろん、異文化理解、国際的視野の獲得、日本文化の発信など様々な意義を持っています。

お気軽に  
相談してくださいね!



## 1. 留学

学生時代の留学は、一生の思い出となり、また大きな自信にもつながります。海外留学に少しでも興味があるという方は、ぜひ一度、国際交流課のスタッフにご相談ください。夢を現実にするチャンスと一緒に掴みましょう!

### 海外留学説明会

毎年7月には、協定校\*への交換留学を希望している学生に対し、手続きや奨学金などについての説明会を開催しています。先輩学生の留学体験談や海外経験豊富な先生からの危機管理についての講義のほか、個別相談も行っています。



\*本学と協定を結んでいる海外の大学。P65に一覧を掲載。

#### ■ 留学生の派遣実績

6か月以上の派遣	2011年度	2012年度	2013年度	6か月未満の派遣 (研修を含む)	2011年度	2012年度	2013年度
公費留学	2名	2名	5名	派遣数	128名	133名	105名
私費留学	12名	10名	9名				

派遣先国 オーストラリア、中国、カナダ、タイ、韓国、フィリピン、スウェーデンなど

## 2. 海外実習

留学以外にも、異文化の中に身を置き、世界の実情に触れる機会がたくさんあります。

高知大学では、学部ごとに様々なテーマの海外実習をカリキュラムに組み込み、グローバルな学びを実現しています。



## ▼ 海外留学について

### 留学の形態

#### 留学扱い\*

外国の大学で修得した単位が高知大学の単位として認定され、留学期間中の高知大学の授業料は免除されません。

\*留学先の大学で修得した授業の単位は、協定校への留学のみ、高知大学で修得した授業科目として認定しています。

#### 休学扱い

外国の大学で修得した単位が高知大学の単位として認定されず、留学期間中の高知大学の授業料は免除されません。

### 留学費用

公費留学、私費留学、  
民間団体の奨学金による留学

私費留学、  
民間団体の奨学金による留学

### 留学の種類

#### 短期留学

- 期間: おおむね半年~1年
- 留学先: 学生交流に関する協定などを結んだ大学
- 国が奨学金を支給

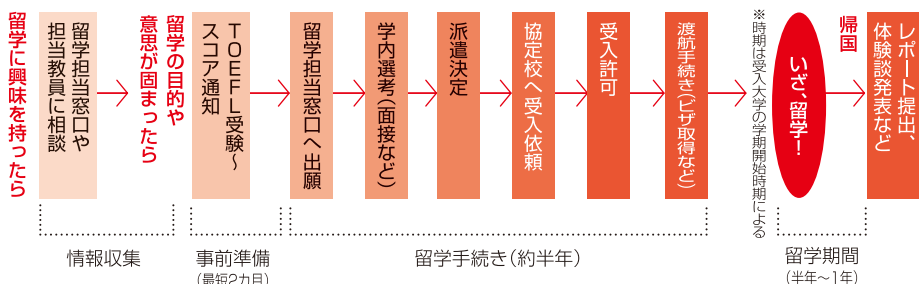
#### その他

外国政府または政府機関などの奨学金によるもの

#### 留学する際の条件

各大学によって、受け入れる学生に対する条件はまちまちです。特に外国語の能力については、留学を乗り切るものにするために、事前に外国語の能力を一定の水準にまで高めておくなど、十分な準備が必要です。

### ▶ 海外留学の流れ(協定校への留学) 留学の種類や期間、行き先によって要件や手続きの流れは異なります。



### TOEFL

留学生のための英語能力をはかるテストです。現在、世界各国の多くの大学がこの試験を受けることを義務づけています。受験日については、ETS(Educational Testing Service)または、CIEE(国際教育交換協議会)のホームページで確認してください。



## 留学における学び — 留学体験 —



クイーンズランド大学のキャンパスにて



語学学校の仲間と

ブリスベンの卓球地区大会で入賞

### オーストラリアに留学して

人文学部  
国際社会コミュニケーション学科4年  
星田 新一郎(長崎県立長崎南高校出身)

私は、2013年2月にオーストラリアのブリスベンへ向けて発ちました。前半の半年間は、語学学校でIELTSという英語能力を証明する試験の勉強に励み、後半の半年間は高知大学と提携している、クイーンズランド大学で勉強をしました。勉強ばかりの1年間でしたが、自分の英語力の向上はもちろんのこと、世界的視野を身につけることができたことは大きな収穫です。

語学学校では、IELTSの勉強がメインでしたが、それ以外にも、週1回の大学の先生によるレクチャー、ディスカッションやプレゼンテーションなどがありました。私が通った語学学校では、教室内で母語を使うことが固く禁じられていたため、日本人同士でも英語で話さなければなりません。そのため、私の英語力はたった半年でも大きく成長したと思います。

大学では、4つのコースを履修しました。英語圏の多くの大学は、レクチャーだけでなく、チュートリアルと呼ばれるものが存在します。チュートリアルでは、レクチャーで学んだことをもとに、複数のトピックを抽出し、それらについての学びを深めていきます。また、プレゼンテーションやディスカッションなど学生主体の学習を行います。クイーンズランド大学にはたくさんのクラブやサークルなどがありました。私も日本語サークルに参加して現地の学生に日本語を教えました。クイーンズランド大学での学びは、私の人生の中で大きな財産です。

私は、留学をするメリットは大きく分けて2つあると考えます。1つ目は、慣れない環境で、もがき苦しみながらも、自分自身を成長させてくれる貴重な材料になることです。知らない土地に行くと、言語、風習、文化、価値観などの様々な“違い”に遭遇します。大学生になると、多くの人が一人暮らしや寮生活を経験すると思います。それも“違い”を経験する1つですが、やはり国を離れるとなるとスケールが違います。海を越えた先にある土地には、日本とは大きく異なったものがたくさんあります。それらを自分の中に吸収することで、より豊かで寛容な心を養うことができます。もう1つのメリットは、日本という国、また日本人を客観的に見ることができるところです。日本には素晴らしい伝統や文化がたくさんあります。それらを創り、守ってきた日本人の国民性は世界に誇れるものです。このことを知るとは、日本人として生きる上でとても重要だと思えます。自分が日本人としてどうあるべきか、何を誇りにして生きていくか、そのヒントが留学には隠されています。

最後に、留学というものは、無限の可能性を秘めています。ですので、一人ひとりその経験による捉え方、感じ方は違うと思います。大事なものは、“違い”を経験すること。そしてそこから何かを学ぶこと。より多くの学生がまだ見たことのない空へ飛び立ってくれることを期待しています。

### クイーンズランド大学

- 学部数 人文学部、商経法学部、工学/建築/情報工学部、健康科学部、天然自然/農学/獣医学部、理学部、社会/行動科学部の7学部がある。また、分子生命科学研究所、脳科学研究所など6つの研究機関も有する。
- 学内設備 14にも及ぶ図書館、10か所の学生寮があり、就学環境は整っている。その他、ヘルスセンター、農業科学農園、物理研究ステーション等が備わっている。
- 敷地面積 メインキャンパスとなるセントルシアは114ヘクタール(東京ドーム24個分)

## 海外実習における学び

### 人文学部

国際社会コミュニケーション学科 専門科目

### 国際社会実習(外国語実習)



小学校での日本語授業

この実習は、海外の大学等で外国語を学び、語学力を向上させ、現地で国際交流を体験する機会を得ることを目的としています。2012年2月～3月にはタスマニア大学で行われました。学生は留学生センターで4週間の英語コースを受講したほか、大学主催のツアーやアジア言語学科に所属する学生との交流プログラムに参加したり、近隣の小学校での日本語授業のアシスタントをしたりしました。学生が自分自身や日本のこと、異文化のことを見つめる機会になります。

### 医学部

医学科 専門科目

### ハワイ大学医学部臨床実習



身体検診を学ぶ

ハワイ大学やKuakini Medical Center(ハワイ大学の臨床実習病院)で4週間の臨床実習を経験します。現地医師の指導のもと、はじめに米国式身体診察の研修を受け、その後、17日間の内科病棟実習、次に8日間の家庭医療実習プログラムに参加します。病棟実習では、数多くの症例を経験するとともに、日常的に組み込まれている教育講義を通じて学びます。家庭医療実習では外来診療に加え往診にも同行するなど、異文化が混在するハワイで、医療チームの一員として実践的教育を受けることができる充実したプログラムです。

### 農学部

農学科 国際支援学コース 専門科目

### 海外フィールドサイエンス実習



ワットアルンの急階段

この実習では、高知大学と交流協定を結んでいる東南アジアの大学を訪問し、農林水産業に関する実習を行いながら、その国の環境や文化についての知見を深めます。実習には訪問国の学生も参加しますので、学生同士の交流を深めることもできます。平成24年度は、国際支援学コース2年生18名がタイを訪問し、カセサート大学とコンケン大学の協力のもと実習を行いました。



キャンピーウォーク

# 学内で世界に触れる

## 3. 授業や研究活動

高知大学では、アジア・太平洋地域をはじめ世界の国々と様々な分野で研究協力・研究交流を推進しています。海外からの留学生や研究者も多く、在学学生は大学にいながら世界に触れることができます。また、授業やキャンパスライフなど日常的に留学生と日本人学生が触れ合う機会も多く、学内での異文化交流が盛んです。

### ▼ 国際交流協定校について 2014.4.1現在

現在高知大学では、アメリカや中国など20の国と地域、75の大学、研究所と国際交流協定を結んでいます。

#### 大学間協定



#### 部局間協定

人文学部	韓国	釜山外国語大校日本語大校	農学部	タイ	タイ 農林水産省水産庁
	中国	天津科技大校経済与管理学院		インドネシア	インドネシア科学技術省技術評価応用庁
教育学部	ベトナム	ロモノソフ初等中等高等学校	韓国	国立忠北大校農業生命環境大校	
	スウェーデン	スウェーデン王国オイレション特別大校	中国	浙江大校生物系統工程及び食品科学学院	
	モンゴル	モンゴル・ロシア共同大校	バングラデシュ	シェレバングラ農科大学	
理学部	イタリア	バドバ大校理学部	黒潮圏	フィリピン	フィリピン農業省漁業・水産資源局第2地域支所
	オーストラリア	モナッシュ大校 サステナブルケミカルマニファクチャリングセンター		海洋コア	韓国
	中国	中国地質大校武漢校	中国		中国科学院地球環境研究所
医学部	中国	首都医科大校口腔医学院	総合研究センター	インド	カリヤ二大校
	アメリカ	ハワイ大校医学部			
	台湾	国立台湾大校			
	韓国	韓国中央大校赤十字看護学部			

## 授業や研究活動における交流

### 授業で交流 —— 「異文化理解」

教育学部の専門科目で、全学部生に開講されています。

#### 様々な国の学生が交流



Pricilia Maharani

プリシリア・マハラニ  
(インドネシア出身)

土佐さきがナプログラム  
国際人材育成コース3年

高知大学には、中国、韓国、マレーシア、スウェーデン、スペイン、メキシコなどいろいろな国から留学生が来ています。高知大生はみんな親しみやすく、受験の日から仲良くなった日本人学生も何人かいます。「異文化理解」の授業では日本人と外国人学生と一緒にグループワークやプレゼンを行う中で、コミュニケーションや相互理解を深めます。また授業だけでなく、サークル活動や高知県内でのホームステイ体験など、大学生活のすべてが交流の機会になっています。

#### ▶ 教員から一言

谷口 雅基 教授

教育学部/土佐さきがナプログラム 国際人材育成コース長  
国際的な協調や融和が求められる今、異文化理解マインドはますます重要視されています。世界に目を向け、他の言語や文化に対して広くオープンに接することのできる教員や人材を育成し、次世代につなげていくことを目指しています。



### 研究で交流 —— 「分析化学で地球環境保全を」

理学部の先端研究を通じて、国際貢献を目指しています。

#### 研究を通じて刺激し合う



Danno Bayissa Lata

ダンノ・バイッサ・レタ  
(エチオピア出身)

博士課程 応用自然科学専攻3年

母国の大学では、牛肉の中に残留している殺虫剤や農薬成分の分析に取り組んできました。国費留学生として日本に派遣されるにあたり、同じ分野で先端研究を行なっている高知大学を希望。現在は、殺虫剤や農薬が自然界の中で分解される仕組みを解明しようと、溶液中の化学反応速度について研究を行っています。研究室は非常にいい環境で、日本人学生とわからないところを教え合いながら学ぶことができます。ここでの経験をよりよい成果につなげていきたいと考えています。

#### ▶ 教員から一言

北條 正司 教授 理学部

研究室の中で、外国人留学生と一緒に学ぶ意義はとても大きいと思います。彼らの研究に対する姿勢は非常に真摯で日本人学生には刺激になるし、何より学内にいながら国際交流ができます。国際社会で活躍できる人材の育成にもつながっていくと期待しています。



## 4. 留学生の受け入れ

### ▶ 外国人留学生の受入状況 受入学生数: 149名 (2014.5.1現在)

外国人留学生と日本人学生との交流は、学内外で盛んに行われています。来日後間もない外国人留学生に、上級生が1対1で学習指導や日常生活のアドバイスをするチューター制度や、パートナー(友人)となってアドバイスをするパートナーシップなどがあります。



Mostafa Shaimaa Mostafa

モスタファ・シャイマア・モスタファ (エジプト出身) 日本語・日本文化研修留学生

私はエジプトで2年間日本語を勉強していましたが、高知大学で勉強した6ヶ月でさらに日本語と日本のことについて多くを知ることができました。例えば、日本人の生活と性格や日本の文化と習慣、日本の料理の種類などです。それに日本人と友達になれたのは本当に嬉しかったです。日本に行くこと、そして日本人と友達になることが私の夢でした。やっとその夢が叶いました。留学生と日本人の学生と一緒に参加するパートナーシッププログラムで、日本人と友達になれてよかったです。

また、いつも国際交流課の方と日本の先生がいろいろと手伝ってくれます。ですから日本人はやさしすぎると思います。すべてに本当に感謝しています。高知で過ごす毎日は楽しいです。高知大学で新しいことを習うし、大学の食堂で美味しい料理を食べるし、休みの日も友達と遊びに行きます。本当にいい時間を過ごしていますからいつでもどこでもいっぱい写真を撮っています。それはエジプトへ帰った後でもいい思い出になると思います。私はすべての瞬間を絶対に忘れられません。高知にいる期間はあと6ヶ月です。これからも一生懸命勉強していきます。がんばります。



友達と日本で旅行

#### カルチャーカフェ



キャンパス内での気軽な国際交流の場、それがカルチャーカフェ。外国人留学生と日本人学生、教職員が月に一回ほど集まって、一緒に楽しい時間を過ごします。もちろん誰でも参加OK! みなさんも入学したらぜひ一度、カフェに顔を出してみてください。

# 教育研究施設 Educational Research Facilities

## ■ 学内施設

### 総合情報センター(図書館)中央館

▶ 朝倉キャンパス



#### メディアの森 図書部門／情報部門

外観が特徴的な「メディアの森」。様々な図書や電子ジャーナル、データベースを利用できる図書館としての機能と、高速で安定的なインターネットが利用できるネットワーク機能が備わっています。

#### ▶ 図書部門

● **レファレンスカウンター** 図書館利用を支援するサービスを行っています。図書館資料の利用方法や情報検索指導、資料の所在調査等の相談に応じるほか、高知大学にない本や論文のコピーなどを学外から取寄せることもできます。

● **開架閲覧室** 蔵書は2階から5階まで分野別に並んでいます。

● **雑誌コーナー** 話題の新刊や一般雑誌も豊富です。

● **グループ学習室・個人用キャレル** 1人用学習スペースと、3人から10人で利用できるグループ学習室があります。

#### ▶ 情報部門

● **情報コンセントコーナー** 約20箇所の情報コンセントが設置されています。ノートパソコンを接続して、電子メールやWebブラウジング、ネットワークプリンタへの印刷が可能です。

● **教育端末室** 主に各学部の専門授業で利用されています。授業時間外では、自習使用することが可能です。



#### 勉強用なら出力無料

学生の学習を支援するため、学術研究用のプリントアウトは年間上限枚数まで無料です。

### 総合情報センター(図書館)医学部分館

▶ 岡豊キャンパス



時計塔が目印になる岡豊キャンパスの図書館です。

学習量の多い医学部生のために、開館時間が長いことが特徴です。平日は朝9時から夜20時まで開館しています。夜間等は、許可制のカードキーを使用し、入退館することも可能としています。また県内の医療関係者をも支援し、地域にも開かれた図書館です。

● **開架閲覧室**

● **情報検索コーナー**

● **グループ学習室・個室**

● **雑誌室**



専門図書閲覧室

### 総合情報センター(図書館)農学部分館

▶ 物部キャンパス



物部の自然の中にあるアットホームな雰囲気図書館です。

農学部の学生のみならず、共同研究の研究者や、近隣の農家の方もよく利用する地域に開かれた図書館です。

● **開架閲覧室**

● **情報コンセントブラウズ室**

● **雑誌コーナー**

● **グループ学習室**



開架閲覧室



自学自習室

学部や研究科の枠を越えた教育研究活動の拠点として整備された総合研究棟。1階の学生ゾーンには、開館時にはいつでも自由に勉強ができる「自学自習室」や少人数での学習や演習ができる「グループ学習室」があり、いつも多くの学生が利用しています。

- 自学自習室
- グループ学習室

自学自習室は、個別ブースに仕切られており、静かな環境で学習に取り組めると学生に人気です



## オアシス 自律学習支援センターOASIS



自習コーナー

主に語学についての教材貸出しや自学自習を目的としたスペースで、人文学部管理棟1階にあります。英語をはじめ様々な外国語学習や留学生との交換レッスンなど、自律的な学習を支援しています。

### ● 自習コーナー

メディアの森、総合研究棟と並んで利用度の高い学習スペース。すべてのブースに情報コンセントが設置されており、学生のPC持ち込み利用はもちろん、備え付けのデスクトップPCや館内貸出し用のノート型PCの利用も可能です。映画DVDやDVDプレーヤーも多数あり、常時視聴が可能です。

### ● マルチメディア教室

定員20名のグループ学習室には各種視聴覚機器やプロジェクターなどが設置されており、TOEIC試験対策講座やグループ学習、授業などにも利用されています。

### ● 個別学習室

パートナーシッププログラム(留学生との交換レッスン)や少人数で利用できます。

### ● ペア学習コーナー



マルチメディア教室

### 語学教材は10,000点以上!

IELTS、TOEIC、英検などの各種検定試験対策問題集や、英語・中国語・ドイツ語・フランス語・韓国語・日本語や日本語教育関連の教材、月刊誌などがそろっています。



## 保健管理センター



朝倉

学生や教職員が健康で安全な大学生活を送れるようサポートしているのが保健管理センターです。何かの時にはすぐに対応できるよう内科の医師と看護師が常駐し<sup>\*</sup>、整形外科や婦人科などの専門医も定期的に診察を行っています。二次対応が必要な場合は、症状に合わせて医学部附属病院や近隣の病院を紹介します。また近年は身体の健康だけでなく心の健康——メンタルヘルスにも力を注いでおり、精神科の専門医や臨床心理士が、学生や教職員の心の不調や悩みの相談にのれる体制を整えています。



朝倉キャンパス 保健管理センター

さらに、より積極的に学生の健康増進や病気の予防に関わろうと、食生活や生活習慣も含めたトータルな視点で学生をサポートしているのも大きな特徴です。



岡豊分室

### 定期的な取り組み

- 健康診断：全学生対象
- 特殊健診：
  - 実験で特殊な薬品や放射性物質を使う学生対象
- 心電図検査：
  - インカレ出場者やスポーツを専攻する学生対象
- 骨密度検査
- 感染症対策、予防接種のチェック
- メンタルヘルスに関するアンケート調査：新入生が対象
- メンタルヘルス講演会



物部分室

※物部キャンパスは看護師のみの常駐です

### イベントなど

- お料理教室

### 二十歳はメタボの曲がり角?!

～今どき大学生の健康事情～

内科医である岩崎泰正センター所長に、最近の大学生の健康状態についてお聞きしました。「最近増えているのは『若年メタボ』。1、2年生のうちは運動量も多いけれど、実験や卒論で忙しくなる3、4年生になって急に太る学生が目立ちます。一方で、女子学生の『やせすぎ』も気になる問題です。保健管理センターには肥満度や筋肉量を計測する装置もあるので、スポーツジムのような感覚で気軽に利用して、健康なキャンパスライフを送って下さい」

## 総合教育センター

総合教育センターには、「大学教育創造部門」・「入試部門」・「キャリア形成支援部門」・「社会協働教育部門」・「修学支援部門」の5部門が置かれ、本学における教育・入試・学生支援のあり方などについて研究・開発・試行・点検・評価を実施し、有為な人材を育成するためのしくみを総合的につくり出すことを目指しています。なお、総合教育センターは平成27年4月1日付けで組織改編を予定しております。詳細が決まりましたら、本学ホームページで公表いたします。

### ▶ 大学教育創造部門



共通教育と専門教育とを体系化した新しい大学教育プログラムの研究・開発・試行や、教育システムの開発などを行っています。また、自己点検およびFDの企画や実施に関すること、学習支援のあり方に関することなどにも取り組んでいます。

### ▶ 入試部門



入試部門では、入学者の入学後における動向を長期間にわたって追跡的に調査・解析することにより、入学者選抜方法の妥当性について検証するとともに、それを踏まえた広報活動の方策に関する検討を精力的に推進しています。

### ▶ キャリア形成支援部門



首都圏や関西圏の大学、また学外の諸団体と協働し、キャリア形成に関わる教育などの企画・実施を行ったり、県外での就職活動支援企画を立案・試行しています。

### ▶ 社会協働教育部門



社会協働教育部門では、社会協働教育プログラムおよび社会と協働して行う学生支援などの調査研究・開発・試行に関する業務を行います。学生による社会と協働する活動の立ち上げを正課並の教員サポートで支援しています。

### ▶ 修学支援部門



修学支援、正課外教育などの学生生活に関わる諸課題の調査研究および企画立案を行っています。また、学生ボランティア活動等への支援にも取り組んでいます。

### リエゾンオフィス (コラボレーション・サポート・パーク)



学生と学生、学生と地域社会がともに活動するための様々な支援を行います。大学教育創造部門、キャリア形成支援部門、社会協働教育部門、修学支援部門が協働で運営しています。

## 地域連携推進センター

“敬地愛人”—— 地域を敬い、人を愛する

地域連携推進センターは、高知大学における教育研究の進展に寄与し、高知大学の有する人的資源、知的資産、施設を活用して、地域との緊密な連携を推進することにより、地域における人材の育成、地域イノベーションの創出、科学の発展、技術開発および産業の活性化に貢献するとともに、地域の振興と維持・発展に資することを目的とします。また、地域ニーズと大学シーズを効果的にマッチングさせる高知大学インサイド・コミュニティ・システム化事業を推進し、地域の大学として、高知県と高知大学が官学一体となり地域の課題解決を進め、地域の課題を組織的かつ機動的に解決するための域学連携教育研究体制の強化に貢献することを目的とします。

### ▶ 域学連携推進部門

高知大学インサイド・コミュニティ・システム化事業において、地域連携の推進や現場ニーズに応じた課題解決、地域での人材の育成に貢献するとともに、生涯学習の普及に努め、また地域を志向した教育の推進を図ることで、地域の振興と維持・発展に寄与します。

### ▶ 産学官民連携推進部門

企業、研究機関等との共同研究、受託研究を推進するとともに、教育および研究の成果を通じて、地域イノベーションの創出、技術開発および産業の活性化に貢献します。

### ▶ 知的財産部門

高知大学の創出した知的財産を、自らの責任のもとに保護、管理、活用し、本学、教職員等、学生、地域社会が受ける利益の最大化を目指します。

## 国際連携推進センター

国際連携推進センターは、地域とともに学び研究する「知の拠点」として、高知から世界に発信する大学を目指し、国際的な教育と研究の交流、国際協力プロジェクトの企画と留学生の受け入れ・派遣を促進します。基本方針は「①グローバルな国際連携を目指す」「②双方向の国際交流を推進する」「③地球規模の課題に対する国際協力でチャレンジする」の3つで、高知大学の学生と留学生がともに集い、学び合うキャンパスをつくります。

### ▶ 国際プロジェクト部門

高知大学の国際連携分野・地域の重点化を図り、海外とのネットワークを重視した文理融合の研究交流を促進していきます。また、JICAなどと協力し、大学の研究成果を活かした国際協力プロジェクトの実施促進を図ります。

### ▶ 国際・連携教育部門

教育研究など国際的な連携および国際的な大学間交流並びに学生交流を推進します。また、日本人学生の海外留学支援、留学生の修学支援を行うとともに、留学生と日本人学生との交流や地域との交流活動を促進し、地域の国際化に寄与します。

## 総合研究センター

総合研究センターは、人的資源と知的財産を最大限に活用して、全学的な重点研究プロジェクトを支援並びに推進するとともに、大型実験施設や機器の整備を図ることにより、本学の研究・教育の進展に寄与することを目的としています。このことにより、個性豊かな地域の大学をつくり出すことに貢献しています。

本センターは、海洋部門、生命・機能物質部門、防災部門からなり、

- 1) 海洋に関わる研究の遂行とその支援、教育および地域連携
- 2) 生命・機能物質に関わる研究の遂行とその支援、教育および地域連携
- 3) 自然災害発生と防災に対する研究、教育および地域連携の3つの機能を持っています。

### ▶ 海洋部門

#### ■ 海洋生物研究教育施設



海洋生物学、水産科学およびそれらの学際領域に関する広い分野の研究を行っています。研究・実習用施設、設備、機器類のほかに海洋調査実習船「豊旗丸」(19t)、「ねぶちゅーん」(5t)を所有し、フィールド調査や飼育実験、臨海実習の基地として、学内だけでなく学外さらには海外からの研究者も利用しています。主に黒潮に関する共同研究の場となっています。

### ▶ 生命・機能物質部門

#### ■ 遺伝子実験施設



遺伝子実験施設は、遺伝子に関する基礎的・応用的研究の助長・促進と、遺伝子実験技術の教育・訓練を行うことを目的とした施設です。カルタヘナ法に準拠したP-1、P-2、P-3の設備を持ち、放射性同位元素も使用できる実験室と、遺伝子組換え実験に必要な機器を揃えており、高知大学のみならず、四国地域における遺伝子関連の実践的研究推進のためのセンターとして重要な役割を果たしています。

#### ■ 実験実習機器施設



実験実習機器施設には形態系、生化学系、免疫系、生理系の各系に、それぞれの研究分野に必要な大型機器が完備されており、それらの機器および機器設置室の管理運営業務を通じて、本学の研究及び教育の進展に寄与することが設立目的となっています。特に研究においては国際的な研究水準を保つことができる環境を整備することを目標としています。本施設の利用者に対しては、各系の技術専門の職員が機器使用法や使用上のルールを説明できる体制が整っていますので、施設機器の性能を最大限に活かした利用法を習得することができます。また、実験技術の指導、Webシステムの構築および受託業務などを行っており、利用者の研究遂行に貢献しています。

#### ■ RI実験施設

RI実験施設では、放射性同位元素を用いた実験に関する研究・教育・安全管理を行い、これらの業務を通じて本学の医学・生命科学の研究の発展に貢献しています。

#### ■ 動物実験施設



生命科学分野の研究は、医学や医療の発展、遺伝子治療や医薬品の開発、環境破壊や環境汚染への対応、遺伝子組換え食品の開発や食料増産など幅広い分野と関係しており、これらの教育と研究を推進する上では動物を用いた教育実習や実験は必須です。実験動物の尊い命の犠牲の上に成り立っているという事実を踏まえ、学生・院生に対しては動物と接する際に必要な実験動物に関する基礎知識、人獣共通感染症、動物福祉と生命倫理を中心に教育を行い、今世紀の生命科学分野を担う人材の育成に貢献しています。

▶ 防災部門(南海地震防災支援センター) 南海地震をはじめとする自然災害に関する研究を行うとともに、その研究成果を活用して地域の関係機関と連携をはかり、防災の問題解決及び支援を行い、地域に貢献することを目的として活動しています。

### ■ 共同利用・共同研究拠点

## 海洋コア総合研究センター



海洋コア総合研究センターは、海洋コアの総合的な解析を通して地球環境変動要因の解明や海洋底資源の基礎研究を行うことを目的とし、全国共同利用施設として設立されました。海洋研究開発機構(JAMSTEC)と共同運用を行っています。本センターは、海洋コアの冷蔵・冷凍保管をはじめとし、コア試料を用いた基礎解析から応用研究までを一貫して行うことが可能な研究設備を備える、国内唯一の研究機関です。2007年からは、国際共同研究プロジェクトである統合国際深海掘削計画[2013年10月～国際深海科学掘削計画](IODP)における世界3拠点のひとつとして、本格的な活動を開始しました。2009年6月に文部科学大臣から「地球掘削科学共同利用・共同研究拠点」に認定されました。2010年度からも、引き続き地球掘削科学の発展を望む研究者コミュニティの要望に応えるべく、本センターの卓越した設備・機能を活用した共同利用・共同研究を行い、我が国主導の地球掘削科学やその関連分野の拠点化・推進を図ることとしています。

# キャンパスライフ Campus Life

## ようこそ、“おらんく”のキャンパスへ

▶朝倉キャンパス 75p ▶岡豊キャンパス 77p ▶物部キャンパス 79p

豊かな自然とあたたかい地域の絆が残る高知県。そのほぼ中央に位置する高知市と南国市に、3つのキャンパスがあります。ゴトゴトと路面電車が行き交う学生の街・朝倉。長宗我部氏の城跡と桜が美しい岡豊。360度の空と太平洋が目の前に広がる物部。それぞれのキャンパスにそれぞれのよさや特徴があり、学生たちは充実したキャンパスライフを楽しんでいます。

※「おらんく」とは、土佐弁で「我が家」という意味の言葉です

スマホで読み込もう



年間行事

### 年間スケジュール (平成26年度)

4/1 学年開始  
4/3 入学式  
4/11 1学期授業開始  
環境美化活動

7月上旬 四国インカレ

8/7~31 夏季休業

9/1~30 特別授業期間

10/2 2学期授業開始

12/27~1/6 冬季休業  
フレンドリーコンサート  
(医学部附属病院にて)

2/10~28 特別授業期間  
3/1~31 学年末休業  
3/23 卒業式

4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3

8/10・11 よさこい祭り(本祭)



よさこい祭りは、高知の夏の風物詩。各チームが趣向を凝らした木柴や踊りを競い合います。高知に来たら、一度踊ってみては?

10/11・12 南風祭(みなかぜさい)



11/1・2 黒潮祭(くろしおさい)



11/3 物部キャンパス一日公開



11月下旬~12月上旬 室戸貫歩



1月上旬 寒中水泳



困ったことがあったら

### 学生何でも相談窓口

学生生活の疑問や悩みなど、どこに相談したらよいかわからない時は、お気軽に利用してください!

例えば、こんなことがあったら...

周囲にうまく馴染めない!

受付時間

8:30~17:15 (土・日・祝日を除く)

☎朝倉キャンパス TEL 088-844-8149  
☎岡豊キャンパス TEL 088-880-2259  
☎物部キャンパス TEL 088-864-5116  
✉gsoudan@kochi-u.ac.jp

経済状況が悪い

交通事故を避けてしまった

カレト団体の勧誘を受けた

### 4年間の食事の心配なし ミールカード



学生証がミールカードとして利用できます。

朝食が250円分割引されるサービスや、1か月ごと親御さんに食事歴のレポートをお送りするサービスつきなので、さらに安心!

生協食堂「IKUS」で使える食育ミールカード。メニュー豊富なカフェテリアで1日1,000円までなら何回でも利用ができます。

193,000円(朝倉)  
175,000円(岡豊)  
185,000円(物部)  
有効期限:1年間

IKUSの営業日・営業時間は、キャンパスによって異なります。



## サークル活動

大学生活において学業を人間形成の縦糸とするならば、サークルや同好会での活動はそこに彩りや厚み、深みを織り込んでくれる横糸のようなもの。高知大学では100以上あるサークルに学生の約半数が所属し、充実した毎日を送っています。



### サッカー部

## 全国制覇を目指し、合言葉は「総力結蹴」!

#### アピールポイント

全日本大学選抜やユニバーシアードのコーチ、監督を歴任している野地照樹監督が指導において大切にしていることが「基本と自立とフェアプレイ」。基本的な生活習慣や学業、家族、友人といった人間の基本がしっかりあった上で自立することが大切、と常に部員に伝えています。学生は何のために大学に来ているか—それは自立した社会人になるため。これがわかると、自ずと自分がどうすればいいかわかります。高校時代に無名でも、高知大学に来てから伸びる選手が多いのは、そのためです。「サッカーを通じての豊かな人間形成」をモットーにサッカーと学業の両立を重視。地域の子どもを対象とした少年少女サッカー教室や巡回指導を行い、高知県のサッカーの普及にも力を入れています。



2009年総理大臣杯準優勝など、「地方の雄」、「国立大学の雄」として全国レベルの大会で輝かしい戦績をあげてきたサッカー部。2013年度の総理大臣杯は13年連続23回、天皇杯は11年連続18回、インカレは20年連続29回の出場となりました。フットサルやビーチサッカーでも好成績を残しています。



▼  
原田 亮  
主将  
教育学部3年  
(兵庫県立神戸  
高塚高校出身)

私たち高知大学サッカー部は、選手、スタッフ、マネージャー総勢130名を超えた、とても勢いのある部活です。野地監督のご指導のもと長年の目標である「全国制覇」を目指し、チーム一丸となり、日々の練習に取り組んでいます。「早寝・早起き・朝ご飯」という基本的な生活習慣や学業・研究など、大学生としての基本をしっかりした上で、個々が自立することを大切にしています。



### 天皇杯には、 11年連続出場!

11年連続18回目の出場となった第93回天皇杯2回戦では、OBの實藤友紀選手が所属する川崎フロンターレと対戦しました。



### 少年少女サッカー教室で、 地域にも貢献!

週2回、子どもたちにサッカーの指導をすることで、自分のプレーの振り返りにもつながり、いい効果を生んでいます。

### 剣道部

## 剣道を通して人とつながる

#### アピールポイント

部員17名で、週6日武道館にて活動しています。2013年度の主な成績としては、全国学生剣道オープン大会で、女子3名が個人3位、ベスト8、ベスト32になり、四国インカレでは男子が団体3位、女子が団体2位になりました。中四国学生剣道優勝大会では、女子が団体ベスト8となっています。



▶ 松浦 桃吾 主将 人文学部3年(高知県立高知小津高校出身)  
全国大会出場という全体目標のもと、自ら強さを求めて稽古をする自主性・自律性を尊重しています。稽古に全力で打ち込みつつ、レクリエーションも全力で楽しむという、メリハリのある楽しい部活です。すばらしい先生方にご指導いただけるので、基礎がしっかりした剣道を身につけることができます。また、地域に武道教育を広める活動もしています。

### 医学部 ゴルフ部

## 他大学にない好条件で、ゴルフを楽しむ

#### アピールポイント

高知医科大学設立の頃から続く伝統あるゴルフ部。部員約40名。岡豊キャンパス内練習場で週2回の活動のほか、毎週土曜日は黒潮カントリークラブでボール拾い等のお手伝いをする代わりに無料でラウンドさせていただいています。2013年度の成績は第65回西日本医科学学生総合体育大会で団体戦女子優勝、男子8位、第35回夏季西日本医歯薬新人戦で団体戦優勝。



▶ 岩本 伸紀 主将 医学部3年(大阪府立住吉高校出身)  
部員は大学から始めた未経験者がほとんど。プロの指導も付くので、基本からしっかり始められます。競技としても生涯の趣味としても楽しめるゴルフ。自然の中で仲間と共にラウンドするのは本当に爽快です。先輩後輩の仲もよく、ゴルフはもちろん、テスト前や学校生活においても貴重なアドバイスがもらえます。

## サークル 紹介



### 陸上競技部

陸上競技部では、陸上競技における技術の向上はもちろん、陸上競技を通しての豊かな人間関係の形成を目指しています。また、高知県内における陸上競技の振興活動、陸上競技を通しての地域貢献なども大きな目標として積極的な活動を行っています。



### ラクロス部

私たちは、ラクロスに魅せられ、仲間とともに練習に励んでいます。メンバーは全員ラクロス初心者。きっかけは違っても、目指したいと思える環境が必ずあります。ともに刺激的で青春☆な大学生活を送ろう！



### 硬式野球部

硬式野球部は現在46名で活動しています。今チームは、神宮大会出場のために「変化」をテーマとして掲げ、「整理整頓・全力発声・全力疾走」を部の決まり事として、全員で取り組んでいます。



### 軟式野球部

私たち軟式野球部は、月・水・土曜日の週3日活動しており、現在は西日本大会、全国大会に3季連続で出場しています。初心者の方、女子マネージャーの方も大歓迎なので、ぜひ一度見学に来てみてください。



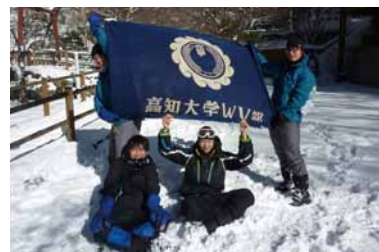
### 卓球部

練習は真剣ですが、部の雰囲気は明るく、皆が技術向上を目指して活動しています。規定練習は朝倉キャンパス内の体育館で、週4回です。規定練習がないときは自主練習をして皆と競い合いながら、練習に取り組んでいます。男女ともに全国インカレ出場、全国国公立大学卓球大会優勝を目指してがんばっています。



### ワンダーフォーゲル部

私たちワンダーフォーゲル部は春・夏の長期休暇に北に南に日本全国の山・島に旅しています。その他の休日には四国の山々にパーティを組んで登っています。大自然の中、自らの足で渡り歩いています。



### 医学部水泳部

部員はスイマー・マネージャー合わせて30人程で初心者も多く、夏の試合に向け皆仲良く練習しています。中四国を中心に他大学との交流も盛んで、四国から西日本まで様々な大会に出場できます。第65回西日本医科学学生総合体育大会男子総合3位。



### 交響楽団

主な活動として年に1回定期演奏会を行っています。クラシックだけでなく、ポップスなど様々な曲を演奏することができます！また、弦楽器や木管楽器、金管楽器などを体験することができますので、初心者の方も経験者の方もぜひ一度見学に来てください！



### 医学部管弦楽団

医学部管弦楽団は、大ホールでの定期演奏会や、南風祭での合奏・アンサンブル、病院コンサートなど、いろいろな場での演奏に向け楽しく練習に励んでいます。団員はオケ・吹奏楽経験者から全くの音楽初心者まで様々。あなたも高知大学と一緒にオケやってみませんか？





## 軽音楽部 BLUESKY

「軽音楽部BLUESKY」は部員が明るく積極的に音楽を楽しみ、定期的に大学や高知県内のライブハウスを中心に活動しています。部会も毎週行っています！気軽に遊びに来てください！



## 奇術部

フツナ学生生活じゃ物足りない、そんな貴方！奇術部に入ればマジックやジャグリングなど一味違った特技を身につけることができます。大学から始めた人も多いので、初心者でも大歓迎です！



## 裏千家茶道部

自分磨きをしませんか？私たち裏千家茶道部は、毎週火曜日に外部から茶道の先生をお招きしてお稽古をしています。技術だけではなく大人としての振る舞いや気遣いも身につけることができます。気軽に見学に来てください。



サークル活動は  
学部間を超えて  
友達づくりができる  
貴重なチャンス！

得られるものも大きいので、  
ぜひ積極的に  
参加してみてください！



## ACT-K(医学部)

ACT-Kは臨床推論をしているサークルです。臨床推論とは、与えられた情報から患者さんの病態・診断を考えることです。モットーは、楽しみながら学ぶこと！一人で机に向かっているよりも、楽しく、実践的で、何より頭に残る勉強をすることができます♪



## 環境サークル ESWIQ

私たちは「服の3Rの促進」を目指す環境サークルです。タンスの肥やしとなってしまった服を学生や地域の方々から集め、「服もってけおいでけ市」を開催しています。「人と環境の輪」をテーマに、活動を通じての人のつながりを大事にしています。



## サークル一覧

### ■ 岡豊キャンパス

**文科系** 医学部ESS、医学部囲碁・将棋部、医学部映画研究会、医学部合唱団、ACT-K、ACLS南国、医学部管弦楽団、医学部軽音楽部、医学部JAZZ研究会、小原流華道部、医学部裏千家茶道部、医学部写真部、医学部天文部、医学部美術部、アウトドア・HAM・サークル、パソコンサークル DOS/V、医学部アジア僻地医療を支援する会、医学部漢方研究会(うどん部)、フィールド医学研究会、医学部ボランティア部、Peer部、高知大学 Mental Health Care Club、医学部ダンス部、医学部園芸部、地域医療研究会ARMS

**体育系** 医学部合気道部、医学部居合道部、医学部空手道部、医学部弓道部、医学部剣道部、医学部柔道部、医学部硬式庭球部、医学部ゴルフ部、医学部サッカー部、医学部準硬式野球部、医学部水上運動部、医学部ダイビング部、医学部卓球部、医学部バスケットボール部、医学部バドミントン部、医学部バレーボール部、医学部ヨット部、医学部ラグビー部、医学部ワンダーフォーゲル部、医学部蹴球会、水泳部(朝倉キャンパスと合同)、陸上競技部(朝倉キャンパスと合同)、医学部自転車部

### ■ 朝倉キャンパス

**文科系** 交響楽団、吹奏楽団、合唱団、マンドリンクラブ、邦楽部、フォークソング部、Folk Folk、軽音楽サークル BLUE SKY、SEA BREEZE、美術部、裏千家茶道部、表千家不白流茶道部、囲碁将棋部、演劇研究会、星の会、野生生物研究会、ESS、写真部、子ども倶楽部、総合映像研究会、放送研究会、園芸部、奇術部、ニューシネマ☆バラダイス、Hand to hand、文芸創作サークル海老統、環境サークルESWIQ、防災すけと隊

**体育系** 陸上競技部、水泳部、ヨット部、サイクリング部、Free Climbing Club、サッカー部、ワンダーフォーゲル部、ダンス部、硬式庭球部、ソフトテニス部、ラグビー部、硬式野球部、バレーボール部、ハンドボール部、バスケットボール部、バドミントン部、体操競技部、ソフトボール部、アメリカンフットボール部、ライフル射撃部、柔道部、剣道部、合気道部、空手道部、少林寺拳法部、弓道部、洋弓部、卓球部、軟式野球部、声原空手部、フットサル部、ラクロス部

### ■ 物部キャンパス

**文科系** 嶺北フィールド学生サポーター林業塾

## 朝倉キャンパス Asakura

# 充実キャンパスでのびのびライフ

高知市中心部から電車で20分ほどの朝倉キャンパス。

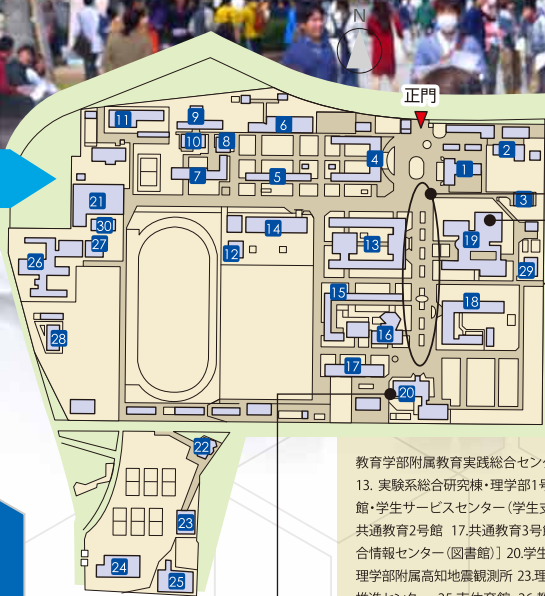
人文学部、教育学部、理学部の1~4年生と農学部の1年生が学んでいます。敷地内には学食や図書館のほか、学生の憩いの場も多く、アットホームなキャンパスです。

スマホで読み込もう



朝倉キャンパス

MAP



1. 本部管理棟 (学務部入試課)
2. 非常勤講師宿泊施設
3. 保健管理センター
4. 総合研究棟
5. 教育学部2号館
6. 教育学部3号館
7. 教育学部4号館
8. 教育学部51番教室
9. 教育学部音楽棟
10. 教育学部附属教育実践総合センター
11. プール
12. 理学部情報科学棟
13. 実験系総合研究棟・理学部1号館
14. 理学部2号館
15. 共通教育1号館・学生サービスセンター (学生支援課・就職室・学務課・共通教育)
16. 共通教育2号館
17. 共通教育3号館
18. 人文学部棟
19. メディアの森 [総合情報センター (図書館)]
20. 学生会館 (福利厚生施設)
21. 北体育館
22. 理学部附属高知地震観測所
23. 理学部附属水熱化学実験所
24. 地域連携推進センター
25. 南体育館
26. 教育学部附属特別支援学校校舎
27. 教育学部附属特別支援学校 日常生活訓練施設 (くじらの家)
28. プール (附属特別支援学校)
29. 留学生センター
30. トレーニング室棟

学生が多く、にぎやかなキャンパスです。メインストリートのヤシの木が南国土佐らしい!!

おすすめポイント

1

## 高知大学生協 IKUS イクス

学生会館の中にある快適なIKUSは、ランチはもちろん授業の空き時間にも大活躍。メニューは週ごとに変わるから、毎日のお昼が楽しみです。

[営業時間]  
平日8:00~22:00、土曜11:00~19:00  
日曜・祝日休み

カフェテリア



空席  
あります



IKUSでは、高知嶺北地域の棚田米を使用し、地産地消を推進しています!

ベーカリー



焼きたてベーカリーは女子学生に大人気! 季節ならではのアイデア商品も。

パソコン購入



書籍コーナー



ノートパソコンは授業で使うので必携です。生協で購入できますので、お問い合わせください。生協では、サポート修理も受付。安心です。



コンビニコーナー

カフェテリアはお昼に行列ができるほど大人気の込み合っている時は、スタッフが空席案内までしてくれますよ!!



おすすめ  
ポイント  
2

おすすめ  
ポイント  
3

# メインストリート

キャンパスには、  
学生たちの美化活動で植えられた  
花がたくさん咲いていて、  
癒されます

朝倉での移動は  
自転車が断然便利  
買物も通学もこれ一台！  
ただし、南国の日差しは  
さついで気を付けて



メインストリートにそびえるワシントンヤシは、キャンパスのシンボル。おしゃれなパラソルの下は、勉強にもおしゃれにもぴったりの場所です。



## メディアの森

試験前の勉強やレポート作成は「メディアの森」で。  
メディアの森とは、朝倉キャンパス総合情報センター（図書館）の愛称です。新聞閲覧コーナーやインターネット広場、グループ学習室など、様々な環境が整っています。  
資料や専門書も、もちろん、充実。

学生さんに  
聞きました！

## キャンパス周辺MAP

周辺はスーパーやドラッグストアが多い住宅街。  
学生向けの食堂やカフェも多く、過ごしやすい環境です。



Watching  
ASAKURA  
campus



おうち  
構クラブ学生ラウンジ  
ほっとステーション  
建物の前面にウッドデッキや池のある広い庭があるなど、開放的で明るい空間のフリースペースです。ここちよい風や四季を感じながら、友達とおしゃべり・ミーティング・ランチ・勉強など自由な時間を過ごしてください。

※構(おうち)=セندان



シンボルツリー「おうちの木」

## 岡豊キャンパス

Oko

# 医学部生は勉強も遊びも真剣!

地域の中核病院である高知大学医学部附属病院を備えた岡豊キャンパスでは、医学部の学生が学んでいます。広大なグラウンドや体育館がすぐ横にあるため、サークルを楽しむ学生が多いのも特徴。メリハリをつけて学生生活を楽しんでいます。

スマホで読み込もう



岡豊キャンパス

Pick up  
岡豊キャンパス

1

## 勉学編



MAP

- 1.講義棟 2.実習棟 3.基礎・臨床研究棟 4.体育館 5.RI・動物実験施設 6.大会館 7.管理棟(学生課) 保健管理センター(医学部分室) 8.中央機械室 9.廃水処理施設 10.車庫 11.臨床講義棟 12.病棟 13.中央診療棟 14.外来診療棟 15.高エネルギー治療施設 16.病院食堂 17.総合情報センター(図書館) 医学部分館 18.大学院研究棟 19.医学情報センター 20.看護宿舍 21.課外活動施設 22.武道場 23.非常勤講師宿泊施設 24.屋外運動場 25.テニスコート 26.プール 27.総合研究棟 28.弓道場 29.野球場附属施設 30. MRI-CT装置棟 31.国際交流会館(単身・共用棟) 32.国際交流会館(世帯棟) 33.看護学科棟 34.発電機棟 35. PETセンター 36. ホスピタルローソン 37.タリーズコーヒー 38.院内保育施設 39.レジデントハウス

総合情報センター(図書館) 医学部分館



医師や看護師を目指し勉強に励んでいます。テスト期間中は1日中図書館へ。授業がある講義棟では、友達同士で勉強することも。組織実習や看護実習など、実践的な授業が多いのも高知大医学部の魅力です。

研究施設



Pick up  
岡豊キャンパス

2

## 課外活動編

学祭のほか、学部生みんなで盛り上がる体育祭や1年生同士が交流をはかる室戸合宿などイベントがいっぱい。おかげで学部生みんなが仲良しです。勉強のストレスも発散できます!

どんどん参加して頼れる先輩や友達をいっぱいつくっちゃおう!

イベント



体育祭



室戸合宿



Shop情報



書店



ホスピタルローソン



タリーズコーヒー



医学科ロビー



看護学科ロビー

Pick up  
岡豊キャンパス  
3

生活編

学食はメニュー豊富でボリュームも満点。さらにリーズナブルなので、一人暮らしにはうれしい味方。キャンパス内には、患者さんのためにつくられたタリーズコーヒーや、ホスピタルローソンもあって便利です!

キャンパスに面した川にはかわせみや鴨もいて、散歩すると和みますよ。また、敷地内には附属病院があり一般の方がたくさん来られます



学生さんに聞きました!

キャンパス周辺MAP

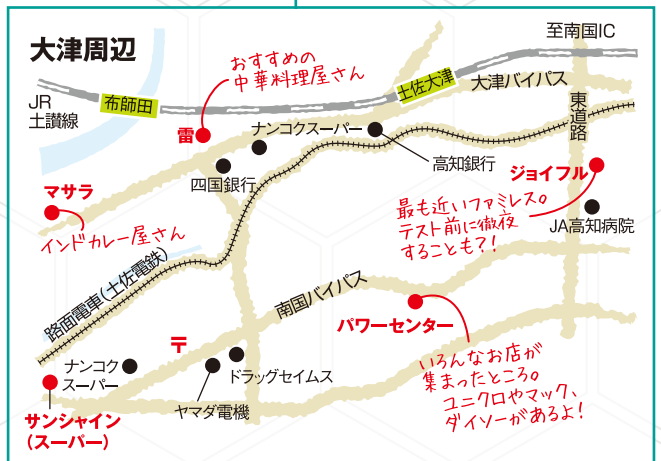
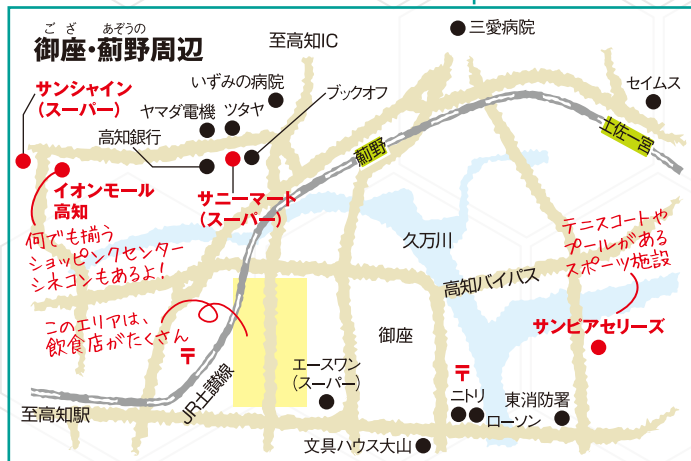
キャンパス近くには岡豊山があり、春には桜が咲き誇る自然豊かな環境です。学生の生活エリアは、スーパーやコンビニが充実している大津周辺や一宮(御座・薊野)周辺です。1年生で免許を取得し、車で通学する学生も多くいます。

生活エリアは、ほかに南国エリアもあります。  
▶ 詳しくは、物部キャンパス80ページ参照



車通学には、大学からの許可証が必要。キャンパスから最短距離で2km以上離れたところに住んでいる学生にしか発行されないの、ご注意ください。

※地図情報は「医学部周辺★地理ガイド」からも一部抜粋しています。



# 物部キャンパス Monobe

# 周囲に海、山、川。 大自然がキャンパス

高知龍馬空港のすぐ横にある物部キャンパスは、目の前に太平洋が広がるのどかな立地。敷地内には広大な農場があり、かわいい牛がたくさんいます。海、山、川と大自然に恵まれ、農学を学ぶには絶好の環境です。

スマホで読み込もう



物部キャンパス

海でも山でも、果ては世界でも！とことん現場に飛び込むのが農学の神髄！



## ここが自慢！ 物部キャンパス 1

## 農場と牛



- 1. 農学部1号館 2. 農学部2号館
- 3. 農学部3号館 4. 農学部4号館 5. 実験研究棟 6. 職員会館 7. 総合情報センター (図書館) 農学部分館および講義室 8. 日章会館 (福利厚生施設) 9. 農学部附属履地フィールドサイエンス教育研究センター 10. 体育館 11. 日章寮 12. 留学生寄宿舎 13. 国際交流会館 14. 遺伝子実験施設 15. 機器分析室 16. 海洋コア総合研究センター 17. 黒潮圏総合科学専攻棟

## 広大な農場



## ここが自慢！ 物部キャンパス 2

## 学習・研究・厚生施設

### カフェテリア



グラウンドやテニスコート、体育館も申請すれば自由に使い、アクティブな生活が満喫できます！

### 福利厚生施設



### 研究室



### 野菜販売

農学部で栽培したお米や季節の野菜を、学内で販売しています。これが安くてホントに美味しい！そしてキャンパス内にある農場には、牛がいっぱい。構内に農場がある大学は珍しいと思いますよ！



牛さんはみんなのアイドル的存在

### フィールドサイエンス



## ここが自慢！ 物部キャンパス 3

## 高知全体がフィールド

海、山、川に恵まれ、高知全体が農学を学ぶ最高のフィールドといえます。自然に恵まれた高知ならではの楽しい経験ができます。



Watching  
MONOBE  
campus



## 農学部のもっとは徹底した現場主義!

1年生のイチ押し授業といえば「フィールドサイエンス実習」。農場、森林、河川、海洋、ラボの5つの現場を回り、人と自然の関係を学びます。

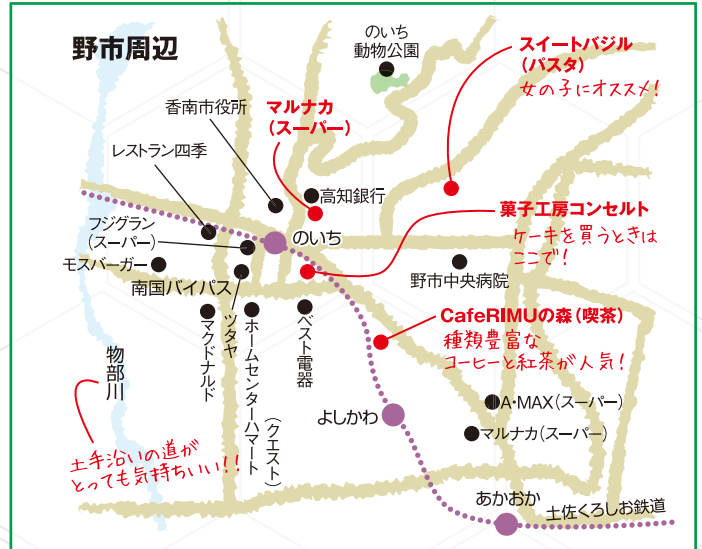
学生さんに聞きました!

おいしい食べ物屋さんもいっぱいありますよ!



# キャンパス周辺MAP

キャンパスから海や川までは歩いて数分、海辺や川原でバーベキューも楽しめます。また空港が近く、飛行機が上空へと飛び立つ迫力の景色も堪能できます! 学生の生活エリアはキャンパス周辺のほか、スーパーやコンビニが充実した後免や野市です。



pick up

## 南海地震と津波に備える物部キャンパスの防災

日本全国いつでもどこで起こってもおかしくない大地震。物部キャンパスのすべての建物は平成25年度に耐震工事が完了しました。およそ100年ごとに起こる大地震に伴う津波予想では、物部キャンパスは浸水しないとされています。しかし、1000年に一度の巨大地震を想定した新想定(平成24年発表)に対応し、物部キャンパスも浸水すると仮定して避難場所を設定しています。また、物部地区地震対策委員会を組織し、全員参加の避難訓練を徹底、キャンパス内防災備蓄を進めるなど、防災活動に取り組んでいます。



避難訓練時の農学部1号館屋上への避難状況風景。1号館から4号館のほか、遺伝子実験施設、海洋コア総合研究センターは南国市との協定により、近隣地域の方の緊急避難施設にもなっています。



防災倉庫のほかに1号館から4号館の4階の小部屋を避難倉庫として整備し、非常物品、各種名簿等を保管しています。

## 学生の暮らし

学生生活にかかる費用は学部や学科、学内外での活動など個々の状況に応じて様々ですが、奨学金制度をはじめとする諸制度も導入されていますので気軽に担当課までお問い合わせください。

# アパートで暮らす



坂口 弘樹  
理学部2年  
(鹿児島県立川辺高校出身)

僕が住んでいるのは、大学から徒歩6分、家賃月3万円のマンション。大学生協の紹介で決めました。初めてのひとり暮らしで食事や生活費の管理に不安もありましたが、学生がたくさん住んでいて情報交換や交流ができ、すぐに慣れることができました。周囲の環境も暮らしやすくて気に入っています。

生活の中で特に心がけているのは、掃除と洗濯です。野球部に入っているのでユニフォームの洗濯もあり、結構まめにやっています。自炊の回数は、ちょっと少ない…(笑)。でも、スポーツマンとして栄養のバランスは意識していて、野菜炒めなどを作ります。これまで親に頼っていたことが自分でできるようになり、少しは成長できたかな(?)という思いと、あらためて親のありがたさを実感する日々です。

大学生活は時間を自由に使うことができる分、自律的に考えて行動することが求められます。ひとり暮らしも同じで、好きにできるからこそきちんと考えて生活することが大切です。僕の場合は部活と勉強と家庭教師などのバイトでいつも時間は足りないくらいですが、合間を見つけて友だちと買物に行ったり、ご飯を食べたりすることも全力で楽しんでいます。残り2年間も、大学時代にしかできないことにもっともっと挑戦していきたいと思っています。



# 学生寮で暮らす

堀ノ内 春菜 (右)  
教育学部4年(鹿児島市立鹿児島女子高校出身)

山下 綾貴 (左)  
人文学部4年(広島県 呉市立呉高校出身)

**堀ノ内:**親に資金面でなるべく頼らず大学に通おうと決めていたので、入学が決まっただけで寮に申し込みました。ときわ寮は寮費がとても安く、また個室なのでプライバシーも守れると思い、希望しました。

**山下:**寮暮らしのよさは、先輩や友達が周りにたくさんいることです。入学当初も、履修登録やレポートについて、先輩がやさしく教えてくれました。悩み事を相談し合ったり、春には新入生歓迎の茶話会を開いたりします。また、仲間と食事をしたり、遠方出身の学生が多いので帰省時のお土産を交換し合ったり、寮生同士のつながりを感じます。ときわ寮には留学生も入寮していて、幅広い交流ができるのが魅力です。また、各個室に机、椅子、ロッカー、ベッド、さらにヒーターと扇風機がついているので助かりました。

**堀ノ内:**ときわ寮では、寮長、副寮長、会計、厚生といった役員を半年ごとに持ち回りで担当し、自己管理をしています。共同スペースの掃除など協力してしっかりやらなければいけない点もありますが、部屋の編み物やDVD鑑賞など、一人の時間ももちろん楽しめます。

**堀ノ内・山下:**遠方から高知県にきましたが、寮生活なら寂しくありません。後輩の皆さん、自然が多くのおんびりと過ごせる高知大学で、勉強もプライベートの時間も一生懸命楽しんでください。





生活費の内訳例

1 アパートで一人暮らしの男子学生の場合

収入

仕送り	50,000円
奨学金	50,000円
計	100,000円

支出

住居費	40,000円
食費・光熱費	35,000円
教材費(学費を除く)	2,000円
交通・交際費(携帯電話・インターネット含む)	18,000円
部活動費	3,000円
雑費	2,000円
計	100,000円



住居

下宿、アパートやマンションの情報提供は、朝倉キャンパスおよび岡豊キャンパスは高知大学生生活協同組合で、物部キャンパスは高知大学生生活協同組合と物部総務課学務室の双方で、それぞれ行っています。料金は建物の新旧や場所などの条件によって異なります。

アパート(6畳~8畳 1K・ワンルーム)は約25,000円~約50,000円となっています。

■高知大学生協ホームページでは、大学生のための物件情報をご案内しています。  
<http://mycoop.jp/kouchi/sumai>

学生寮情報

寮名	性別(定員)	月額寮費	部屋・その他	大学までの通学時間
南浜寮	男子 (242人)	約20,000円 (食費含む)	2人部屋(洋室) 3食 食事付 (土・日・祝、長期休暇中はなし)	朝倉キャンパス正門まで 徒歩約5分
かつら寮	女子 (60人)	約18,000円 (食費含む)	2人部屋(和室) 昼・夕 食事付 (土・日・祝、長期休暇中はなし)	朝倉キャンパス正門まで 徒歩約10分
ときわ寮	女子 (80人)	約7,500円 別途電気代(自室分)	個室(洋室) 食事なし(自炊設備あり)	朝倉キャンパス正門まで 自転車約10分
日章寮	男子 (60人)	約9,000円 別途電気代(自室分)	個室(洋室) 食事なし(自炊設備あり)	物部(農学部)キャンパス に隣接

■学生寮に関するお問い合わせ先:学務部学生支援課(学生寮担当) TEL 088-844-8565

生活費の内訳例

2 学生寮に入寮している女子学生の場合 ※ときわ寮の例

収入

仕送り	20,000円
奨学金	30,000円
計	50,000円

支出

寮費(寄宿費・食費・光熱費等)	10,000円
教材費(学費を除く)	2,000円
食費	20,000円
交際費(携帯電話含む)	7,000円
雑費	5,000円
計	44,000円
繰り越し	6,000円



南浜寮



かつら寮



ときわ寮



日章寮

国際交流会館

外国人留学生・研究者の専用住居として平成5年度末に国際交流会館が岡豊キャンパス(医学部)および物部キャンパス(農学部)に設置されました。



岡豊キャンパス



物部キャンパス

# 入学料・授業料と奨学金制度について

Entrance fee, Tuition, Scholarship

## 入学料・授業料

入学料・授業料は下表の通りです。詳しくは、財務部経理課にお問い合わせください。

区分	金額	納入期日
入学料	282,000円	入学手続きの時
授業料	第1学期	267,900円 5月中
	第2学期	267,900円 11月中
	年額	535,800円

※入学料および授業料について改定が行われた場合には、改定時から新入学料および新授業料が適用されます。

### ■入学料・授業料に関するお問い合わせ先

財務部経理課出納係  
TEL 088-844-8125

## 入学料・授業料減免制度

新入生で、入学前1年以内に学資負担者が死亡したり、風水害などの災害を受けたなどの理由により入学料の納付が困難である学生は、申請により入学料の全額または半額が免除される場合があります。

また、経済的理由によって授業料の納付が困難で、かつ、学業優秀な学生は、申請により授業料の全額または半額の納付が免除される場合があります。

### 学部生・大学院生を対象とした学業等成績優秀者授業料免除

大学院生で学業等成績が特に優れているものに対して、各専攻からの推薦により授業料年額の4分の1が免除されることがあります。また、学部生および大学院生を対象とし卓越した学業等成績優秀者に対して、各学部・各専攻からの推薦により授業料の全額が免除されることがあります。どちらも推薦時期は9月を予定しており、各学部・各専攻で定めた選考基準により決定されます。

### ■入学料・授業料減免制度に関するお問い合わせ先

学務部学生支援課(入学料・授業料免除担当)  
TEL 088-844-8150

## 奨学金制度

学業・人物ともに優秀で、健康であって経済的理由により学資の支弁が困難と認められる者については、奨学金制度の申請が可能です。

奨学金制度には、日本学生支援機構奨学金(旧日本育英会)の他に、地方公共団体や民間育英団体の奨学金制度があります。また、本学独自の奨学金制度として、医学部の「岡豊奨学会奨学金」、農学部の「池知奨学金」および土佐さきがけプログラムの「土佐さきがけプログラム奨学事業」があります。

### 日本学生支援機構奨学金

日本学生支援機構奨学金には、無利子の第一種奨学金と有利子の第二種奨学金があり、両方を併用することも可能です。貸与月額は下表に示した中から選択することができます。また、入学時特別増額貸与奨学金制度も利用できます。

(学部奨学生)

種類	貸与月額		備考
	自宅通学	自宅外通学	
第一種	①30,000円 } 選択 ②45,000円 } できる	①30,000円 } 選択 ②51,000円 } できる	無利子
第二種	①30,000円 ③80,000円 ⑤120,000円 } 選択 ②50,000円 ④100,000円 } できる		有利子

### 入学時特別増額貸与奨学金制度

初回基本月額に、10万円・20万円・30万円・40万円・50万円の利息付奨学金を増額して貸与する制度です。

第1学年(編入学者の入学年次を含む)において奨学金の貸与を受ける者は、希望により第1回目振込み時の月額に10万円・20万円・30万円・40万円・50万円を増額して貸与(利息付)を受けることができます。

ただし、入学年月を貸与始期とした場合に限りです。

## 奨学金申込資格

### 第一種奨学金(無利息)

区分	学力 (1年次に在学する者)	年収・所得の上限額(4人世帯の目安)	
		給与所得世帯	給与所得以外の世帯
国・公立	高校2~3年の成績が3.5以上の者	852万円程度	373万円程度

### 第二種奨学金(有利息)

区分	学力 (1年次に在学する者)	年収・所得の上限額(4人世帯の目安)	
		給与所得世帯	給与所得以外の世帯
国・公立	① 高等学校等における成績が平均水準以上の者 ② 特定の分野において、特に優れた資質能力があると認められる者 ③ 学修に意欲があり、学業を確実に修了できる見込みがあると認められる者	1,175万円程度	689万円程度

### 年収・所得の上限額について [家計の基準について]

- 家計支持者(父及び母、又はこれに代わって家計を支えている者)の年収・所得金額(申込の前年1年分)が対象となります。
- 表の「年収・所得の上限額」は平成25年度に奨学生に採用される場合の額です。
- 表の「年収・所得の上限額」はあくまで目安です。世帯の人数・事情により増減します。
- 「給与所得世帯」の上限額は、源泉徴収票の「支払金額(税込)」です。
- 「給与所得以外の世帯」の上限額は、「確定申告書等の所得金額(税込)」です。

### ■奨学金制度に関するお問い合わせ先

朝倉キャンパス 学生支援課 TEL 088-844-8565  
岡豊キャンパス 学生課 TEL 088-880-2268  
物部キャンパス 物部総務課学務室 TEL 088-864-5113

## 学生教育研究災害傷害保険制度

この保険制度は、大学に学ぶ学生が教育研究活動中に被った急激かつ偶然な外来の事故または通学中の事故により身体に被った被害を救済する災害補償制度です。学生は、安心して学業に専念できるよう、全員この保険に加入してください。

# 社会への扉を開く

学生の皆さんが実社会に自分の力を発揮できる場を見出し、大きく羽ばたいていけるよう、総合教育センターキャリア形成支援部門と学務部学生支援課就職室が連携して就職活動をサポートしています。

## きめ細やかな就活サポート

就職室を上手に利用しよう!

### サポート 1 Support. 1

今すぐ役立つ、  
オリジナルガイドブックを配付!

学部3年生と大学院1年生に、就活支援ガイドブック「Ambition」を配付しています。就活の基本的な流れやそれぞれの段階におけるポイント、書類作成や面接のコツなど役立つ情報が満載で、学生に好評です。



### サポート 3 Support. 3

話題の就活本や、  
過去の「就職試験報告書」が  
閲覧できます!

就職室には、話題の書籍や新聞など最新の就活資料がいっぱい! また、就職試験報告書には先輩たちが受けた企業の採用スケジュールや試験内容、ポイントなどが詳細に記録されており、就活生は必見です!



### サポート 2 Support. 2

いつでも、どんなことでも、  
専門スタッフが相談に応じます

就活に漠然とした不安を感じる、進路が定まらない、面接の練習がしたい...など何でも気軽に声を掛けてください。スタッフがいつでも相談に応じます。また就職相談員※への予約相談も上手に活用し

てください。



私たちが全力で  
サポートします!!

※P87に就職相談員からのメッセージを掲載しています

### サポート 4 Support. 4

インターンシップの窓口として  
学生と企業をつなぎます

インターンシップには様々な種類がありますが、就職室では皆さんが自分の目的に合ったインターンシップを果たせるよう、情報提供や事前指導を行っています。

#### インターンシップの種類

- 学部・学科が主体となって開設するインターンシップ授業(単位認定)
- 長期社会協働インターンシップ(CBI)  
▶詳しくはP11を参照
- 正課外で行うインターンシップ  
(「企業研修(インターンシップ)」として単位認定)
- 企業が主体となって開設するインターンシップなど

### サポート 5 Support. 5

大学に来た求人情報も  
PCや携帯から簡単に閲覧!

大学に届いた求人情報は、「高知大学就職ナビ」からいつでも簡単に確認できます。就職セミナーや会社説明会などの開催情報も学内システム(KULAS)で案内しており、携帯に転送設定しておけば大事な情報も逃しません。

# 就活力を高めるプログラム

セミナーやガイダンスを活用しよう!

皆さん、ぜひ積極的に活用してくださいね!

## THINKING

何のための就職活動なのかを学生自身が考え、就職活動の目的、意義を見出すことをテーマとしています。

## ACTION

多彩な対策講座を開講しています。実際に経験し、そこで得た気づきを次の行動に活かせるようサポートしています。

### 就活力育成 ガイダンス

外部から講師を招聘しています。講座に参加して“知る”だけでなく、続く演習で“確認”や“発見”を促します。

#### 平成26年度のセミナー例

- 4月 「就職活動Kick-off (就職活動とは)」
- 7月 「自分を伝えるための自己理解(自己分析)」
- 10月 「企業幹部に聞く、今求められる人材」
- 11月 「応募書類(書類選考)突破のための自己アピール」
- 12月 「直接選考で自分をアピールする一面接は進化している!」
- 1月 「就職活動直前対策 — 就職活動は通過地点」
- 2月 「面接対策合宿」



### 就活力実践 ガイダンス

就活力育成ガイダンスと連動しながら、より実践的な対策を行っています。

#### 平成26年度の実践講座例

- 4月 「高知県におけるインターンシップ」
- 5月 「就活成功のための職務適性テスト」
- 7月 「時事・筆記試験対策! 今からできること!」
- 10月 「就活のマナー・エチケット、着こなし・メイク」
- 12月 「エントリーシート、企業はここをみる!」



### 教職・公務員 ガイダンス

教員採用試験対策、公務員試験対策で実績のある外部講師を招聘し、ガイダンスを行っています。

#### 平成26年度のガイダンス例

- 公務員 「働いている人の話」「国家公務員採用試験説明会」など
- 教職 「合格者報告・座談会」「人物試験対策」など

### 就活イベント

合宿形式での面接対策や他大学学生との研修など、多彩な内容のイベントを実施しています。首都圏・関西圏の合同会社説明会へのバスツアーや、プロカメラマンによる写真撮影会は学生に人気です。

#### 平成26年度のイベント例

- 9月 「首都圏サポート企画・コラボ合宿」
- 1月 「学内写真撮影会」
- 3月以降 「しごと職種研究セミナー」「首都圏・関西圏バスツアー」「合同会社説明会」「岡山バスツアー」

就活生の強い味方!

### 首都圏・関西圏・岡山 バスツアー

「希望する地域や、あこがれの企業の会社説明会に参加したい」「でも遠方の地域へ何度も出向くのは、金銭的にも大変…」そこで、高知大学では就活生とご家族を応援するため、首都圏・関西圏・岡山エリアへの格安バスツアーを催行しています。特に首都圏バスツアーでは、大企業で働くOB・OGとの懇親会も催されており、就活生の強い味方になっています!





学生たちの就職活動を最も身近で支えている就職室。そのスタッフに高知大学の就職の「今」について聞いてみました。

# 就職活動



## 就職室に聞きました

### Q 県外出身者です。高知県以外の地方や都市圏への就職状況はどうなのでしょう？

高知大学は全国から多くの皆さんが入学してきます。入学生の約75% (年により若干変動します) は県外出身者です。そのため就職でも首都圏・関西圏や出身の都道府県への就職希望は多く、毎年、7割以上は県外企業等 (大手企業を含め、公務員や教員など) に就職しています。「全国から集まり、全国へと羽ばたく」それが高知大学です。大都市圏・地方圏を問わずOBOGが活躍していますので、県外への就職も強いのです。

### Q 就活といっても、よくわかりません。大学では就職情報の提供や説明会などは行っているのでしょうか？

高知大学では様々な就職支援を行っている就職室があり、以下のようなサービスを提供しています。①就職等進路に関する相談 ②就職ガイドブックの配布 ③就職支援ガイダンスの実施 ④就職情報検索用のパソコンの設置 ⑤企業の求人票・会社案内の閲覧 ⑥公務員試験問題集などの参考図書や雑誌の閲覧・貸出 ⑦企業説明会の開催などです。1年生でも大歓迎ですのでどしどし利用してください。

### Q 高知大学には学生の就職支援に携わる人はどのくらいいるのでしょうか？

就職室の専門スタッフの他、各学部の就職委員などを含めると50名以上になり、1学年1,000名規模の大学でこの人数はかなり多いと聞きます。ご安心ください。例えば、県外で就活中に悩みや相談したいことが出てきた場合もメール・電話で対応しています。

### Q 高知県外に就職希望です。県外の就活セミナー会場などに行くのは交通費がかかりそうで心配なのですが・・・

就活バスツアーをご利用ください。大学主催で東京・大阪・岡山行き的高速バスをチャーターしており格安料金で現地の合同企業説明会に参加できます。西日本の国立大学で、これら的大都市に学生専用の就活バスを運用しているのは高知大学だけのようです。

### Q 教員志望です。教員採用試験対策は行われていますか？

高知大学では教育学部だけでなく、人文、理、農学部にも教員志望者がいます。このため教員採用試験対策として外部講師を招いてのガイダンスの開催・採用面接実践指導、合格者による報告会・座談会や教員を目指す学生のための合宿の開催など様々な支援策を行っています。

### Q セミナーやイベント以外に、個別のサポートなどはありますか？

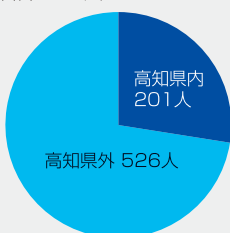
要望にできるだけ対応しています。例えば面接やグループディスカッションの練習がしたいという申し出があれば、相談員が面接官役になって練習することも可能です。あなたのやる気や思いを私たちに伝えてください。

### Q 物部キャンパスでのサポート体制はどうなっていますか？

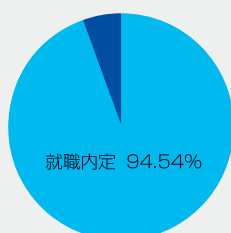
物部キャンパスでは学務室の中に就職担当があり、セミナーの開催や就職相談を行っています。また朝倉キャンパスで行ったすべてのガイダンスやセミナーのDVDを物部で視聴できます。

## 就職関連データ

■グラフ1  
就職先の県内外比率  
(平成24年度卒業生)  
合計:727人



■グラフ2  
就職希望者数に対する  
就職内定者率  
(平成24年度卒業生)



■グラフ3 学部別就職状況 (平成24年度卒業生)

学部	企業	公務員	教職	進学	その他		
人文学部 合計:307人	企業185人 60.3%	公務員32人	教職7人 2.3%	進学24人 7.8%	その他59人 19.2%		
教育学部 合計:176人	企業43人 24.4%	公務員10人 5.7%	教職83人 47.2%	進学22人 12.5%	その他18人 10.2%		
理学部 合計:269人	企業87人 32.4%	公務員14人 5.2%	教職43人 16%	進学92人 34.2%	その他33人 12.3%		
農学部 合計:173人	企業78人 45.1%	公務員15人 8.7%	教職2人 1.2%	進学60人 34.7%	その他18人 10.4%		
医学部 合計:153人	研修医70人 45.8%	看護師46人	保健師6人	公務員3人 2%	教職5人 3.3%	進学5人 3.3%	その他23人 15.0%

# 就職相談員からのメッセージ

私たちが相談にのります

## ▶ 就活全般についてあらゆるアドバイス

### 大学は大学に来られなかった人のためにある

井上 智子 就職室相談員

「大学は大学に来られなかった人のためにある」  
大学で学ぶことで多くの機会、選択肢を得られた人は、より多くの人のためにその能力を還元していく使命があります。大学生活を社会に必要とされる自分に成長する期間にしていくなかで、就職室も相談の機会も活用してください。

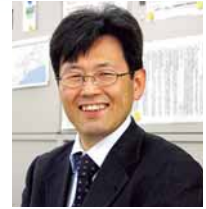


## ▶ 公務員志望の人へアドバイス

### 失敗は学びのチャンス

稲葉 和成 高知大学生協 学びと成長事業担当

ある本に、失敗は「不成功」であり、学びのチャンスだとありました。誰も失敗すると落ち込むし、失敗はしたくないものです。でも、そこには確かに気づきもありますよね。高知大学では様々な体験ができるしくみが整っています。いろいろなことに挑戦してみましょう。



## ▶ 履歴書・ESなど“書く”アドバイス

### 「自分」の編集をサポートします!

国光 ゆかり 株式会社 南の風社 編集長

編集の仕事は、対象物のいいところを見出して輝かせること。就職活動での自己アピールも、<編集>の視点で活かせます。自分が本来持っているいいところを見つけて出し、整理し、魅力的に表現する…こうした「自分」を編集する作業は、将来の方向性を見つけるヒントになり、他者に自分をアピールする自信にもつながります。



## ▶ 一般企業志望の人へアドバイス

### 学業と両立させる就活

渡辺 泰方

高知県経営者協会 参与 (前高知県経営者協会専務理事)

学業と両立させる就活は、勉強や研究で身につけた能力や強み、それを活かす将来の進路を常に意識しながら学生生活を送ることが大切です。それにより「なぜその企業(業界)・仕事なのか」など、自らの意思を明確にできます。企業側の視点で実践的なサポートをします。



## ▶ 教員志望の人へアドバイス

### 切り拓け、教師への道

丹下 主教

高知県教育文化祭運営協議会 事務局長、元公立小学校長

南国土佐で教師への道を切り拓きましょう。切り札は、あなたのすべての体験。精力的に動き、感じ取る。悩み、考え、さらに動く。そこでの学びがあなたの「人」と「なり」を醸成させます。『求めよ!さらば拓かれん』。教職歴38年のすべてをかけてサポートします。



## ▶ 一般企業志望の人へアドバイス

### 何を生み出すのか

川村 晶子 富士通株式会社 エリアコーディネーター

今、社会が大きく変革する中で、企業もどんどん変化しています。企業が欲しいのは常にイノベーションを創造する人材。「自分に何が出来るか」という枠は取っ払って「自分が社会に何を生み出すのか」を考えましょう。その軸が決まれば自ずと行動も見えてくるはずですよ。



## ▶ 働くことの意味を求める人へのアドバイス

### 充実した教員人生を!

濱田 治 元県立高等学校長

教員という仕事は極めて人間味あふれるやりがいのある仕事です。大学で何を学び、どのような学生生活を送れば教員への道を実現できるのでしょうか。その答えは学生一人ひとり違うはずですよ。あなたにベストな答えと一緒に考え充実した人生への扉を開けましょう。



## ▶ 一般企業志望の人へアドバイス

### どんな体験にも価値があります

立花 慶治 高知大学生協 専務理事 (EQGA公認トレーナー)

体験したことは、たとえうまくいかなかったと思っただけでも価値があるものです。お話を聞かせていただくうちに「そういうことかな?」と気づきが得られるとよいですね。大学生協での勤務経験がお役に立つと幸いです。



## キャリアコンサルタント等のアドバイス

ジョブカフェこうち(高知県就職支援相談センター)のキャリア・コンサルタントやハローワーク高知(高知職業安定所)の大卒ジョブサポーターの方々のアドバイス(仕事に対する相談、職業適性試験、就職に関する情報提供、履歴書の添削指導や模擬面接等)やサポートを学内で受けることができます。就職活動に迷ったりしたとき——ちょっとしたアドバイスで気持ちが楽になるかもしれません。多くの先輩たちも相談にのっていただけてきました。気軽に相談してみてください。



# 先輩たちの就活体験 ～就活ふりかえり座談会～



写真左から

**美島 涼**

理学部4年 高知県立高知南高校出身  
ニッポン高度紙工業株式会社 内定

**三木 さつき**

人文学部4年 香川県立丸亀高校出身  
株式会社百十四銀行 内定

**于 忠民**

人文学部4年 中華人民共和国出身  
株式会社ファーストリテイリング 内定

**佐々木 達弥**

教育学部4年 岡山県立倉敷南高校出身  
小野薬品工業株式会社 内定

## Q1 就職室の支援プログラム、どう活用しましたか？

**三木** 私は3年生の夏休みに2つの企業でインターンシップを体験しましたが、その行き先を選ぶ段階から就職室にお世話になりました。自分の興味と方向性とマッチングする企業の情報などを相談員さんからアドバイスいただきました。

**美島** 僕は3年生の後期から、履歴書の添削で毎週のように就職室に通っていました。また、内定をもらった先輩方が面接や試験の情報をレポートした「就職試験報告書」という資料があり、貴重な情報が満載でとても参考になりました。

**佐々木** 就職試験報告書には僕もよく目を通しました。試験内容から企業の考えや個性が見えてきて、読むのが楽しかったです。あと、落ち込んで方向性を見失いそうになった時に、相談員さんに話を聞いてもらいました。話しているうちに「あ、そうだ!」と気づきや答えが見つかり、とても助けられました。

**于** 私はゼミの友だちから毎週水曜日にある就活セミナーのことを教えてもらい、毎回参加していました。就活生同士の情報交換もポイントです。

## Q2 就活では、どういう点をアピールしましたか？

**三木** 私は地元香川の金融機関を中心に就活を行いました。面接では勉強のことだけではなく大

学生生活のすべてをアピールしました。私はよさこい踊りが大好き! 学外のチームで毎年よさこいを踊ってきたのですが、そこでは老若男女、様々な年代や立場の人と関わることができました。そういった人との関係づくりの話などは、自分らしさを伝えやすかったかなと思います。

**于** 私は最初の頃は緊張して、面接でうまく自分を出すことができませんでした。でもそれではダメだと思い、途中から『落ちてもいいから時間内に言いたいことを全部言う』と決めました。それ以降はうまくアピールできたと思います。

**美島** 僕は、実は面接や試験は5社しか受けていません。10社に力を振り分けるよりも5社に全力で臨みたいと思い、あえて絞り込みました。だから1社の訪問回数がすごく多くて、最多で7回、最少の会社でも3回です。自分から積極的に足を運ぶことで、自分の思いを伝えられたと思います。

**佐々木** 僕の就活は大阪が中心でしたが、「高知から来ました」というだけで、もう話題になるんです。高知のネタなどもうまく使って、会話を自分のペースに持っていくことができました。

## Q3 高知大学での学びが、どう就活に結びつきましたか？

**于** 今はインターネット社会で、都会でも地方でも

情報は同じように手に入ります。けれど高知には、高知でしか感じられないことがたくさんあるんです。例えば、地域の人も大学の教授も一緒になって地域活性化に取り組んでいること。一見マイナスなことでもそれを楽しんでプラスに変えようとしている姿が、とても勉強になりました。私も社会に出て何か課題にぶつかった時、自分の能力を使って解決していきたいと思います。

**佐々木** 僕は面接で毎回のよう、『教育学部なのにどうして就活しているの?』と聞かれましたが、僕が企業を目指したのはもっと広い世界に出たいと思ったから。それは、高知大学でたくさんの友だちと関わり、いろんな意見を聞いて自分の視野が広がったおかげだと思います。

**三木** 高知大学の学生って、アクティブな人が多いですね。地域に出て行って現地の活動に関わったり、何かを立ちあげてそれをやり通したり。私も周囲の友だちからいい影響を受けて、より積極的になることができました。人に恵まれたなと思いますね。

**美島** 僕は就活中、たくさんの尊敬できる社会人の方と会うことができました。それも、高知大学の持つネットワークにうまくつながっていったから。感謝しています。

**New Goal** 新たな目標を聞きました!

誘電体の世界シェアNo1のニッポン高度紙工業で、研究職として働きます。夢は「高知から世界を変える」こと!

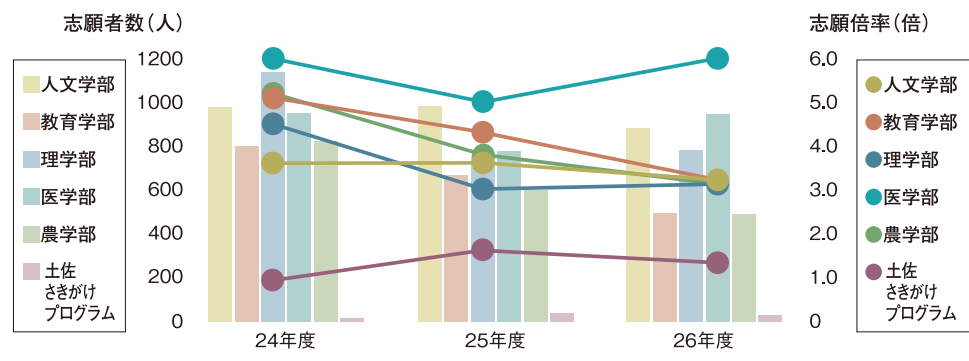
百十四銀行は、一人ひとりの努力を見てくれる会社。勉強して資格をとり、幅広い世代のお客様の役に立ちたいです

ユニクロは世界中で展開されています。自分の能力を一番活かせる職場であれば、どこの国でも行きたいですね!

小野薬品工業は、営業利益率が業界トップ。社員の能力や商品力も高いと思うので、そこで適用する自分らしさを見つけたいです

# データ Data

## ■過去3年間の志願状況 全選抜方法（平成24年度～平成26年度）



## ■合格者の最低得点率・平均得点率（一般入試）

平成25年度

	学部	学科・課程等	選抜グループ	大学入試センター試験成績(得点率)			総合得点(得点率)			総合得点(素点)	
				最高点	最低点	平均点	最高点	最低点	平均点	満点	
前期日程	人文学部	人間文化学科		89.8%	65.6%	72.3%	81.2%	62.7%	67.4%	800	
		国際社会コミュニケーション学科		79.2%	64.0%	71.5%	76.7%	64.0%	67.6%	700	
		社会経済学科		70.9%	56.5%	62.7%	69.9%	59.5%	63.2%	1,150	
	教育学部	学校教育教員養成課程		72.2%	59.6%	64.3%	73.0%	63.9%	67.1%	1,150	
		生涯教育課程(芸術文化コース)		74.6%	53.5%	64.6%	80.9%	66.7%	72.5%	900	
		生涯教育課程(スポーツ科学コース)		70.3%	61.8%	65.8%	75.3%	66.0%	70.0%	1,000	
		生涯教育課程(生活環境コース)		66.0%	55.5%	60.5%	69.4%	59.9%	62.4%	1,150	
	理学部	理学科・応用理学科	数学受験コース		81.0%	55.0%	60.7%	73.2%	53.6%	57.5%	1,300
			理科受験コース		72.8%	53.9%	61.3%	78.7%	61.0%	65.2%	1,300
			情報受験コース		55.7%	45.2%	51.7%	63.7%	58.0%	59.7%	1,300
医学部	医学科		90.1%	78.9%	82.9%	84.9%	72.2%	75.9%	1,790		
	看護学科		79.5%	56.7%	66.1%	77.9%	60.8%	67.6%	790		
農学部	農学科		78.8%	58.1%	63.2%	76.2%	59.8%	62.9%	800		
後期日程	学部	学科・課程等	選抜グループ	大学入試センター試験成績(得点率)			総合得点(得点率)			総合得点(素点)	
				最高点	最低点	平均点	最高点	最低点	平均点	満点	
	人文学部	人間文化学科		89.3%	78.0%	80.5%	89.3%	78.0%	80.5%	500	
		国際社会コミュニケーション学科		79.4%	67.2%	74.2%	77.3%	71.4%	73.8%	700	
	教育学部	学校教育教員養成課程		81.6%	67.3%	71.7%	81.6%	67.3%	71.7%	900	
	理学部	理学科・応用理学科		84.7%	72.2%	75.7%	84.7%	72.2%	75.7%	800	
	医学部	看護学科		73.6%	54.0%	64.4%	76.6%	56.6%	66.7%	790	
	農学部	農学科		78.5%	67.1%	70.2%	75.4%	66.5%	69.2%	800	

平成26年度

	学部	学科・課程等	選抜グループ	大学入試センター試験成績(得点率)			総合得点(得点率)			総合得点(素点)	
				最高点	最低点	平均点	最高点	最低点	平均点	満点	
前期日程	人文学部	人間文化学科		78.4%	64.8%	70.5%	76.4%	61.8%	65.8%	800	
		国際社会コミュニケーション学科		85.4%	62.7%	70.6%	84.5%	62.5%	66.6%	700	
		社会経済学科		72.0%	56.2%	62.8%	71.5%	59.9%	64.8%	1,150	
	教育学部	学校教育教員養成課程		83.2%	52.8%	64.5%	81.8%	61.6%	66.8%	1,150	
		生涯教育課程(芸術文化コース)		73.6%	49.4%	59.6%	81.5%	64.0%	70.3%	900	
		生涯教育課程(スポーツ科学コース)		74.8%	65.1%	68.0%	78.4%	67.5%	71.3%	1,000	
		生涯教育課程(生活環境コース)		64.5%	57.0%	60.7%	67.4%	57.3%	61.9%	1,150	
	理学部	理学科・応用理学科	数学受験コース		68.5%	55.4%	62.3%	66.2%	58.3%	61.1%	1,300
			理科受験コース		76.4%	56.5%	62.9%	78.8%	63.9%	67.4%	1,300
			情報受験コース		60.4%	50.5%	54.6%	70.5%	61.5%	63.7%	1,300
医学部	医学科		90.5%	79.2%	84.6%	87.9%	78.1%	80.5%	1,790		
	看護学科		72.7%	64.2%	67.5%	74.8%	67.3%	69.3%	790		
農学部	農学科		74.1%	58.6%	63.6%	73.7%	60.2%	64.0%	800		
後期日程	学部	学科・課程等	選抜グループ	大学入試センター試験成績(得点率)			総合得点(得点率)			総合得点(素点)	
				最高点	最低点	平均点	最高点	最低点	平均点	満点	
	人文学部	人間文化学科		86.2%	74.6%	78.7%	86.2%	74.6%	78.7%	500	
		国際社会コミュニケーション学科		75.5%	65.2%	69.9%	75.4%	68.6%	72.1%	700	
	教育学部	学校教育教員養成課程		79.6%	56.8%	70.0%	79.6%	56.8%	70.0%	900	
	理学部	理学科・応用理学科		82.3%	58.6%	72.1%	82.3%	58.6%	72.1%	800	
	医学部	看護学科		78.1%	68.9%	72.0%	78.1%	69.9%	73.1%	790	
農学部	農学科		76.2%	69.4%	72.2%	77.3%	70.7%	72.9%	800		

注:1 追加合格者は含んでいません。 注:2 合格者が10人未満の学科等については公表しません。

## ■平成25年度入学者選抜実施状況

学部	学科・課程等	入学定員	一般入試										A O 入試			推薦入試						
			前期日程					後期日程					募集人員(人)	志願者数(人)	合格者数(人)	推薦入試 I			推薦入試 II			
			募集人員(人)	志願者数(人)	受験者数(人)	合格者数(人)	実質倍率(倍)	募集人員(人)	志願者数(人)	受験者数(人)	合格者数(人)	実質倍率(倍)				募集人員(人)	志願者数(人)	合格者数(人)	募集人員(人)	志願者数(人)	合格者数(人)	
人文学部	人間文化学科	94	59	223	208	79	2.6	5	84	84	21	4.0				30	100	31				
	国際社会コミュニケーション学科	83	38	126	116	50	2.3	10	116	35	10	3.5				A選抜 20	59	21				
																B選抜 15	29	17				
																小計 35	88	38				
	社会経済学科	118	75	165	158	82	1.9	5	47	22	5	4.4	8	47	11	30	62	30				
	小計	295	172	524	482	211	2.3	20	247	141	36	3.9	8	47	11	95	250	99				
教育学部	学校教育教員養成課程	100	55	205	180	68	2.6	15	104	104	15	6.9							30	87	30	
	生涯教育課程																					
	芸術文化コース	30	15	44	42	15	2.8	6	69	32	6	5.3				9	21	9				
	スポーツ科学コース	20	10	40	37	10	3.7	3	30	13	3	4.3				7	34	8				
	生活環境コース	20	10	42	39	14	2.8	4	37	37	6	6.2				6	10	6				
	小計	170	90	331	298	107	2.8	28	240	186	30	6.2				22	65	23	30	87	30	
理学部	理学科・応用理学科	270	数学受験	40	145	139	50	2.8								数学分野	15	37	15			
			理科受験	113	325	308	129	2.4	30	168	167	34	4.9			理科分野	50	92	52			
			情報受験	10	38	36	14	2.6								情報分野	10	15	12			
		小計	270	163	508	483	193	2.5	30	168	167	34	4.9				75	144	79			
医学部	医学科	110	65	365	236	71	3.3						30	211	30				15	84	9	
	看護学科	60	30	44	43	31	1.4	10	64	14	11	1.3				20	76	20				
	小計	170	95	409	279	102	2.7	10	64	14	11	1.3	30	211	30	20	76	20	15	84	9	
農学部	農学科	170	101	282	248	115	2.2	20	234	92	30	3.1							一般	4	13	4
																			専門	2	3	2
																			小計	6	16	6
																			一般	6	20	8
																			専門	2	0	0
																			小計	8	20	8
																			一般	4	22	6
																			専門	2	16	4
																			小計	2	6	2
																			一般	7	8	6
専門	3	2	2																			
小計	10	10	8																			
一般	7	15	8																			
専門	1	0	0																			
小計	8	15	8																			
一般	3	5	4																			
専門	2	0	0																			
小計	5	5	4																			
	小計	170	101	282	248	115	2.2	20	234	92	30	3.1				4	20	7	45	110	46	
土佐さきがけプログラム	グリーンサイエンス人材育成コース	(5)																	(5)	5	4	
	国際人材育成コース	(10)											(10)	28	10							
	生命・環境人材育成コース	(10)											(10)	8	4							
	小計	(25)											(20)	36	14				(5)	5	4	
	合計	1,075	621	2,054	1,790	728	2.5	108	953	600	141	4.3	38	294	55	216	555	228	90	286	89	

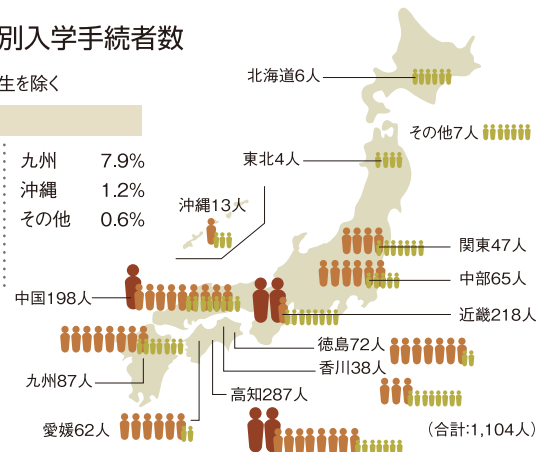
- ※ □ は募集なし
- ※ 社会人入試は志願者なし
- ※ 私費外国人留学生の選抜は、志願者=46名、合格者=14名
- ※ 実質倍率=受験者数/合格者数
- ※ 医学部医学科(前期日程)の受験者数は、第1段階選抜実施後の受験者数
- ※ 入学定員及び募集人員の合計には「土佐さきがけプログラム」の数含まない

## ■平成25年度の地域別入学手続者数

地域別入学手続者数 \*私費留学生を除く

地域別入学手続者割合

北海道 0.5%	中国 17.9%	九州 7.9%
東北 0.4%	徳島 6.5%	沖縄 1.2%
関東 4.3%	香川 3.4%	その他 0.6%
中部 5.9%	愛媛 5.6%	
近畿 19.7%	高知 26.0%	



# ■平成26年度入学者選抜実施状況

学部	学科・課程等	入学定員	一般入試										A O 入試			推薦入試						
			前期日程					後期日程					募集人員(人)	志願者数(人)	合格者数(人)	推薦入試Ⅰ			推薦入試Ⅱ			
			募集人員(人)	志願者数(人)	受験者数(人)	合格者数(人)	実質倍率(倍)	募集人員(人)	志願者数(人)	受験者数(人)	合格者数(人)	実質倍率(倍)				募集人員(人)	志願者数(人)	合格者数(人)	募集人員(人)	志願者数(人)	合格者数(人)	
人文学部	人間文化学科	94	59	232	208	77	2.7	5	71	71	29	2.4				30	90	30				
	国際社会コミュニケーション学科	83	38	100	89	51	1.7	10	99	22	10	2.2				A選抜 20	54	21				
																B選抜 15	28	15				
																小計 35	82	36				
	社会経済学科	118	75	132	124	83	1.5	5	30	12	5	2.4	8	53	10	30	67	32				
	小計	295	172	464	421	211	2.0	20	200	105	44	2.4	8	53	10	95	239	98				
教育学部	課程 教員養成 教育	100	55	134	111	67	1.7	15	60	60	15	4.0								22	82	23
	生涯教育課程	30	15	41	38	15	2.5	6	70	27	6	4.5	8	8	6	9	29	9				
		20	10	33	31	10	3.1	3	20	10	3	3.3				7	16	7				
		20	10	23	21	15	1.4	4	11	11	4	2.8				6	10	6				
		小計	170	90	231	201	107	1.9	28	161	108	28	3.9	8	8	6	22	55	22	22	82	23
理学部	理学科・応用理学科	270	40	154	147	48	3.1									数学分野 15	42	17				
			113	389	358	130	2.8	30	85	84	30	2.8				理科分野 50	101	50				
			10	58	52	15	3.5									情報分野 10	17	12				
	小計	270	163	601	557	193	2.9	30	85	84	30	2.8				75	160	79				
医学部	医学科	110	65	346	241	65	3.7						30	222	30				15	70	15	
	看護学科	60	30	127	122	30	4.1	10	189	88	10	8.8				20	73	22				
	小計	170	95	473	363	95	3.8	10	189	88	10	8.8	30	222	30	20	73	22	15	70	15	
農学部	農学科	暖地農学コース																	一般	4	24	5
																			専門	2	3	2
																			小計	6	27	7
		海洋生物生産学コース																	一般	6	20	8
																			専門	2	1	0
																			小計	8	21	8
		食料科学コース																		4	25	6
		生命化学コース																		2	10	4
		自然環境学コース																		2	11	2
	流域環境工学コース	170	98	220	192	111	1.7	20	173	67	21	3.2				5	11	6	一般	7	12	8
																			専門	3	2	1
																			小計	10	14	9
	森林科学コース																		一般	7	11	7
																			専門	1	0	0
																			小計	8	11	7
	国際支援学コース															2	5	2	一般	3	5	3
																			専門	2	0	0
																			小計	5	5	3
	小計	170	98	220	192	111	1.7	20	173	67	21	3.2				7	16	8	45	124	46	
土佐さきがけプログラム	グリーンサイエンス人材育成コース	(5)											(5)	8	5							
	国際人材育成コース	(10)											(10)	22	10							
	生命・環境人材育成コース	(10)											(10)	2	2							
	小計	(25)											(25)	32	17							
	合計	1,075	618	1,989	1,734	717	2.4	108	808	452	133	3.4	46	315	63	219	543	229	82	276	84	

- ※ □ は募集なし
- ※ 社会人入試は、志願者=2名、合格者=2名
- ※ 私費外国人留学生の選抜は、志願者=41名、合格者=14名
- ※ 実質倍率=受験者数/合格者数
- ※ 医学部医学科(前期日程)の受験者数は、第1段階選抜実施後の受験者数
- ※ 入学定員及び募集人員の合計には「土佐さきがけプログラム」の数含まない

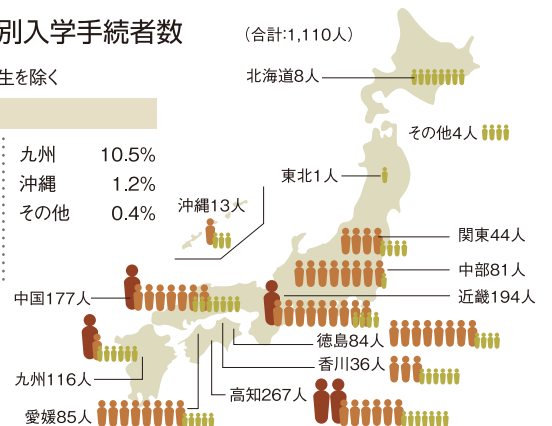
## ■平成26年度の地域別入学手続き者数

(合計:1,110人)

地域別入学手続き者数 \*私費留学生を除く

### 地域別入学手続き者割合

- 北海道 0.7% : 中国 15.9% : 九州 10.5%
- 東北 0.1% : 徳島 7.6% : 沖縄 1.2%
- 関東 4.0% : 香川 3.2% : その他 0.4%
- 中部 7.3% : 愛媛 7.7%
- 近畿 17.5% : 高知 24.1%



# 2009~2014年度入学者出身校一覧 (2014年4月1日現在在学者) ※学校名は入学時の名称

## 北海道

苫小牧工業高専、札幌西、札幌南、千歳、札幌藻岩、札幌清田、小樽潮陵、岩見沢東、旭川東、旭川西、北見北斗、室蘭米、静内、釧路湖陵、釧路江南、北大広島、札幌新川、札幌稲雲、札幌国際情報、函館、札幌光星、札幌第一、道愛女子、函館ラ・サール、北星学園余市、海星学院、クラーク記念国際

## 青森

弘前中央、八戸北、五所川原、三本木

## 岩手

前沢、福岡

## 宮城

仙台向山、古川、泉、仙台二華、泉館山

## 秋田

秋田

## 山形

山形西、長井

## 福島

安積、磐城、富岡、福島東

## 茨城

水戸第一、水戸第二、勝田、土浦第一、竜ヶ崎第一、藤代、古河第三、竹園、牛久、水戸桜ノ牧、並木、牛久米進、茨城キリスト教学園、茨城、水城、清真学園、江戸川学園取手、茗溪学園、常総学院

## 栃木

宇都宮、宇都宮女子、石橋、小山、栃木女子、佐野女子、足利南、足利女子、真岡、真岡女子、烏山、宇都宮短期大学附属

## 群馬

前橋(県立)、高崎、太田、太田女子、沼田、富岡、中之条

## 埼玉

浦和(県立)、熊谷、春日部、松山、浦和第一女子、本庄、藤、越谷南、川越南、和光国際、聖望学園、武南、浦和明の星女子、城西大学付属川越、浦和学院、獨協埼玉、春日部共栄、城北埼玉、西武学園文理、東京農業大学第三、自由の森学園、栄北

## 千葉

千葉(県立)、船橋東、東葛飾、流山おおたかの森、成田国際、佐原、佐原白鳩、長生、君津、習志野、銚子(市立)、幕張総合、敬愛大学八日市場、千葉敬愛、麗澤、東邦大学付属東邦、柏日体、日本大学習志野、渋谷教育学園幕張、市原中央、秀明八千代、木更津総合

## 東京

筑波大学附属、お茶の水女子大学附属、筑波大学附属駒場、東京学芸大学附属、東京大学教育学部附属、青山、大泉、小石川、田園調布、西、八王子東、八丈、一橋、富士、町田、三鷹、向国、東大和南、科学技術、日野台、国際、埼玉、白白台学園、麻布、芝、広尾学園、頌栄女子学院、海城、成城、早稲田、桜蔭、京華、東洋女子、聖学院、開成、安田学園、関東第一、攻玉社、東京、隼友学園女子、駒澤大学、駒場東邦、東京農業大学第一、東京都市大学付属、日本大学第三、立教女子学院、集陽、豊島岡女子学園、城北(私立)、武蔵(私立)、八王子学園八王子、創価、聖徳学園、吉祥女子、成蹊

## 神奈川

横浜翠嵐、横浜平沼、希望ヶ丘、川和、柏陽、生田、横須賀(県立)、追浜、平塚江南、湘南、秦野、大和、東、横須賀明光、横浜雙葉、聖光学院、浅野、高木学園女子、桐蔭学園、山手学院、栄光学園、鎌倉学園、湘南学園、湘南白百合学園、逗子開成、横浜隼人、桐光学園

## 新潟

新潟、新潟南、新潟江南、新潟明訓、北越、新潟第一、東京学館新潟

## 富山

魚津、富山東、八尾、高岡、高岡西、高岡南、呉羽、片山学園

## 石川

金沢大学人間社会学域学校教育学類附属、大聖寺、金沢錦丘、金沢泉丘、金沢桜丘、金沢西、鹿西、小松明峰、金沢、星稜、小松大谷

## 福井

高志、羽水、勝山、武生、若狹、北陸

## 山梨

甲府第一、吉田、山梨英和

## 長野

須坂、長野吉田、長野(県立)、長野西、岡谷南、伊那北、飯田、飯田風越、松本県ヶ丘、松本美須ヶヶ丘、松本深志、松本鏡ヶ崎、豊科、中野西、木曾青峰、松本第一、文化学園長野、上田西、東海大学付属第三

## 岐阜

岐阜、長良、岐山、加納、岐阜農林、大垣北、大垣南、大垣東、大垣養老、海津明誠、加茂、多治見、多治見北、瑞浪、恵那、中津、益田清風、斐太、可兒、麗澤瑞浪、山西西

## 静岡

伊東、韭山、三島北、御殿場南、沼津東、沼津西、富士、清水東、清水西、静岡城北、静岡東、藤枝東、島田、榛原、掛川西、掛川工業、袋井、磐田南、磐田北、浜松北、浜松西、浜松南、浜松湖東、富士市立、静岡市立、浜松市立、富士東、伊豆中央、富士宮西、庵原、浜松湖南、下田、加藤学園暁秀、静岡雙葉、静岡北、藤枝順心、常葉学園菊川、静岡県西遠女子学園、藤枝明誠

## 愛知

名古屋大学教育学部附属、愛知教育大学附属、旭丘、千種、瑞陵、松蔭、昭和、熱田、中村、鳴海、長久手、丹羽、一宮、津島、五条、横須賀、半田、刈谷、刈谷北、知立、西尾、西尾東、鶴城丘、吉良、岡崎北、岡崎東、豊田西、松平、国府、豊橋南、蒲郡、成章、小坂井、天白、菊里、向陽、緑、春日井東、津島東、高蔵寺、小牧南、豊田南、半田東、美和、豊田、岡崎西、名東、春日井南、知立東、新川、愛知、愛知淑徳、大同工業大学大同、中京大学附属中京、東海、東邦、名古屋、中部大学第一、南山、星城、聖雲、滝、春日丘、岡崎城西、桜丘、豊川、愛知産業大学三河、豊田大谷、海陽

## 三重

桑名、神戸、亀山、津、津西、津東、宇治山田、伊勢、上野、尾鷲、木本、名張西、院、皇學館

## 滋賀

膳所、東大津、彦根東、八幡工業、水口東、米原、虎姫、草津東、河瀬、光泉

## 京都

京都教育大学附属、山城、洛北、嵯峨野、桂、桃山、向陽、東宇治、北桑田、亀岡、園部、須知、福知山、東舞鶴、西舞鶴、宮津、海洋、峰山、網野、堀川、日吉ヶ丘、紫野、洛西、西城陽、鳥羽、菟道、城南菱刈、大谷、東山、龍谷大学付属平安、洛里、洛南、京都文教、京都女子、京都産業大学附属、福知山成美、京都成章

## 大阪

大阪教育大学附属天王寺、大阪教育大学附属池田、大阪教育大学附属平野、北野、池田、豊中、箕面、春日丘、茨木、千里、三島、大手前、港、四条畷、寝屋川、清水谷、高津、夕陽丘、布施、八尾、今宮、住吉、東住吉、生野、河南、泉陽、三国丘、鳳、和泉、岸和田、枚岡、東、大阪市立、都島工業、北千里、山田、八尾翠翔、港南造形、櫻の木、堺、追手門学院大手前、千代田、大阪学芸、開明、履正社、興國、此花学院、関西大学第一、明星、桃山学院、浪速、高槻、大阪星光学院、四天王寺、関西大倉、近畿大学附属、清風、向陽台、清風南海、金蘭千里、清教学園、関西創価、近畿大学泉州、大阪国学院大和田、追手門学院、帝塚山学院泉ヶ丘、東海大学付属仰星、四天王寺羽曳丘、大阪青凌、初芝富田林、大阪桐蔭、天王寺学館、YMCA学院

## 兵庫

御影、神戸、兵庫、夢野台、長田、星陵、北須磨、舞子、伊川谷、神戸商業、西宮(県立)、西宮北、芦屋(県立)、尼崎(県立)、尼崎北、伊丹(県立)、川西緑台、有馬、柏原、篠山鳳鳴、明石、明石南、明石北、明石西、加古川東、加古川西、小野、西脇、社、三木、農業、姫路東、姫路西、姫路南、福崎、香寺、龍野、赤穂、佐用、山崎、姫路工業、姫

路商業、豊岡、八鹿、出石、洲本、津名、洲本実業、西宮今津、相生、東播磨、葎合、西宮(市立)、伊丹(市立)、姫路、琴丘、尼崎稲園、須磨東、加古川北、網干、明石清水、高砂南、三木北、須磨友ヶ丘、神戸高塚、明石城西、播磨南、宝塚北、姫路飾西、伊川谷北、北棋三田、三田西陵、兵庫東立大学附属、三田祥雲館、武庫荘総合、国際、芦屋国際、神戸鈴蘭台、淡路三原、須磨翔風、灘、六甲、神戸龍谷、神戸山手女子、親和女子、神戸学院大学附属、神戸星城、滝川、須磨学園、愛徳学園、雲雀丘学園、神戸女子学院高等学部、報徳学園、甲陽学院、三田学園、柳学園、白陵、淳心学院、東洋大学附属姫路、近畿大学附属豊岡、滝川第二、神戸国際

## 奈良

奈良女子大学附属、奈良、生駒、畝傍、橿原、桜井、高田、青翔、五條、一条、高田商業、平城、登美ヶ丘、奈良北、奈良育英、帝塚山、天理、東大寺学園、智辯学園、奈良学園、育英西、西大和学園、聖心学園、智辯学園奈良カレッジ、奈良学園登美ヶ丘

## 和歌山

橋本、伊都、向陽、和歌山北、桐蔭、星林、海南、耐久、日高、田辺、新宮、串本古座、開智、和歌山信愛、近畿大学附属新宮、智辯学園和歌山、近畿大学附属和歌山、初芝橋本

## 鳥取

鳥取東、鳥取西、鳥取工業、八頭、倉吉東、倉吉西、米子東、米子西、米子、境、鳥取中央育英、鳥取城北、倉吉北、米子松蔭

## 島根

安来、松江北、松江南、三刀屋、飯南、平田、出雲、大社、大田、江津、浜田、益田、隠岐、隠岐島前、松江東、島根中央、開星、松江西、出雲西、石見智翠館

## 岡山

岡山朝日、岡山操山、岡山大安寺、岡山芳泉、岡山工業、岡山東商業、岡山西、倉敷青陵、倉敷天城、倉敷南、倉敷中央、津山、津山商業、津山東、玉野、玉島(県立)、笠岡、笠岡商業、西大寺、井原、総社、高梁、新見、瀬戸、和気開谷、邑久、矢掛、勝山、落合、林野、岡山一宮、倉敷古城、玉野光南、総社南、岡山城東、岡山山後栄館、備前緑陽、倉敷鷺羽、山陽女子、就実、明誠学院、創志学園、関西、岡山理科大学附属、倉敷翠松、岡山県美作、岡山県作陽、岡山学芸館、金光学園、岡山白陵、岡山、朝日塾

## 広島

広島大学附属、広島大学附属福山、広島親善、広島国泰寺、広島皆実、広島商業(県立)、海田、廿日市、苜茂、西条農業、五日市、安古市、呉三津田、尾道東、尾道北、三原、御調、世羅、福山誠之館、府中、油木、大門、福山明玉台、庄原格致、三次、舟入、基町、呉、福山、高陽、広島井口、安芸府中、神辺旭、祇園北、安佐北、沼田、安芸南、美鈴ヶ丘、西、東、戸手、広島、修道、広陵、山陽、広島県瀬戸内、安田女子、比治山女子、広島女学院、ノートルダム清心、広島国際学院、広島文教女子大学附属、広島工業大学、広島学院、広島城北、広島なぎさ、武田、盈進、福山暁の星女子、近畿大学附属福山、銀河学院、如水館、近畿大学附属東広島、呉青山

## 山口

岩国、柳井、光、下松、徳山、防府、山口、宇部、小野田、厚狹、豊浦、長府、下関西、下関南、大野、萩、新南陽、華陵、下関、青嶺、高水、野田学園、宇部フロンティア大学付属香川、サビエル、早鞆

## 徳島

城東、城南、城北、徳島商業、小松島、富岡東、富岡西、新野、鳴門、名西、川島、阿波、脇町、辻、池田、徳島市立、城ノ内、徳島北、海部、徳島科学技術、鳴門渦潮、徳島文理

## 香川

小豆島、土庄、三本松、高松東、高松、高松西、高松商業、坂出、坂出商業、坂出工業、丸亀、丸亀城西、善通寺第一、高瀬、観音寺第一、観音寺中央、高松第一、高松西、高松北、

香川中央、高松桜井、三木、英明、高松中央、香川県大手前高松、坂出第一、香川県大手前、尽誠学園、香川誠陵

## 愛媛

愛媛大学附属、川之江、三島、新居浜東、新居浜西、西条、西条農業、小松、今治西、今治北、弓削、松山東、松山南、松山北、松山工業、松山商業、東温、上浮穴、小田、大洲、八幡浜、川之石、三崎、三瓶、宇和、野村、宇和島東、南宇和、新居浜商業、伊予、松山中央、今治東、松山西、宇和島南、今治明德、新田、愛光、松山聖徳、聖力クワナ女子、済美、済美平成、帝京富士

## 高知

高知工業高専、室戸、中芸、芸芸、山田、嶺北、高知農業、高知東工業、高知東、高知道手前、高知丸の内、高知小津、高知西、高知北、高知工業、伊野商業、春野、高岡、佐川、仁淀、須崎、橋原、四万十、中村、幡多農業、宿毛、宿毛工業、清水、高知商業、岡豊、高知南、大方、高知江の口養護、土佐、土佐女子、高知、清和女子、高知学芸、明德藝塾、土佐塾

## 福岡

京都、小倉南、戸畑、八幡、八幡南、東筑、宗像、新宮、福岡魁誠、福岡、筑紫丘、福岡中央、城南、修猷館、筑紫、明善、久留米、山門、三池、田川、嘉徳東、北筑、春日、小倉東、中間、小郡、香住丘、輝翔館、門司大翔館、門司学園、敬愛、常磐、明治学園、九州国際大学付属、近畿大学附属福岡、福岡大学附属大濑、西南学院、上智福岡、筑紫台、筑紫学園、東福岡、福岡女子学院、福岡工業大学附属城東、福岡雙葉、大牟田、久留米信愛女学院、久留米大学附設、八女学院、東海大学付属第五、自由ヶ丘

## 佐賀

佐賀西、佐賀北、唐津東、唐津西、伊万里、小城、武雄、鳥栖、白石、佐賀商業、致遠館、佐賀清和、弘学館、東明館

## 長崎

長崎東、長崎西、長崎南、長崎北、佐世保南、佐世保北、佐世保西、佐世保商業、諫早、口加、川棚、猶興館、五島、上五島、老岐、対馬、佐世保中央、長崎北陽台、西陵、島原翔南、海星、長崎南山、純心女子、長崎日本大学、精道三川台

## 熊本

済々黌、熊本、第一、第二、熊本西、熊本工業、熊本農業、玉名、鹿本、大津、翔陽、御船、八代、氷川、水保、人吉、球磨商業、天草、熊本北、東城、熊本信愛女学院、真和

## 大分

高田、別府鶴見丘、大分舞鶴、大分雄城台、大分商業、大分西、大分鶴崎、白杵、佐伯鶴城、竹田、森、日田、中津南、中津北、安心院、大分豊田、宇佐、国東、大分、大分東明、明豊

## 宮崎

高千穂、延岡、延岡商業、富島、日向、高鍋、妻、宮崎大宮、宮崎南、宮崎西、宮崎商業、福島、都城泉ヶ丘、都城西、小林、宮崎北、佐土原、五ヶ瀬、延岡星雲、日南振徳、龍翔、宮崎第一、日南学園、日向学院

## 鹿児島

鶴丸、鹿児島中央、錦江湾、加世田、川辺、伊集院、川内、出水、大口、加治木、国分、志布志、鹿屋、屋久島、大島、古仁屋、鹿児島玉龍、松陽、武岡台、種子島、鹿児島実業、樟南、鹿児島、鹿児島情報、ラ・サール、鳳凰、神村学園高等部、鹿児島第一、鹿屋中央、池田学園池田、屋久島おおぞら

## 沖縄

糸満、那覇、首里、浦添、普天間、コザ、読谷、石川、宜野座、名護、北山、宮古、八重山、浦添商業、開邦、向陽、那覇国際、沖縄尚学、興南、昭和薬科大学附属

# 理念

## ▶ わたしたちが目指すもの

[高知大学の理念]

本学は、教育基本法の精神に則り、国民的合意の下に、地域社会及び国際社会に貢献しうる人材育成と学問研究の充実・発展を推進する。

[高知大学の使命]

- 1 豊かな教養と高度な専門性を目指す教育の実現
- 2 高度で実際の学術研究の推進
- 3 地域社会との連携の強化
- 4 国際社会への貢献の推進
- 5 活力ある大学の運営

## ▶ わたしたちの姿

[高知大学の特色]

高知大学は、地方にある国立大学として、地方文化や産業の進展に貢献するとともに、質の高い教育活動を展開し、地域から世界に発信できる高度な学術研究を推進する。

統合を機に行う改革は、次の事項について実施する。

- 1 教育における先進大学を目指して、教養教育の充実と専門教育の高度化を達成する。
- 2 規模の拡大による研究基盤の強化と活性化、諸学の融合による新しい研究領域の開拓を図り、地域から世界に発信する高度な学術研究を展開する。
- 3 地域から世界へ発信する個性的な大学であるとともに、地域に開かれた大学としてその役割を果たす。

## ▶ 何を果たすか

[高知大学の目標]

高知大学は南国土佐の自然と風土に学び、人と環境が調和のとれた共生関係を保ちながら持続可能な社会の構築を志向する「環・人共生」の精神のもとに、未来を展望した知の創造と学術の継承・発展を通して、国際・地域社会へ貢献することを使命とし、以下の目標を掲げます。

<教育>

高知大学は、幅広い教養と高度で実践的な専門能力を身に付け、地域社会や国際社会の健全な発展に貢献できる人材を育成する。とりわけ、地域が直面する諸課題を自ら探求し、学際的な視点で考えるとともに、「環・人共生」の精神に立ってその解決策を提案できる人材の輩出を今期中期目標期間の重点的教育目標とする。このために、学士課程教育では人文科学・社会科学・自然科学・生命科学にわたる普遍的で幅広い教養と各分野の専門基礎力及び社会で活躍するために不可欠な人間性・社会性・国際性を涵養する。また、大学院教育においては、自らの専門分野において、国際的に通用する知識・技術・表現力を持った人材を育成する。

<研究>

高知大学は、高知県を中心とした南四国や近縁の黒潮流域圏の地域特性に根ざした先導的、独創的、国際的な研究を推進し、そこで培われた知見やノウハウや人材を国内外の諸地域にも数倍させることにより、地域社会、近隣社会と国際社会に貢献する。具体的には、自然及び環境保全と、住民の安全・健康とクオリティ・オブ・ライフ(生活の質)の向上を目指した研究を推進し、人と環境との調和のとれた発展に貢献する。研究のキーワードは、「海」、「環境」、「生命」とする。研究体制としては、個人々の自由な発想に基づく個人研究をベースとしつつ、1) 研究拠点で行う研究拠点プロジェクト、2) 自然科学系・人文社会科学系・医療学系・総合科学系の各学系が行う学系プロジェクト、3) 海洋コア総合研究センターや総合研究センター等で行う組織的研究において、研究者間交流を活性化して研究水準の高度化を図る。

<地域連携・国際化>

高知大学が有する人的資源(教職員・学生)、知識、情報、研究成果などの知的資源を駆使することで、高知県を中心とした地域社会への貢献を深化・発展させ、地域に欠くことのできない大学として存立基盤を強化する。これまでに培ってきた教育研究上の成果をアジア・太平洋地域の諸国、特に、開発途上国へ還元することにより、国際社会への積極的な貢献を図る。また、地域に根ざした特色ある国際交流の推進を通して、高知大学の国際化のみならず、活力ある地域社会の発展にも寄与する。



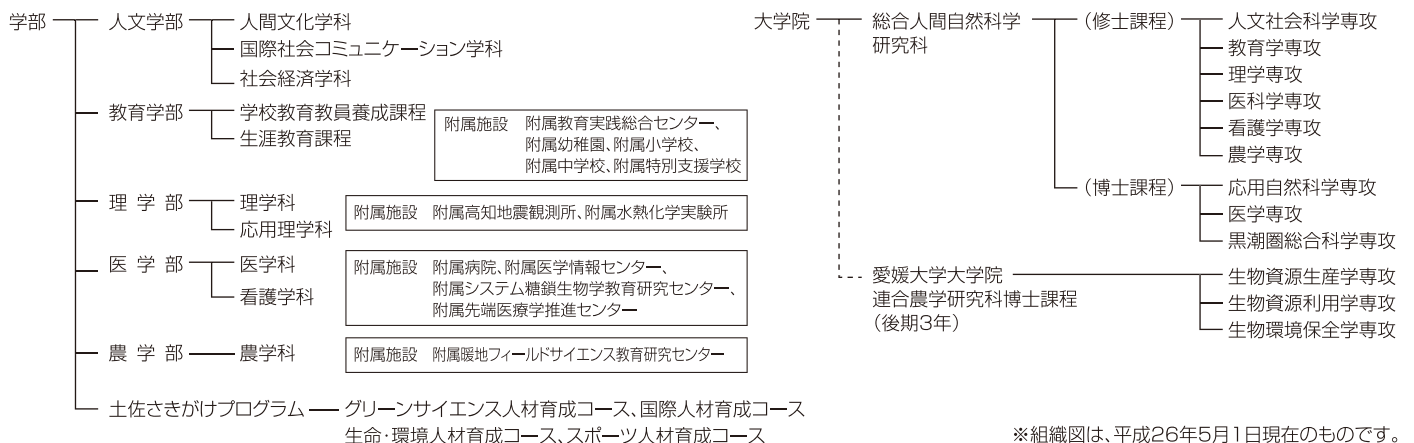
学章

未来に向かって飛躍する希望に満ちた高知大学のイニシャル『K』をモチーフに、太平洋の波濤と黒潮を青色、若者の可能性と大空とを空色でそれぞれイメージ。躍動感溢れた「高知大学」を表現しています。



本学は、平成19年度に独立行政法人大学評価・学位授与機構が実施した大学機関別認証評価において、大学評価基準を満たしていると認定されました。

## ▶ 組織図



※組織図は、平成26年5月1日現在のものです。

平成26年度

# オープンキャンパス

高校生の皆さんに大学を様々な角度から体験してもらえるオープンキャンパス。  
高知大学では、教員はもちろん学生生活の先輩である大学生たち自身も参加して、充実した内容の説明会や体験型イベントを行っています。あなたもぜひ、高知大学を感じに来てください。



Let's open the door!

**8月2日(土) 10:00~15:00** 朝倉キャンパス：**人文学部、理学部、地域協働学部**(設置認可申請中)  
土佐さきがけプログラム(全コース)

**8月3日(日) 10:00~15:00** 朝倉キャンパス：**教育学部、地域協働学部**(設置認可申請中)

**10:00~12:30** 岡豊キャンパス：**医学部看護学科**

**13:00~16:30** 岡豊キャンパス：**医学部医学科**

**9:00~15:00** 物部キャンパス：**農学部、地域協働学部**(設置認可申請中)

土佐さきがけプログラム  
(生命・環境人材育成コース)



各学部とも盛りだくさんのメニューでお待ちしています!

各学科/コース紹介、入試相談、模擬授業、施設見学  
在学生の体験談/質問コーナーなど

[お問い合わせ先] 入試課

**☎ 088-844-8766** FAX 088-844-8147

※申込方法及びその他詳細については大学HPをご覧ください。

高知大学入試情報サイト

<http://www.kochi-u.ac.jp/nyusi/index.html>

## 学祭情報

■ **南風祭** 岡豊キャンパス 10月11日(土)・12日(日)

■ **黒潮祭** 朝倉キャンパス 11月1日(土)・2日(日)

■ **物部キャンパス一日公開** 物部キャンパス 11月3日(月・祝)



南風祭




黒潮祭



物部キャンパス一日公開

学生募集要項の請求方法

**1** 本学のホームページから資料請求する場合  
<http://www.kochi-u.ac.jp/>へアクセス → 入試情報 → 学生募集要項の公表及び請求方法

**2**  テレメール(インターネット・電話)にて  
資料請求する場合

<http://telemail.jp>

パソコン・携帯電話各社とも共通アドレスです。



バーコード

※携帯電話でバーコードを読み取りアクセスした場合は、  
資料請求番号の入力は不要です。

インターネットアクセス・お問い合わせ先

インターネットを利用して高知大学ホームページにアクセスしてください。  
入試情報や各学部・学科が独自に作成したホームページを見ることができます。

**高知大学ホームページ** <http://www.kochi-u.ac.jp/>

携帯電話サイト <http://daigaku.jp/kochi-u/>

イベントトピックス情報、入試情報などを携帯電話から見ることができます。メールマガジンも配信中!

入学者選抜に関するお問い合わせ先 (ご意見・ご質問などお寄せください)

学務部入試課 TEL 088-844-8153 〒780-8520 高知市曙町2-5-1 E-mail [nys-web@kochi-u.ac.jp](mailto:nys-web@kochi-u.ac.jp)

入試に関する様々なデータや最新情報を提供しています。 <http://www.kochi-u.ac.jp/nyushi/index.html>

キャンパスライフに関するお問い合わせ先

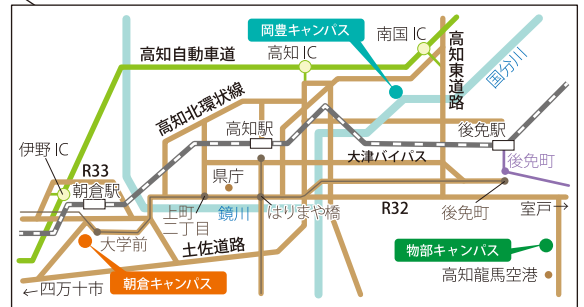
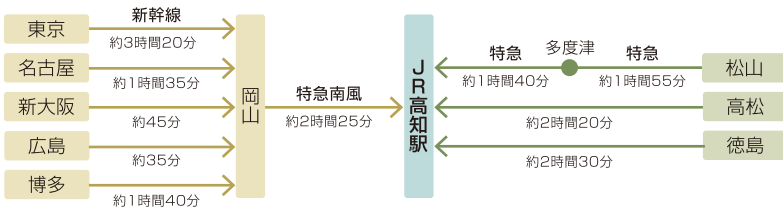
学務部学生支援課 TEL 088-844-8149 〒780-8520 高知市曙町2-5-1 E-mail [gs03@kochi-u.ac.jp](mailto:gs03@kochi-u.ac.jp)





## 高知県までの交通アクセス

### ▶ JR ※乗換時間は含みません



[キャンパス間の所要時間]



### ■ 朝倉キャンパス(人文学部・教育学部・理学部)/高知市曙町2-5-1

朝倉キャンパスまでの所要時間は次の通りです。

- 高知龍馬空港から 車で約45分  
空港バスで約35分[はりまや橋]か、約40分[JR高知駅]下車後、バス、路面電車又はJR土讃線へ乗換え
- 高知駅から 車で約20分又はバスで約25分  
路面電車で約30分、「朝倉(高知大学前)」下車  
JR土讃線約15分、「朝倉駅」下車、徒歩3分
- 高知インターチェンジから 車で約30分
- 伊野インターチェンジから 車で約5分

### ■ 岡豊キャンパス(医学部)/南国市岡豊町小蓮

岡豊キャンパスまでの所要時間は次の通りです。

- 高知龍馬空港から 車で約30分
- 高知駅から 車で約20分  
バスで約30分  
JR土讃線約20分、「後免駅」下車、車で約15分
- 南国インターチェンジから 車で約10分
- 高知インターチェンジから 車で約15分

### ■ 物部キャンパス(農学部)/南国市物部乙200

物部キャンパスまでの所要時間は次の通りです。

- 高知龍馬空港から 徒歩約15分又は空港バスで約3分[高知大学農学部前]下車
- 高知駅から 車で約30分  
空港行きバスで約35分、「高知大学農学部前」下車  
JR土讃線約20分、「後免駅」下車、車で約15分
- 南国インターチェンジから 車で約20分
- 後免駅から 車で約15分

### ▶ 車



### ▶ 飛行機

